第１９期　第９回町田市立図書館協議会次第

■日　時：２０２３年2月１４日（火）　１４：００～１６：００

■場　所：町田市立中央図書館　６階ホール

■次　第：

１　第１９期　第８回町田市立図書館議事録（要旨）の決定について

２．移動図書館について
　①巡回場所見直し基本方針案について
　②議論全体のまとめについて

３．図書館からの報告事項

４．その他

第１９期　第９回町田市立図書館協議会当日配布資料一覧

当日配布資料

（仮称）町田市教育プラン 2024-2028」の骨子（案）について
鶴川図書館の再編について
市民意識調査の結果について
「推し本を伝えよう！ひとことＰＯＰコンテスト 2022」の開催結果について
「ことばらんどショートショートコンクール 2022」について
移動図書館追加資料

協議会委員事前送付資料

資料１　　第１９期町田市立図書館協議会第８回定例会議事録（要旨）
資料２－１　移動図書館巡回場所見直し基本方針案について
資料２－２　移動図書館巡回場所　地図と一覧
資料２－３　2022 年度移動図書館出張運行集計（12 月まで）
資料２－４　【委員長作成】これからの町田市立図書館の移動図書館と
　　サービス拠点
資料３　　図書館からの報告事項
資料４　　鶴川駅前図書館の運営状況について
資料５　　デジタルデバイドについて
資料６　　タブレット端末貸出サービス案内

資料２－１

移動図書館巡回場所見直し基本方針（案）について

現在、町田市立図書館では、建物図書館から離れている利用者でも、自宅の近くで本が借りられるように移動図書館車による巡回サービスを行っています。

今後、移動図書館車の小型化を検討していくところですが、この小型化により、多くの保育園や幼稚園など人の集まる場所への出張が可能となります。

このため、出張運行の拡大を検討する上で、今後の巡回場所の見直し方について、ご意見をお聞きしたいと思います。

１.現状

（１）定期巡回場所

さるびあ図書館からは２台で３７カ所、堺図書館からは１台で２２カ所、合計で５９ヶ所へ２週間に１回運行しています。また、１カ所につき３０分から５０分滞在しています。

（２）出張運行

せりがや冒険遊び場前や幼稚園・保育園など合計７カ所に月１回程度訪問しています。

また、年３回程度イベントでの出張運行を行っています。

２.巡回場所見直し基本方針（案）について

町田市立図書館では、「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、「あらゆる市民が利用しやすい図書館」や「子どもの読書活動を充実させる図書館」を実現するため、移動図書館を活用した出張運行や体験学習の充実に取り組んでいます。

今後は小型化の検討にあわせ、特に子どもたちが本に触れる機会をつくるために、保育園、幼稚園、子どもセンター、イベント会場に出向くなど、新たな出張運行を増やす方向で考えています。

そのためには、定期巡回場所の見直しが必要となります。そこで見直しにあたっての考え方や留意点などの基本方針をあらかじめ定めたいと考えております。

【移動図書館巡回場所見直し基本方針（案）】

①新たな利用者の増加につながる見直しの検討

移動図書館車の老朽化に伴い、小型化への買い替えを検討していきます。小型化により今まで行けなかった場所への訪問が可能となり、新たな利用者の獲得につなげていきます。

②子どもの読書活動の充実につながる見直しの検討

子どもの読書活動の充実の点から保育園や幼稚園、子どもセンターなど子どもが集まる場所に出向くことで、子どもが本に触れる機会を増やしていきます。

③定期巡回場所の見直しの検討

新たな出張運行を増やすために、現在の定期巡回場所の見直しを検討していきます。

その際、単に貸出数だけを判断基準とするのではなく、地域の特性などに配慮するとともに、建物図書館、他の巡回場所、予約受渡場所からの距離などを総合的に検討します。

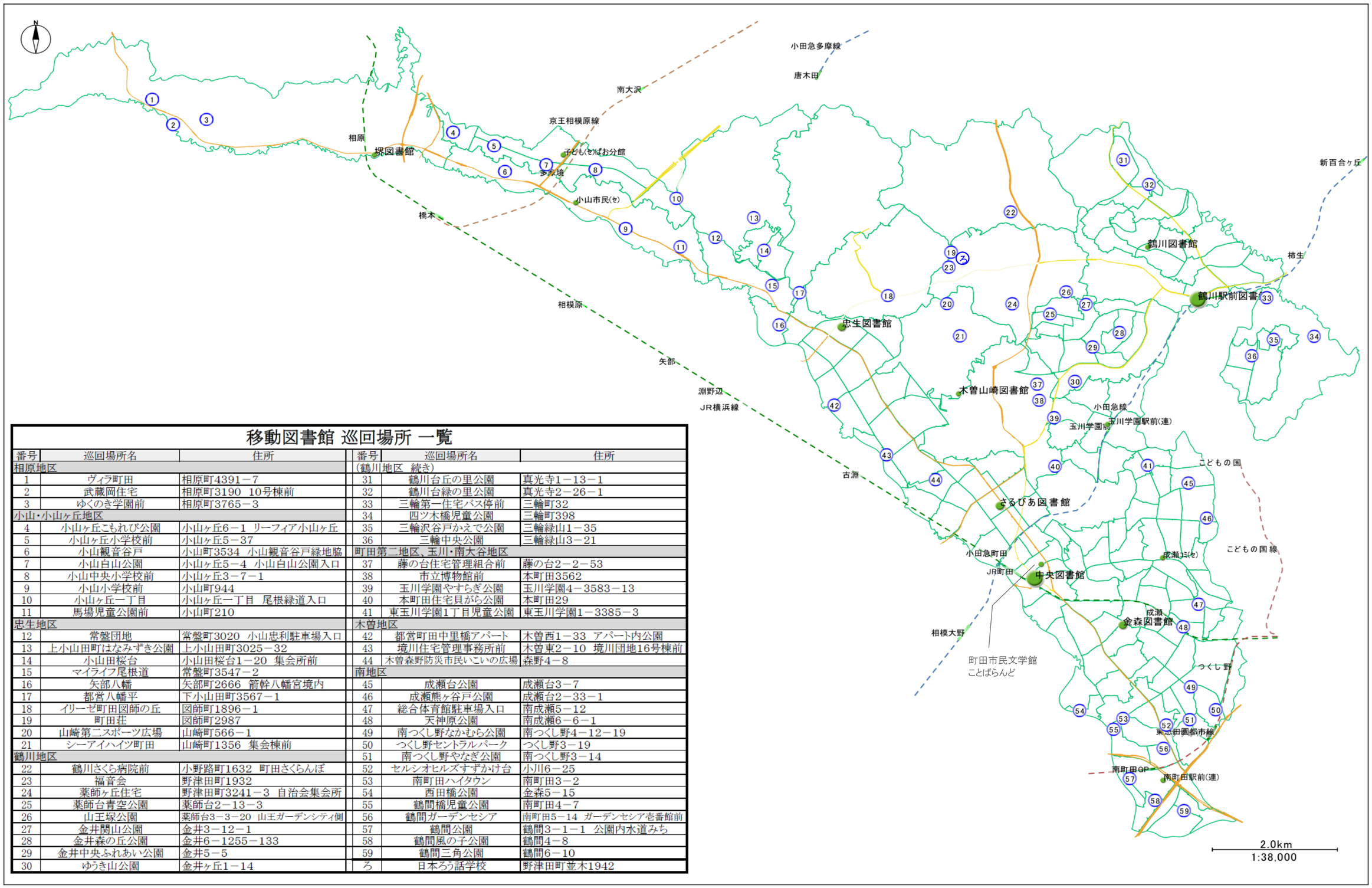
また、見直しにあたっては、滞在時間の短縮による巡回場所数の確保や、複数の巡回場所を利便性の高い場所に統合し滞在時間を長くするなどの工夫を行います。

④利用者への丁寧な説明

巡回場所の見直しを行う場合は、利用者と対話などの機会をもち、丁寧な説明を行ったうえで検討を行います。

巡回場所　地図と一覧

資料2－2



移動図書館 巡回場所 一覧

番号	巡回場所名	住所	番号	巡回場所名	住所
相原地区			(鶴川地区　続き)		
1	ヴィラ町田	相原町4391－7	31	鶴川台丘の里公園	真光寺1－13－1
2	武蔵岡住宅	相原町3190　10号棟前	32	鶴川台緑の里公園	真光寺2－26－1
3	ゆくのき学園前	相原町3765－3	33	三輪第一住宅バス停前	三輪町32
小山・小山ヶ丘地区			34	四ツ木橋児童公園	三輪町398
4	小山ヶ丘こもれび公園	小山ヶ丘6－1　リーフィア小山ヶ丘	35	三輪沢谷戸かえで公園	三輪緑山1－35
5	小山ヶ丘小学校前	小山ヶ丘5－37	36	三輪中央公園	三輪緑山3－21
6	小山観音谷戸	小山町3534　小山観音谷戸緑地脇	町田第二地区、玉川・南大谷地区		
7	小山白山公園	小山ヶ丘5－4　小山白山公園入口	37	藤の台住宅管理組合前	藤の台2－2－53
8	小山中央小学校前	小山ヶ丘3－7－1	38	市立博物館前	本町田3562
9	小山小学校前	小山町944	39	玉川学園やすらぎ公園	玉川学園4－3583－13
10	小山ヶ丘一丁目	小山ヶ丘一丁目　尾根緑道入口	40	本町田住宅貝がら公園	本町田29
11	馬場児童公園前	小山町210	41	東玉川学園1丁目児童公園	東玉川学園1－3385－3
忠生地区			木曽地区		
12	常盤団地	常盤町3020　小山忠利駐車場入口	42	都営町田中里橋アパート	木曽西1－33　アパート内公園
13	上小山田町はなみずき公園	上小山田町3025－32	43	境川住宅管理事務所前	木曽東2－10　境川団地16号棟前
14	小山田桜台	小山田桜台1－20　集会所前	44	木曽森野防災市民いこいの広場	森野4－8
15	マイライフ尾根道	常盤町3547－2	南地区		
16	矢部八幡	矢部町2666　箭幹八幡宮境内	45	成瀬台公園	成瀬台3－7
17	都営八幡平	下小山田町3567－1	46	成瀬熊ヶ谷戸公園	成瀬台2－33－1
18	イリーゼ町田図師の丘	図師町1896－1	47	総合体育館駐車場入口	南成瀬5－12
19	町田荘	図師町2987	48	天神原公園	南成瀬6－6－1
20	山崎第二スポーツ広場	山崎町566－1	49	南つくし野なかむら公園	南つくし野4－12－19
21	シーアイハイツ町田	山崎町1356　集会棟前	50	つくし野セントラルパーク	つくし野3－19
鶴川地区			51	南つくし野やなぎ公園	南つくし野3－14
22	鶴川さくら病院前	小野路町1632　町田さくらんぼ	52	セルシオヒルズすずかけ台	小川6－25
23	福音会	野津田町1932	53	南町田ハイタウン	南町田3－2
24	薬師ヶ丘住宅	野津田町3241－3　自治会集会所	54	西田橋公園	金森5－15
25	薬師台青空公園	薬師台2－13－3	55	鶴間橋児童公園	南町田4－7
26	山王塚公園	薬師台3－3－20　山王ガーデンシティ側	56	鶴間ガーデンセシア	南町田5－14　ガーデンセシア壱番館前
27	金井関山公園	金井3－12－1	57	鶴間公園	鶴間3－1－1　公園内水道みち
28	金井森の丘公園	金井6－1255－133	58	鶴間風の子公園	鶴間4－8
29	金井中央ふれあい公園	金井5－5	59	鶴間三角公園	鶴間6－10
30	ゆうき山公園	金井ヶ丘1－14	ろ	日本ろう話学校	野津田町並木1942

資料２－３

２０２２年度　移動図書館の出張運行について（１２月まで）

１　利用状況まとめ

（１）せりがや冒険遊び場＋保育園幼稚園等＋イベント出張

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
出張回数	4	4	5	4	3	6	5	5	6	0	0	0	42	（回）
貸出冊数	170	284	226	223	169	354	258	322	329	0	0	0	2,335	（冊）
貸出者数	6	8	7	22	5	3	9	2	9	0	0	0	71	（個人のみ）
来館者数	183	160	184	236	87	160	247	172	191	0	0	0	1,620	（全体）

２　個別利用状況

（１）芹ヶ谷公園内多目的広場　せりがや冒険遊び場前

日程：４週ごとの金曜日　午後１時半から３時

利用：どなたでも（返却は後日、建物の図書館へ）

	4/8	5/6	6/3	7/1	8/26	9/23	10/21	11/18	12/16				計	
	晴	晴	雨	晴	晴	祝休	晴	晴	晴					
出張回数	1	1	1	2	1	0	1	1	1				9	
貸出冊数	27	36	28	12	27		16	13	36				252	（冊）
貸出者数	6	8	7	5	5		4	2	9				63	（人）
来館者数	85	25	14	24	12		28	24	52				384	（人）

7/29
晴
57
17
120

・環境政策課のスケルトンごみ収集車“みえるくん”も来て３Ｒ推進の啓発活動を行う。
図書館側は、それに合わせた関連図書の準備や、ミニおはなし会を行なっている。

（２）保育園・幼稚園等訪問

日程：各園と調整（原則月１回または４週に１回）

利用：該当の園へ団体貸出を行う方式としているため、園児や先生のみの利用。

対象：　山ゆり幼稚園（本町田）　※不定期
森野三丁目保育園（森野）
東平しらゆり保育園・東平ひまわりこども園
（広袴町の隣接する姉妹園、共有の駐車場あり⇒しらゆりとひまわりに交互に訪問）
小山子どもクラブ「さん」※不定期
図師学童保育クラブ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
出張回数	3	3	4	2	2	5	3	4	5				31	
貸出冊数	143	248	198	154	142	345	225	309	293				2,057	（冊）
	3ヶ所	3ヶ所	4ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	5ヶ所	3ヶ所	4ヶ所	5ヶ所				ー	
来館者数	98	135	170	92	75	138	108	148	139				1,103	（人）

● 町田シバヒロ

① 9/3（土）15:00～16:30　星空シバヒロピクニック

天候：曇時々晴

利用：どなたでも（返却は後日、中央やさるびあ図書館へ）

内容：イベント全体としては15～20時半。段ボールでプラネタリウムを作るワークショップ、星空写真展、天体観望会などが開催された。

星空、宇宙、プラネタリウム、ピクニック関連図書を多く持って行った。

ミニおはなし会（２回）

	9/3	
貸出冊数	9	（冊）
貸出者数	3	（人）
来館者数	22	（人）

おはなし会	
1回目	6
2回目	24
	30

~~② 9/23（金祝）13:00～15:30　マチダブックピクニック~~　雨天のため中止

● 芹ヶ谷公園

① 10/15（土）13:30～16:00　つながりマルシェin芹ヶ谷公園

天候：曇のち晴

利用：どなたでも（返却は後日、中央やさるびあ図書館へ）

内容：イベント全体としては10～16時。さがまち学生clubが企画し、大学生同士の交流などを目的としたイベントである。

移動図書館の参加依頼があり、秋や公園などのテーマでおはなし会を行った。

秋、公園、おさんぽ、ハロウィンなどの関連図書を多く持って行った。

ミニおはなし会（２回）

	10/15	
貸出冊数	17	（冊）
貸出者数	5	（人）
来館者数	111	（人）

おはなし会		
1回目	31	（人）
2回目	29	（人）
	60	（人）

資料2－4

第 18 期・19 期町田市図書館協議会

これからの町田市立図書館の移動図書館とサービス拠点

（審議のまとめ）

1　審議の経緯

第 18 期および第 19 期の図書館協議会では「『効率的・効果的な図書館サービス』アクションプラン」（以下「アクションプラン」）で示された移動図書館に関する施策を中心に審議を行った。この「審議のまとめ」は第 19 期協議会が第 18 期協議会の議論を確認した上で，まとめたものである。

図書館協議会での審議について，以下，「2　魅力を高めるための方策」「3　出張運行と体験学習」「4　サービス拠点のあり方」「5　学校図書館の地域開放」「6　移動図書館のサイズ」「7　将来的なサービス拠点」の順に整理する。

2　魅力を高めるための方策

アクションプランでは移動図書館について，**貸出冊数の減少傾向などから，定期巡回運行のあり方，巡回拠点，運行台数の見直しを提起**した。このことに対して，図書館協議会として魅力を高めるための方策を審議した。

魅力を高めるための方策については，（1）コレクションの充実，（2）新しいサービス，（3）滞在時間，（4）巡回場所の工夫，（5）広報が挙げられる。

（1）コレクションの充実

コレクションは図書館の魅力を高める重要な要因である。近年，町田市の図書館の資料購入費は大きく減少し，東京都内の自治体の中で一人あたりの図書費は最も少ない。こうしたことは貸出点数減少につながる。このことは，移動図書館のコレクション及び利用傾向にも影響する。**移動図書館の魅力を高めるには，まずは図書館としてしっかりと予算を確保して，魅力的なコレクションを揃えることを提言したい。**

また，移動図書館のコレクションは，入替えにより魅力が高まる。近年，図書館の貸出では事前に予約した資料を借用する比率が高まっている。しかし，移動図書館では事前に予約

した資料の貸出は全体の 22%から 23%であり（『町田の図書館　2021 年度』），それほど高いわけではない。このことは，利用者は書架を閲覧する中から，自分にあった資料を選択していることを示している。このことからも，移動図書館のコレクションの入替えが重要であることを指摘できる。

（2）新しいサービス

移動図書館での新しいサービスを提言したい。そうしたものとして，デジタル技術の活用，イベントの実施，読書空間の創造などが考えられる。まず，デジタル技術の活用事例として，利用者のデジタル体験が挙げられる。例えば，タブレット PC を一時的に貸し出して，電子書籍を利用してもらうことが考えられる。また，海外では，Wi-Fi のアクセスポイントの提供も普及している。ウェブは近年，情報入手のための社会的インフラになっている。移動図書館がウェブのアクセスポイントとなることは，市民の情報入手を支えることにつながる。

イベントとしては，紙芝居を実施するなどして，新たな魅力を付加することが考えられる。また，地域の自治会などと連携し，時間限定のオープンカフェを提供することも可能であろう。こうしたことは地域のつながりを強めることに貢献する。

最後に上記の取組とも関係するが，ゆっくりと図書を選び，公園でのんびり読書できる場づくりも考えられる。季節によっては，公園での緑陰読書やおはなし会も可能であろう。図書館として移動図書館の可能性を広げる新たな取組を検討してもらいたい。

（3）長時間の滞在

移動図書館の滞在時間は必ずしも長くない。限られた運行体制ではやむを得ないが，長時間，滞在することで子どもを連れた利用者もじっくりと図書を選ぶことができる。ポイントをしぼって，ということになるかもしれないが，長時間の滞在も魅力を高めることにつながるであろう。

（4）巡回場所の工夫

通常の図書館利用が難しい地域，あるいは利用が難しい利用者グループのもとに積極的に出向くことを検討してもらいたい。例えば，幼稚園のお迎え場所や商店街などが挙げられる。幼い子どもを抱えた保護者は公共交通機関の利用に困難がともなうことが多い。移動図書館は，そうした保護者にとって非常に便利である。図書を介して保護者同士の会話も生まれやすい。あるいは，学校図書館の学校司書は放課後に不在となることが多いため，そうした時間に学校に出向くことも有効であろう。こうしたことに取り組むには，巡回拠点の拡大が必要であり，その縮小には反対である。

（5）広報

市民の移動図書館への認知度を高めるためにさまざまな方法による広報を提言する。例えば，移動図書館で，予約資料の受け取りができることをさらにアピールすることは，新たな

利用者の獲得につながるかもしれない。また，学校から提供された端末に移動図書館など図書館に関する情報を掲載することで，児童・生徒，さらには保護者に図書館の活動を知らせることができる。利用者へのアピールには，利用者に合わせた情報発信が効果的である。例えば若者へは SNS などが有効であろう。その意味では，PR 動画「移動図書館，結構イイかも。」などの取組は有効であろう。最後に，これまで移動図書館を利用してこなかった利用者にアピールするために，映像などを活用することも効果的だ。

３　出張運行と体験学習

（１）移動図書館の出張運行

アクションプランでは，2021 年度の実施事業に「移動図書館の出張運行」として以下を挙げている。
・子どもセンターや高齢者施設、冒険遊び場やイベント会場など人が集う場に出向くなど、新たな運行を実施することによって、交流や憩いの場を創出します。
このことに対して，図書館協議会として望ましいあり方を審議した。

「人が集う場に出向く」などの攻めの姿勢，アウトリーチには賛成であり，積極的にアクションプランにあるような取組を進めてほしい。その際には，変化する社会の中で生まれる新しいニーズを捉えてサービスを開発したり，コミュニティを活性化したりすることなどが期待される。また，人々のつながりをつくることへ貢献も可能である。

例えば，高齢化社会を迎える中，高齢者施設への訪問は意味がある。高齢者を対象とした図書をつかったプログラムを実施したり，回想法などの取組を実施したりすることも可能である。また，図書館空白地域の保育園に訪問することにも意義がある。そこでは，園児だけではなく，地域の人も利用できるようにすることを期待したい。

すでに取組が進んでいることであるが，市内のイベントに出張することも継続してもらいたい。その際は，イベントに即した本を取り揃えて行くことが重要である。イベントでは，青空本屋さん（露天の本屋）のような祝祭的な空間づくりをしたり，読書ピクニック（自然の中で読書をする）や，電子書籍用タブレットの貸出しをしたりすることも可能である。

こうした取組に際しては，民間事業者に委託して，コーヒーや食事をしながら読書する場を設けたり，図書の販売などをしたりすることもできるかもしれないという意見がある一方，時々のニーズを把握し，アウトリーチプログラムを臨機応変に展開するには，そうした権限を持ち安定的に実施できる市直営が必要であるという意見もあった。

（２）移動図書館を活用した体験学習

アクションプランでは，2021 年度の実施事業に「移動図書館を活用した体験学習」として以下を挙げている。
・子ども達が、体験しながら学習ができる機会や本に触れる機会の充実を図ります。

・移動図書館の運行見直しの一環として、小中学校、保育所、幼稚園等に出向き、ミニおはなし会や図書館講座などを実施します。
このことに対して，図書館協議会として望ましいあり方を審議した。

移動図書館は，建物としての図書館とは異なる特性をもつ。そうした特性を活かした体験学習の機会提供を期待したい。実際の体験学習の内容は，連携する機関と検討する必要があるが，**アクションプランにあるように小中学校，保育園，幼稚園，冒険遊び場，「まちとも」（放課後子ども教室）などに訪問して体験学習の機会を提供することが期待される。**また，若者の発想を活かしていろいろな体験学習の場にできるのではないか。

４　サービス拠点のあり方

アクションプランでは，2021 年度の実施事業として移動図書館の見直しを挙げている。そこでは：
・近年の貸出冊数の減少傾向などを考慮し、3 台による定期巡回運行について、巡回拠点や運行台数などを見直します。
・サービス拠点のあり方を見直します。
また，将来的なサービス拠点のあり方として，小中学校の建て替え時に学校図書館を地域開放し移動図書館を減らすことの可能性について，検討の依頼があった。このことについて，図書館協議会として望ましいあり方を審議した。

サービス拠点のあり方は，図書館の再編と関わってくる点で重要である。なお，サービス拠点とは，ここでは，建物としての図書館及びそれ以外で図書館サービスを提供する場所を指すこととする。具体的には，通常の図書館，移動図書館の巡回場所，予約資料の受渡場所などである。

（1）巡回場所の見直しについての意見

原則として，市内全域に均一なサービスを提供することが重要である。このことは，高齢化社会を迎え，移動距離が短い高齢者が増加する中では，さらに重要性を増している。そのためには，さまざまな手段を用いて図書館空白地域を解消することが重要である。**現状の移動図書館の巡回場所との関連では，全域サービスを担保している巡回場所の廃止や縮小には反対である。**逆に，サービスを充実させ，利用を活性化する方策の検討こそ必要である。したがって，巡回場所の廃止については，「利用者が少ないから」といった観点から行うのは望ましくない。仮に廃止をする場合は，影響を受ける市民に丁寧な説明が必要である。あわせて，将来の図書館利用のために，どのような利用手段を希望するのか，意見を聞く必要がある。

次に，予約資料の受渡場所の拡大自体は望ましい。八王子市はすべての郵便局内で返却を

受け付けている。その他，コンビニエンスストアや学校を活用しているところもある。しかし，**そうした予約受け渡し場所を設置する代わりに，巡回場所を廃止するという方針には反対である。**予約受け渡し場所では，資料選択の機会はなく，職員の支援を受けることもできない。さきほど述べたように，移動図書館の貸出の約８割は予約資料以外である。

他自治体との相互利用に関しては，確かに相互利用を進めることで，市民によってはそうした図書館でニーズを充足できるかもしれない。**しかし，相互利用の拡大をサービス拠点の廃止，縮小には結びつけるべきではない。**他自治体の図書館利用の際には，予約可能資料などで制限がつけられたり，将来，そうした制限をつけられたりすることも考えられる。町田市民が町田市の図書館を確実に利用できる体制を整えることが重要である。

資料配送サービスの代わりにサービス拠点を廃止，縮小することにも反対である。無料の資料配送サービスは，来館困難な利用者を対象としている。遠隔地の利用者に利用を広げる可能性も考えられるが，通常来館が可能な利用者に無料の資料配送サービスを提供することには議論が必要である。また，無料の利用者の範囲の特定は困難である。さらに，仮に資料配送サービスが有料となる場合は，やはり図書館空白地域の利用者に負担を押し付けることになり，望ましいとはいえない。

町田市では電子図書館サービスを開始した。このサービスにより，利用者は時間的な制約，距離的な制約を受けずに図書館利用が可能になる。しかし，電子図書館サービスを利用するには，家庭のインターネット接続環境，パソコン等の保有，コンピュータリテラシーなど課題が多い。また，電子図書館の充実は，経費が割高であり，コレクションの充実は容易ではない。以上のことから，**電子図書館サービスは，短期的，中期的には移動図書館の代わりにはならない。**

（２）学校との連携についての意見

サービス拠点としての学校図書館の可能性については，２つの観点から議論した。一つは学校図書館を図書館の代わりとするもので，もう一つは，学校図書館を予約資料の受渡場所とするものである。しかし，いずれにしても，現状，移動図書館との機能的違いから，**移動図書館の現状の台数は維持することが不可欠**である。

まず，**学校図書館を一般の図書館と共用することは，蔵書構成の違い，セキュリティの問題，児童生徒の活用時間との競合等の観点から困難である。**そもそも，学校図書館は本来的に児童，生徒のための施設であり，一般の図書館利用により学校図書館の機能発揮に支障がでるのは本末転倒である。また，児童生徒の個人情報の漏洩のリスク，児童生徒にとっての居場所が失われるリスクもある。以上のことから，学校図書館を図書館と共用することは困難である。

新たな学校に予約受渡し場所を新設することには意見が分かれた。学校が市内隈なく設置されていることからそこでの受渡しは市民の図書へのアクセスを改善することにつながる。しかし，現状のようにセキュリティが厳しい状況では，あえて学校に予約受渡し場所を設置することにはメリットがあまりない，という意見もあった。

また，学校と市立図書館との複合施設にすること具体的には学校と図書館の施設，運営，サービス，蔵書を別々にすることについては，可能性がある。こうした学校を地域のコミュニティスペースとする発想は，今後，検討の余地がある。いずれの場合でも，施設の作り方には知恵を絞る必要がある。学校の新設計画の早い段階から学校側と意見を出し合う必要がある。しかし，この場合でも，学校の予約受渡場所と移動図書館を二者択一の問題として捉えるのではなく，いずれもさらなる発展の方策をとることが重要である。

懸念事項として，複合施設が作られたとしても，学校から地域開放部分の担い手は出せない可能性がある。運営主体は地域協働になるかもしれないが，図書館部分は行政の支援が不可欠であろう。

５　移動図書館のサイズ

移動図書館の車両のあり方について，運行場所の拡大，運転手の確保，現車両の老朽化，新車購入予算等の観点から，事務局より，特にサイズについて検討の依頼があった。図書館協議会として望ましいあり方を審議した。

移動図書館の巡回場所には狭いところも多いことから，移動図書館の小型化は検討の余地がある。仮に小型化するのであれば，資料の入替えを今以上に頻繁に行うことを期待したい。また，行くことのできなかった場所，巡回場所にできなかったところなどを新たに開拓することも期待したい。

６　将来的なサービス拠点

移動図書館を含めて，将来的な町田市立図書館のサービス拠点のあり方について，以下の①から③について，図書館協議会として望ましいあり方を審議した。

案① 学校図書館地域開放積極実施+移動図書館(1 台)案

案② 学校開放と予約受渡場所+移動図書館(2 台)案

案③ 移動図書館拡充案

移動図書館について，サービスの縮小ではなく，様々な可能性を検討することが必要である。確かにコストの問題はあるが，仮にいずれかの案を選択した場合であっても，別の方策を全く考慮しないのは望ましくない。その時々の状況を踏まえて体制を整備する必要がある。

その上で，**上記の案のうち，案③は現状のポイントへのサービスを継続できるため最も望ましい。**案①及び案②の学校図書館・学校の地域開放は，前述したように課題が多く望ましくない。

資料３

図書館からの報告事項

１　町田市教育委員会の動向

（１）第 11 回定例会（2 月 3 日）

・議案 29 号:「(仮称) 町田市教育プラン 2024-2028」の策定について　【当日配布資料】
→教育目標、基本方針などの骨子について

・報告事項 3：鶴川図書館の再編に関する説明会の開催について

２　各種計画（町田市５ヵ年計画 22-26、公共施設再編計画、生涯学習推進計画、アクションプランなど）に基づく取組み

（１）鶴川図書館の再編について【当日配布資料】

（２）鶴川駅前図書館の運営状況について【資料４】

①モニタリング調査等の実施

・実施日　2023 年 3 月 6 日（月）

・概要　　会計・経理モニタリング調査、労働条件モニタリング調査、備品確認

（３）市民意識調査の結果について【当日配布資料】

（４）デジタルデバイド対応について【資料５】

（５）タブレット端末貸出サービスの案内【資料６】

（６）「推し本を伝えよう！ひとことＰＯＰコンテスト 2022」の開催結果について
【当日配布資料】

（７）「ことばらんどショートショートコンクール 2022」の開催結果について
【当日配布資料】

■利用状況_月別貸出冊数及び来館者数の2022年度／2019年度各館比較

来館者数	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比
鶴川駅前図書館	24,307	25,924	93.8%	24,609	27,616	89.1%	26,913	26,722	100.7%	30,933	31,143	99.3%	34,648	33,559	103.2%	30,273	27,964	108.3%
中央図書館	41,612	48,840	85.2%	43,902	53,486	82.1%	43,636	51,151	85.3%	47,121	55,138	85.5%	45,804	56,686	80.8%	45,486	50,631	89.8%
さるびあ図書館	11,307	16,518	68.5%	11,635	14,864	78.3%	9,895	15,652	63.2%	10,860	18,542	58.6%	11,178	21,151	52.8%	10,004	18,863	53.0%
鶴川図書館	4,733	12,560	37.7%	5,207	15,248	34.1%	3,471	13,897	25.0%	5,480	13,392	40.9%	4,714	14,052	33.5%	5,098	14,525	35.1%
金森図書館	13,408	20,823	64.4%	11,424	20,888	54.7%	10,566	20,867	50.6%	18,650	22,326	83.5%	20,525	24,718	83.0%	19,392	21,488	90.2%
木曽山崎図書館	11,919	20,936	56.9%	17,573	21,733	80.9%	14,555	19,161	76.0%	13,850	20,073	69.0%	13,093	19,467	67.3%	13,124	18,520	70.9%
堺図書館	4,865	6,272	77.6%	5,489	6,814	80.6%	6,125	5,905	103.7%	7,077	8,147	86.9%	5,788	7,240	79.9%	4,665	5,977	78.0%
忠生図書館	13,398	15,843	84.6%	13,815	16,715	82.7%	13,568	17,823	76.1%	15,832	20,475	77.3%	14,294	23,197	61.6%	11,999	17,604	68.2%
直営地域館全体	59,630	92,952	64.2%	65,143	96,262	67.7%	58,180	93,305	62.4%	71,749	102,955	69.7%	69,592	109,825	63.4%	64,282	96,977	66.3%
直営館全体	101,242	141,792	71.4%	109,045	149,748	72.8%	101,816	144,456	70.5%	118,870	158,093	75.2%	115,396	166,511	69.3%	109,768	147,608	74.4%
市立図書館全体	125,549	167,716	74.9%	133,654	177,364	75.4%	128,729	171,178	75.2%	149,803	189,236	79.2%	150,044	200,070	75.0%	140,041	175,572	79.8%

貸出点数	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比
鶴川駅前図書館	31,818	36,932	86.2%	32,556	35,663	91.3%	30,669	36,121	84.9%	34,463	40,476	85.1%	35,209	40,949	86.0%	30,673	34,772	88.2%
中央図書館	60,891	75,392	80.8%	62,535	76,371	81.9%	59,165	77,657	76.2%	65,420	79,028	82.8%	62,632	80,421	77.9%	58,838	71,612	82.2%
さるびあ図書館	17,531	20,360	86.1%	17,674	19,963	88.5%	17,508	21,448	81.6%	19,267	22,551	85.4%	19,907	23,574	84.4%	18,171	21,228	85.6%
鶴川図書館	11,397	12,700	89.7%	11,139	12,105	92.0%	10,340	12,858	80.4%	12,070	13,644	88.5%	12,257	14,451	84.8%	10,917	12,398	88.1%
金森図書館	40,953	45,175	90.7%	41,649	45,239	92.1%	40,018	48,070	83.2%	46,079	48,923	94.2%	45,956	53,569	85.8%	40,836	44,013	92.8%
木曽山崎図書館	14,380	15,757	91.3%	14,595	15,656	93.2%	13,549	15,851	85.5%	14,058	16,973	82.8%	14,896	17,679	84.3%	13,728	15,683	87.5%
堺図書館	10,308	9,471	108.8%	9,963	10,120	98.4%	9,362	10,588	88.4%	11,185	10,898	102.6%	10,238	11,125	92.0%	9,830	9,896	99.3%
忠生図書館	30,361	33,649	90.2%	30,399	33,352	91.1%	28,552	36,878	77.4%	36,644	40,767	89.9%	37,044	43,236	85.7%	31,902	34,326	92.9%
直営地域館全体	124,930	137,112	91.1%	125,419	136,435	91.9%	119,329	145,693	81.9%	139,303	153,756	90.6%	140,298	163,634	85.7%	125,384	137,544	91.2%
直営館全体	185,821	212,504	87.4%	187,954	212,806	88.3%	178,494	223,350	79.9%	204,723	232,784	87.9%	202,930	244,055	83.1%	184,222	209,156	88.1%
市立図書館全体	217,639	249,436	87.3%	220,510	248,469	88.7%	209,163	259,471	80.6%	239,186	273,260	87.5%	238,139	285,004	83.6%	214,895	243,928	88.1%

■利用状況_月別貸出冊数及び来館者数の2022年度／2019年度各館比較

来館者数	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月～12月累計		
	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比
鶴川駅前図書館	32,088	26,051	123.2%	31,243	28,074	111.3%	27,698	20,826	133.0%	0	24,849	0.0%	0	29,343	0.0%	0	5,388	0.0%	262,712	227,053	115.7%
中央図書館	45,535	49,128	92.7%	40,024	49,475	80.9%	40,703	38,994	104.4%	0	43,346	0.0%	0	48,403	0.0%	0	8,012	0.0%	393,823	414,535	95.0%
さるびあ図書館	10,258	16,025	64.0%	9,864	15,336	64.3%	9,219	12,145	75.9%	0	14,254	0.0%	0	17,234	0.0%	0	2,560	0.0%	94,220	136,951	68.8%
鶴川図書館	6,411	12,415	51.6%	5,937	12,241	48.5%	7,649	9,156	83.5%	0	10,953	0.0%	0	12,528	0.0%	0	2,406	0.0%	48,700	108,330	45.0%
金森図書館	20,597	20,417	100.9%	21,969	20,434	107.5%	22,779	15,959	142.7%	0	19,323	0.0%	0	22,797	0.0%	0	6,406	0.0%	159,310	171,961	92.6%
木曽山崎図書館	14,272	18,234	78.3%	14,394	17,618	81.7%	12,462	12,255	101.7%	0	13,475	0.0%	0	16,856	0.0%	0	1,542	0.0%	125,242	155,742	80.4%
堺図書館	5,057	5,755	87.9%	4,925	5,538	88.9%	4,570	4,166	109.7%	0	4,911	0.0%	0	5,643	0.0%	0	1,423	0.0%	48,561	51,648	94.0%
忠生図書館	12,624	17,333	72.8%	13,961	16,716	83.5%	12,516	12,206	102.5%	0	22,545	0.0%	0	17,647	0.0%	0	2,748	0.0%	122,007	145,706	83.7%
直営地域館全体	69,219	90,179	76.8%	71,050	87,883	80.8%	69,195	65,887	105.0%	0	85,461	0.0%	0	92,705	0.0%	0	17,085	0.0%	598,040	770,338	77.6%
直営館全体	114,754	139,307	82.4%	111,074	137,358	80.9%	109,898	104,881	104.8%	0	128,807	0.0%	0	141,108	0.0%	0	25,097	0.0%	991,863	1,184,873	83.7%
市立図書館全体	146,842	165,358	88.8%	142,317	165,432	86.0%	137,596	125,707	109.5%	0	153,656	0.0%	0	170,451	0.0%	0	30,485	0.0%	1,254,575	1,411,926	88.9%

貸出点数	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月～12月累計		
	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比
鶴川駅前図書館	31,862	34,977	91.1%	30,151	34,545	87.3%	29,304	28,138	104.1%	0	32,702	0.0%	0	38,300	0.0%	0	10,700	0.0%	286,705	294,435	97.4%
中央図書館	59,776	71,053	84.1%	54,226	70,649	76.8%	57,428	61,620	93.2%	0	64,664	0.0%	0	74,565	0.0%	0	14,335	0.0%	540,911	602,183	89.8%
さるびあ図書館	17,841	21,357	83.5%	16,863	20,263	83.2%	16,140	16,165	99.8%	0	18,064	0.0%	0	21,620	0.0%	0	5,750	0.0%	160,902	170,744	94.2%
鶴川図書館	10,878	12,867	84.5%	10,615	12,447	85.3%	10,349	10,012	103.4%	0	11,098	0.0%	0	12,926	0.0%	0	4,381	0.0%	99,962	103,470	96.6%
金森図書館	40,958	43,082	95.1%	39,678	41,002	96.8%	38,043	34,260	111.0%	0	38,635	0.0%	0	46,282	0.0%	0	11,290	0.0%	374,170	369,073	101.4%
木曽山崎図書館	14,475	16,199	89.4%	13,796	15,561	88.7%	12,911	12,634	102.2%	0	14,079	0.0%	0	16,132	0.0%	0	3,771	0.0%	126,388	129,359	97.7%
堺図書館	9,584	9,997	95.9%	9,671	9,880	97.9%	8,736	7,944	110.0%	0	9,204	0.0%	0	11,214	0.0%	0	2,482	0.0%	88,877	81,975	108.4%
忠生図書館	31,426	35,401	88.8%	29,778	33,097	90.0%	28,522	27,537	103.6%	0	30,268	0.0%	0	36,747	0.0%	0	8,089	0.0%	284,628	290,706	97.9%
直営地域館全体	125,162	138,903	90.1%	120,401	132,250	91.0%	114,701	108,552	105.7%	0	121,348	0.0%	0	144,921	0.0%	0	35,763	0.0%	1,134,927	1,145,327	99.1%
直営館全体	184,938	209,956	88.1%	174,627	202,899	86.1%	172,129	170,172	101.2%	0	186,012	0.0%	0	219,486	0.0%	0	50,098	0.0%	1,675,838	1,747,510	95.9%
市立図書館全体	216,800	244,933	88.5%	204,778	237,444	86.2%	201,433	198,310	101.6%	0	218,714	0.0%	0	257,786	0.0%	0	60,798	0.0%	1,962,543	2,041,945	96.1%

2022年度デジタルデバイド事業一覧（報告）

事業名	開催日	開催時間	講師	参加人数（定員）	開催場所	備考欄
はじめてのスマホ体験	10月18日（火）	2時間	（株）ベルパーク	19（20）	中央図書館ホール	・70代以上が8割 ・10段階の評価で「8」以上が8割 ・定員が60名に対し181名の申込があった
	10月27日（木）			20（20）		
	11月6日（日）			17（20）		
※1 【11～1月】スマートフォン・タブレット個別相談会	11月4日（金）～1月27日（金）（11月11日（金）と12月30日（金）を除く）	30分×2人×5回	アクティブSITA	59（110）	中央図書館小集会室	・70代以上が9割
※2 東京都令和4年度「高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業」スマートフォン体験会	9月21日（水）	3時間	東京都の委託	11（30）	中央図書館ホール	・70代以上が9割 ・10段階の評価で「8」以上が7割
		3時間		6（30）		
	12月1日（木）	3時間	東京都の委託	11（30）	忠生市民センターホール	東京都に照会中
		3時間		8（30）		
情報セキュリティ講演会	11月23日（祝・水）	2時間	IPA講師	33（50）	中央図書館ホール	・70代以上が6割 ・6割以上は満足と回答（不満の回答はなし）

※1 スマートフォン・タブレット個別相談会は2022年11月4日（金）から2023年3月31日（金）までの毎週金曜日に開催予定
※2 東京都令和4年度「高齢者向けスマートフォン・タブレット利用普及啓発事業」スマートフォン体験会の対象者は都内在住の60歳以上

資料６

新サービスのお知らせ

タブレット端末貸出サービス始めました（中央図書館）

パソコン、スマートフォン、タブレットをお持ちではない方、
および相互利用の方向けのサービスとして、
「タブレット端末貸出サービス」を開始します。
こちらで電子書籍の使い勝手を体験してみてください。

１　サービスの概要

対象：利用券を持つ有効利用者。相互利用の方も利用できます。
＊貸出停止中や利用券の有効期限切れの場合は利用できません。
場所：５階視聴覚カウンター前　全４席
受付：５階視聴覚カウンター（セルフ貸出機側）。
時間：１回につき６０分まで（以降の予約がない場合は延長可能、回数制限なし）。
予約：全台使用中の場合のみ空いている直近の時間帯で予約可能。
＊当日受付のみ、時間帯指定不可。
内容：アプリ（Libby）・ブラウザ（safari）での「町田市立図書館電子書籍サービスの利用」及びブラウザ（Safari）での「インターネットの閲覧」。

２　注意事項（利用者の皆様へお願い）

①終了５分前になりましたらアラームが作動します。５分以内に「終了」または、「延長希望」を受付までお声がけいただくようお願いします。
②この端末で利用できるサービスは「電子書籍の閲覧」及び「インターネットの閲覧」のみとします。その他の機能は使わないでください。
③タブレット端末は不特定多数の方が使うほか、暗号化されていないネットワークを使用しています。プライバシー保護のため、以下の対応をお願いします。
・閲覧の履歴は残ります。その都度消去はしませんのでご了承ください。
・アプリ（Libby）での「電子書籍の閲覧」は専用ＩＤでサインイン済みなのでご自身のＩＤは使用しないでください。また、終了時には貸出・予約した資料の返却・予約解除を行ってください。
・ブラウザ（Safari）での「電子書籍の閲覧」はご自身のＩＤでサインインしてください。利用したあとは、必ずサインアウトしてください。また、その他のウエブサイトでは閲覧のみとし、メールの使用など個人情報に関する行為は行わないでしてください。
④電源タップは貸出用タブレット端末専用です。その他の機器は充電できません。

町田市立中央図書館

場所別利用統計（貸出冊数）

巡回場所名	2021年度			2020年度			2019年度		
	個人	団体他	合計	個人	団体他	合計	個人	団体他	合計
1.ヴィラ町田	891	0	891	745	0	745	738	0	738
2.武蔵岡住宅	3,026	67	3,093	2,065	0	2,065	2,874	0	2,874
3.ゆくのき学園前	396	1,109	1,505	356	639	995	65	482	547
4.小山ヶ丘こもれび公園	2,950	0	2,950	2,449	0	2,449	1,571	0	1,571
5.小山ヶ丘小学校前	3,474	109	3,583	2,511	163	2,674	2,267	411	2,678
6.小山観音谷戸	877	0	877	1,078	0	1,078	1,630	2	1,632
7.小山白山公園	2,654	306	2,960	1,518	0	1,518	1,270	0	1,270
8.小山中央小学校前	2,929	316	3,245	1,748	347	2,095	1,795	442	2,237
9.小山小学校前	1,466	1,021	2,487	1,157	1,054	2,211	1,670	502	2,172
10.小山ヶ丘一丁目	1,027	0	1,027	862	0	862	1,066	0	1,066
11.馬場児童公園前	1,916	33	1,949	805	0	805	904	0	904
12.常盤団地	847	0	847	712	0	712	553	0	553
13.上小山田町はなみずき公園	725	0	725	360	0	360	300	0	300
14.小山田桜台	1,134	0	1,134	747	0	747	1,220	0	1,220
15.マイライフ尾根道	68	0	68	123	0	123	517	322	839
16.矢部八幡	247	0	247	360	0	360	96	0	96
17.都営八幡平	1,281	0	1,281	1,123	0	1,123	1,205	0	1,205
18.イリーゼ町田図師の丘	205	0	205	177	0	177	460	0	460
19.町田荘	1,537	0	1,537	1,042	0	1,042	1,440	0	1,440
20.山崎第二スポーツ広場	489	0	489	606	0	606	280	0	280
21.シーアイハイツ町田	2,139	9	2,148	1,292	6	1,298	1,029	0	1,029
22.鶴川さくら病院前	2,146	0	2,146	1,193	0	1,193	1,150	0	1,150
23.福音会	995	58	1,053	578	47	625	912	133	1,045
24.薬師ヶ丘住宅	375	0	375	299	0	299	635	0	635
25.薬師台青空公園	1,249	0	1,249	1,129	10	1,139	1,397	0	1,397
26.山王塚公園	1,024	0	1,024	972	0	972	1,334	0	1,334
27.金井関山公園	1,392	0	1,392	1,179	0	1,179	862	0	862
28.金井森の丘公園	1,117	0	1,117	923	0	923	1,423	0	1,423
29.金井中央ふれあい公園	749	0	749	498	0	498	316	0	316
30.ゆうき山公園	1,479	208	1,687	1,462	139	1,601	955	287	1,242
31.鶴川台丘の里公園	454	0	454	347	0	347	278	0	278
32.鶴川台緑の里公園	820	0	820	542	0	542	631	0	631
33.三輪第一住宅バス停前	993	0	993	1,062	0	1,062	685	0	685
34.四ツ木橋児童公園	1,261	0	1,261	654	0	654	496	0	496
35.三輪沢谷戸かえで公園	1,007	0	1,007	835	0	835	824	0	824
36.三輪中央公園	1,498	36	1,534	1,249	20	1,269	1,592	0	1,592
37.藤の台住宅管理組合前	2,990	0	2,990	1,547	0	1,547	1,288	0	1,288
38.市立博物館前	825	0	825	443	0	443	416	0	416
39.玉川学園やすらぎ公園	954	0	954	739	0	739	730	21	751
40.本町田住宅貝がら公園	714	70	784	400	46	446	346	0	346
41.東玉川学園1丁目児童公園	3,476	0	3,476	2,755	1	2,756	2,305	0	2,305
42.都営町田中里橋アパート	640	0	640	374	0	374	499	0	499
43.境川住宅管理事務所前	2,223	0	2,223	1,641	0	1,641	792	0	792
44.木曽森野防災市民いこい･･･	1,940	0	1,940	1,236	0	1,236	1,299	20	1,319
45.成瀬台公園	5,941	5	5,946	4,156	0	4,156	4,495	0	4,495
46.成瀬熊ヶ谷戸公園	1,810	4	1,814	688	0	688	427	0	427
47.総合体育館駐車場入口	820	0	820	605	0	605	936	0	936
48.天神原公園	1,591	0	1,591	1,271	0	1,271	627	0	627
49.南つくし野なかむら公園	1,157	0	1,157	552	0	552	857	0	857
50.つくし野セントラルパーク	1,024	0	1,024	793	0	793	747	0	747
51.南つくし野やなぎ公園	944	0	944	853	7	860	1,043	0	1,043
52.セルシオヒルズすずかけ台	1,277	0	1,277	1,168	0	1,168	1,051	0	1,051
53.南町田ハイタウン	1,006	92	1,098	600	0	600	305	0	305
54.西田橋公園	735	0	735	600	0	600	819	0	819
55.鶴間橋児童公園	1,158	0	1,158	764	0	764	872	0	872

巡回場所名	2021年度			2020年度			2019年度		
	個人	団体他	合計	個人	団体他	合計	個人	団体他	合計
56.鶴間ガーデンセシア	1,820	161	1,981	1,359	236	1,595	2,402	261	2,663
57.鶴間公園(2017.10-2019.11休止	1,623	2	1,625	1,198	2	1,200	156	0	156
58.鶴間風の子公園	783	0	783	567	0	567	706	0	706
59.鶴間三角公園	3,023	0	3,023	2,099	0	2,099	3,137	7	3,144
日本ろう話学校	1,969	0	1,969	1,681	0	1,681	2,093	0	2,093
小山田会館							302	0	302
谷戸クラブ							560	0	560
小野路公会堂							224	0	224
相原中央公園							203	0	203
小山市民センター横							264	0	264
ひなた村							295	139	434
合計	87,280	3,606	90,886	62,847	2,717	65,564	64,788	2,890	67,678
	※2021年4月26日～5月11日 コロナ感染防止のため運休			※2020年4月～6月14日 コロナ感染防止のため運休			※2020.3月コロナ感染防止のため運休		

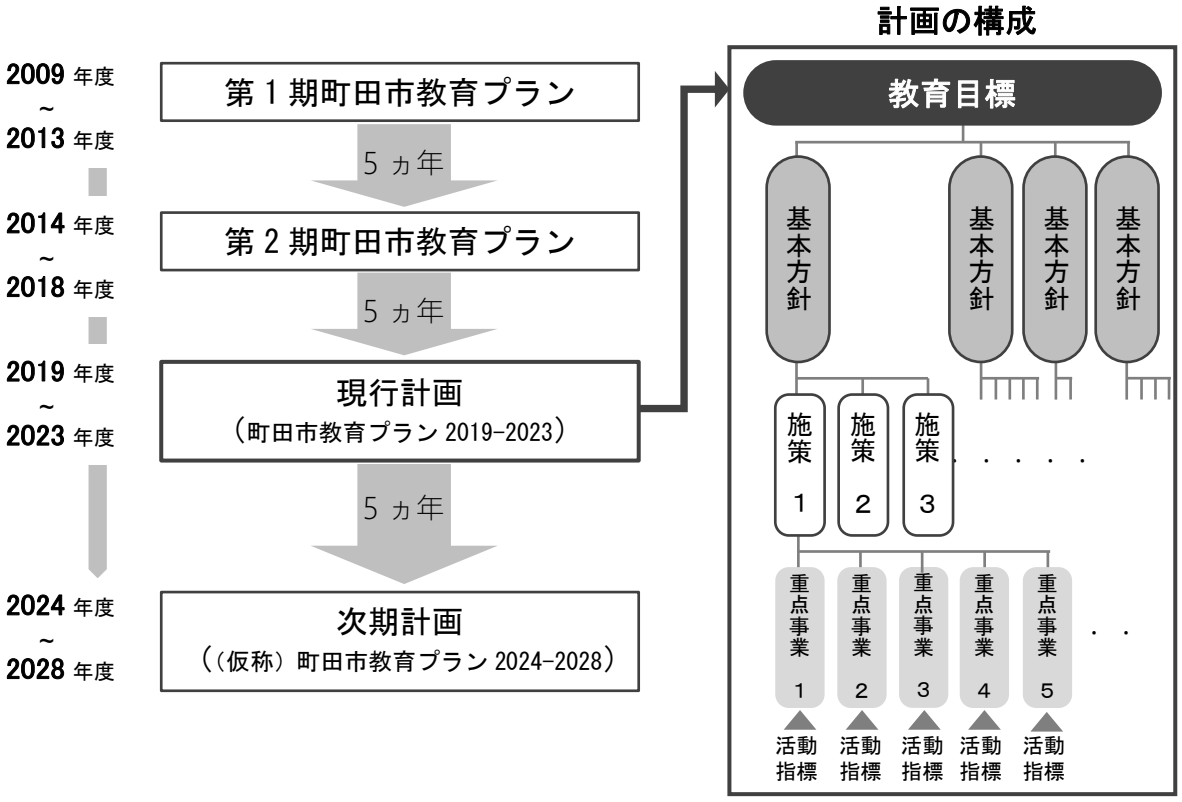
「（仮称）町田市教育プラン 2024-2028」の骨子（案）について

1 策定の背景、経過

（1） 計画の概要

町田市教育委員会は、教育基本法に基づき国が策定した教育振興基本計画を参酌し、2009 年 2 月に第 1 期「町田市教育プラン」（2009 年度～2013 年度）を策定しました。続いて 2014 年 2 月に第 2 期「町田市教育プラン」（2014 年度～2018 年度）を策定、2019 年 2 月に現行計画を策定し、2022 年現在、4 年目を迎えました。

現行計画は、「夢や志をもち、未来を切り拓く町田っ子を育てる。生涯にわたって自ら学び、互いに支え合うことができる地域社会を築く。」という教育目標を掲げ、その実現に向けた 4 つの基本方針と 14 の施策、44 の重点事業を設定し、本市の教育政策を推進しています。



（2） 現行計画の振り返り

基本方針Ⅰ　学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす

＜事業実施の状況＞

全国学力状況調査及び児童生徒の学力を図る調査結果を分析した結果、思考力、判断力、表現力を育成する授業実践を重視し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善に取り組んできました。これまで先進的に取り組んできたＩＣＴ教育については、ＧＩＧＡスクール構想の後押しを受け、市内小中学校のすべての児童生徒、教員に一人１台タブレット端末を整備し、コロナ禍においても学びを継続して行うことができました。英語教育については、小学校放課後英語教室の全校実施や、ＡＬＴ（外国語指導助手）を増員するなど、英語によるコミュニケーションの機会を通してコミュニケーション能力を育んでいます。

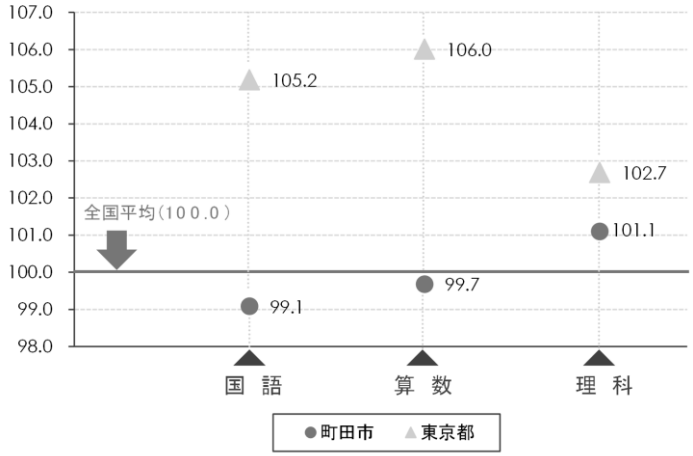
また、生涯を通じて健やかに過ごせる体を育成するために、体を動かす機会の充実や朝食レシピコンテストを実施するなど食や生活習慣への正しい知識や理解を深める取組を実施しました。

科学教育の推進については、根拠となるデータ収集・分析が進まず、科学教育推進プランの策定ができませんでした。

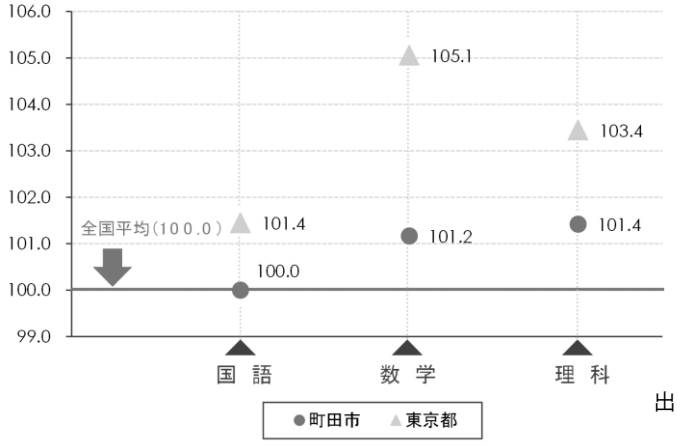
＜現状を表すデータ＞

関連データ①学力の状況・学習の動機

■町田市の小学生の全国学力・学習状況調査（2022 年度）
全国平均を 100 とした場合の町田市・東京都の科目別正答率の比較



■町田市の中学生の全国学力・学習状況調査（2022 年度）
全国平均を 100 とした場合の町田市・東京都の科目別正答率の比較

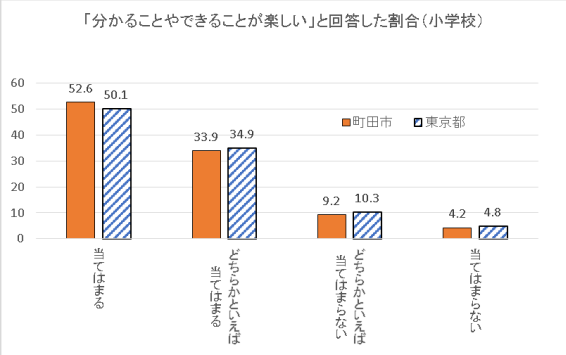


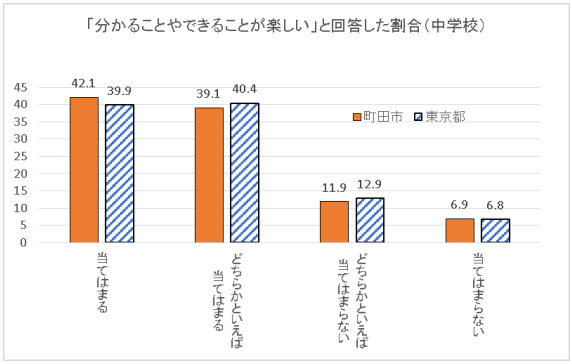
出典：全国学力・学習状況調査（2022 年度）

※全国学力・学習状況調査は、全国の小学６年生、中学３年生を対象とし、国語、算数（数学）の２教科について毎年実施。理科、英語については、３年に１度の実施となり、2022 年度は理科の実施年度。

■東京都「令和4年度　児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果

学習の動機　※東京都の回答の割合と差が大きい項目を抜粋





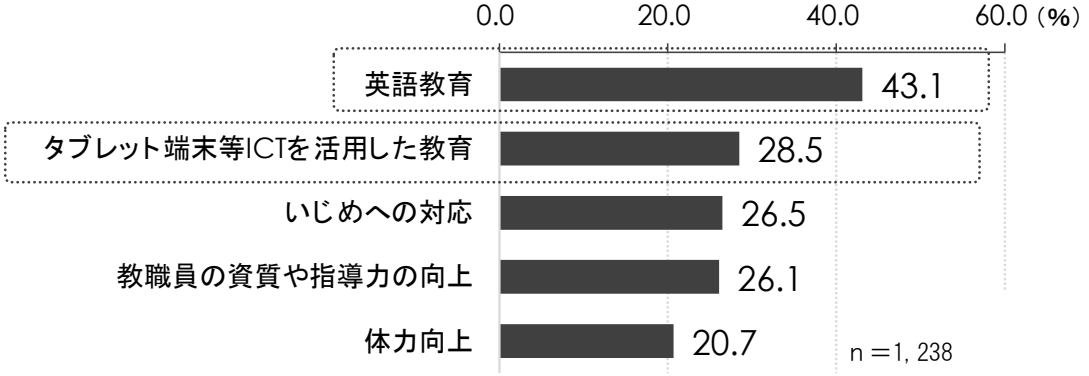
出典：児童・生徒の学力向上を図るための調査（2022 年度）

町田市の小・中学生の全国学力・学習状況調査の結果をみると、全国平均を 100 としたときに、いずれの科目でも東京都よりも低い状況となっています。また、小学生の国語と算数については、全国よりも低い状況です。しかしながら、東京都「令和４年度　児童・生徒の学力向上を図るための調査」の学習動機「分かることやできることが楽しいから」の項目結果については、肯定的回答が東京都より小学校では 1.7 ポイント、中学校では 0.9 ポイント高い状況です。

関連データ②学校教育へのニーズ

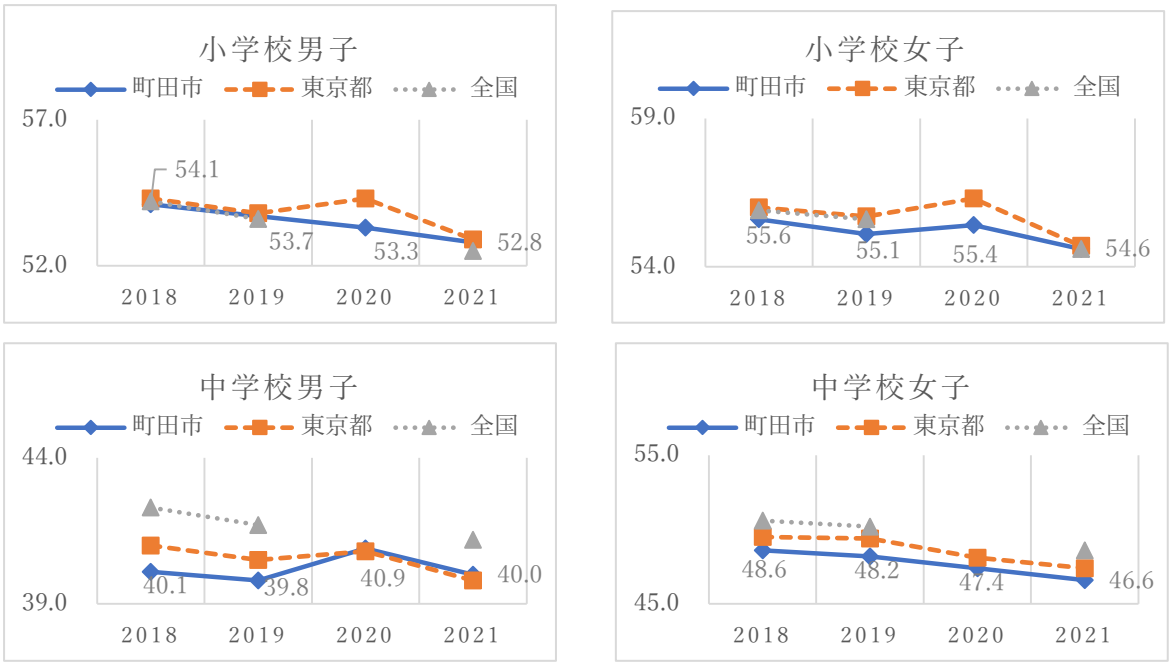
■町田市の学校教育で今後、力を入れていくことが望ましいもの

（全 20 項目のうち上位 5 項目のみ抜粋）



出典：町田の教育に関するアンケート調査【保護者アンケート】（2022 年）

関連データ③体力の状況

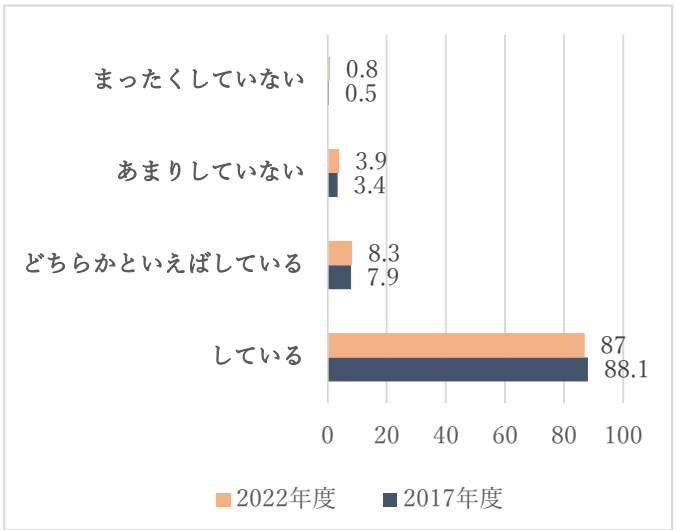


出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査、東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査
※2020 年度は全国調査が実施されなかったため、東京都調査の結果を活用しています。

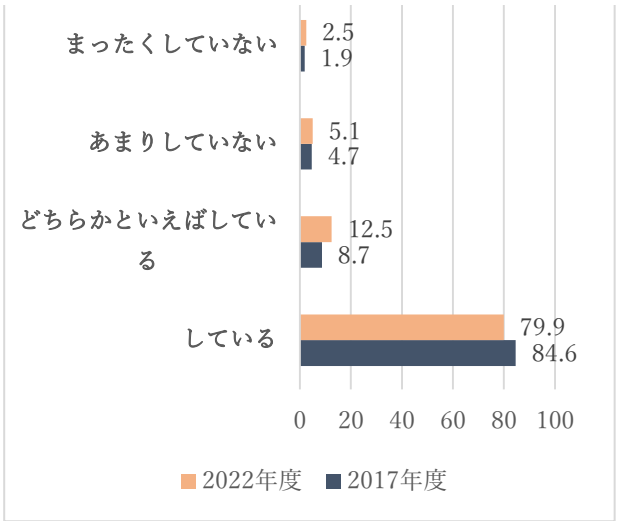
町田市の児童生徒の体力の状況については、全国や東京都の傾向と同じく小中男女ともに低下傾向にあります。2018 年度の調査と比較し、小学校においては、男子が 1.3 ポイント、女子は 1.0 ポイント減少しています。また、中学校においては、男子が 0.1 ポイントの減少であるのに対し、女子は 2.0 ポイント減少しています。

関連データ④児童生徒の朝食摂取状況

■朝食を毎日食べていますか【小学6年生】



■朝食を毎日食べていますか【中学3年生】



出典：全国学力・学習状況調査（令和４年度）

児童生徒の朝食摂取率については、朝食を毎日食べていない児童が 1 割以上、朝食を毎日食べていない生徒が 2 割以上いる状況です。2017 年度の調査と比較し、毎日朝食を食べている児童は 1.1 ポイント、生徒は 4.7 ポイント減少しています。

基本方針Ⅱ　充実した教育環境を整備する

＜事業実施の状況＞

少子化に伴い、児童生徒数は減少に転じていますが、一方で特別支援学級児童生徒数は増えている状況です。特別支援教育を想定していない時点に建設された多くの学校では、特別支援学級について余裕教室等を転用することが多く、広さや配置に十分な配慮ができていない状況です。これらの課題や施設の老朽化等に対し、学校統合を契機により良い教育環境をつくることを検討し 2021 年 5 月に「町田市新たな学校づくり推進計画」を策定しました。推進計画に基づき、学校統合に向けた準備・検討を進めています。

また、協働的な学習を進める上で効果的な大型提示装置などのＩＣＴ環境の整備や児童生徒の熱中症対策に資する体育館空調の設置などより良い教育環境を整備しました。

特別支援教育については、支援員の配置や学級の整備を計画的に行い、一人ひとりのニーズに対応できるよう進めました。増え続けている不登校児童生徒に対する支援については、不登校初期支援チームの創設や、適応指導教室（教育支援センター）を拡充し一人でも多くの児童生徒とつながりを持てるよう取組みました。

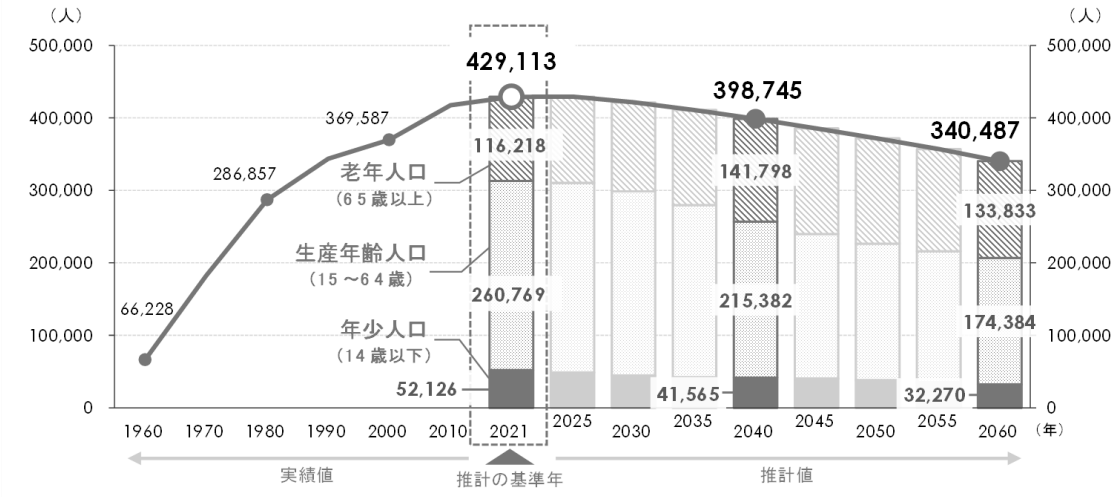
また、長時間勤務する教員の負担軽減を図り、教育の質を向上させていくことを目的として、副校長補佐やスクールサポートスタッフなど学校を支える人員体制を計画的に拡充するなど教員の働き方改革を進めています。

＜現状を表すデータ＞

関連データ①今後の人口の動向

町田市の人口推計では、2021～2025 年の間に人口のピークを迎え、減少傾向に転じることが予測されています。少子化、超高齢化社会は今後も進行する予測です。

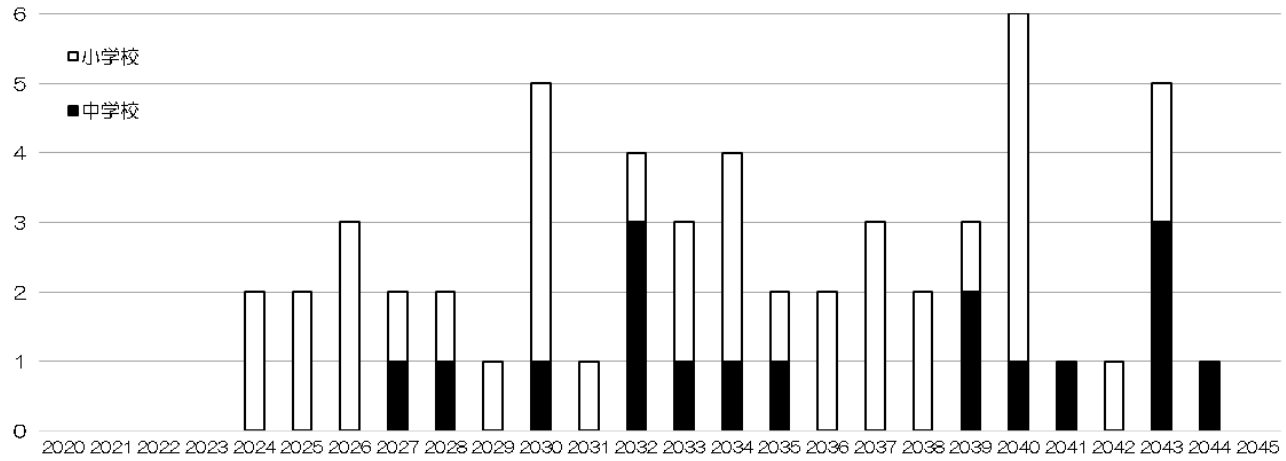
▽町田市の総人口及び年齢３区分別人口の推計



出典：2021 年以前は市の住民基本台帳（各年 1 月 1 日現在）、
2025 年以降は「町田市将来人口推計報告書」（2021 年 10 月）
※推計値は、2021 年を基準年として、コーホート要因法を用いた推計方法から算出

関連データ②町田市立学校施設の老朽化の状況

■町田市立学校施設の耐用年数(60年)の到来次期＜55校の内訳＞



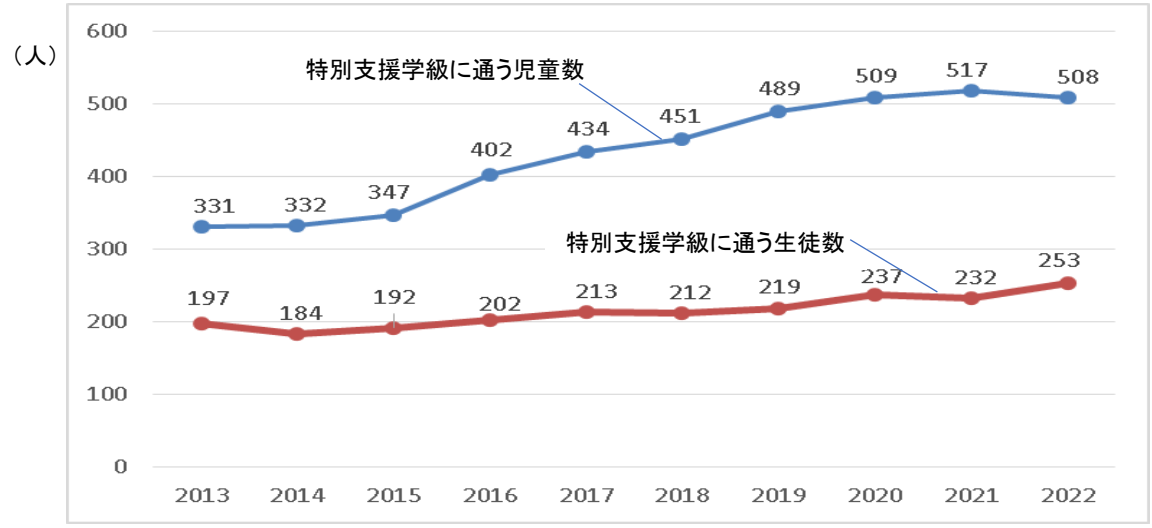
出典：町田市教育委員会調べ（2021 年 5 月時点）

現在、新たな学校づくり推進事業を進めていますが、学校統合を行わなかった場合には、2044 年度までに、築 60 年が到来する学校が 55 校あります。

関連データ③特別支援学級の状況

町田市の特別支援学級に通う児童数・生徒数は増加傾向にあり、児童数は 2013 年の 331 人から 2022 年には約 1.5 倍の 508 人となり、生徒数は 2013 年の 197 人から 2022 年には約 1.3 倍の 253 人となっています。

■町田市の特別支援学級に通う児童数・生徒数の推移



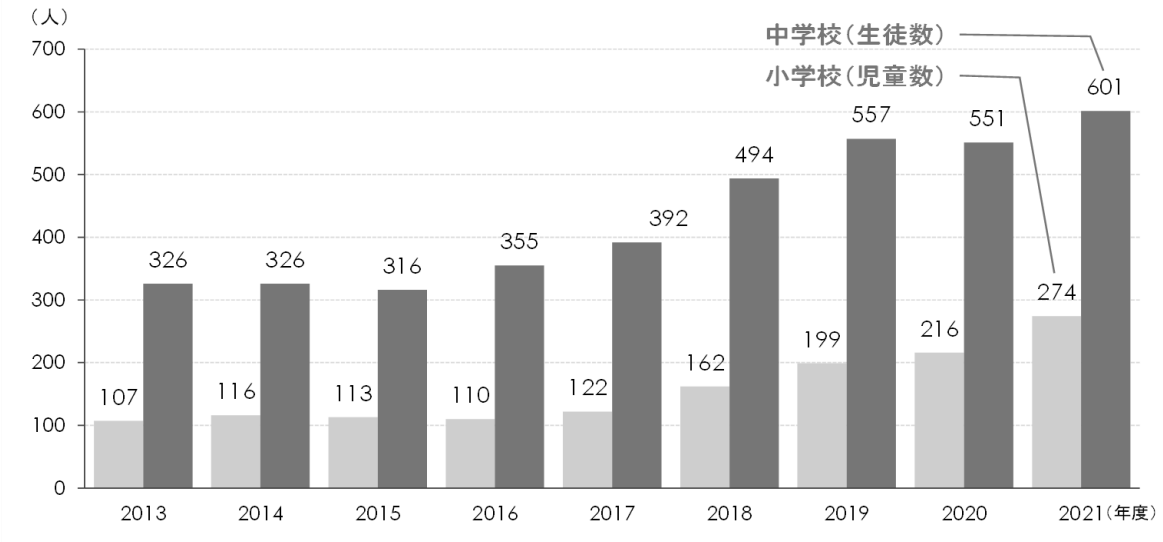
出典：町田市教育委員会調べ（各年 5 月 1 日現在）

関連データ④不登校児童生徒の状況

町田市の不登校児童数は、2017 年度以降に増加傾向となり、2021 年度は 274 人となっています。不登校生徒数は、2016 年度以降に以前と比べて大きく増加するようになり、2021 年度は 601 人となっています。

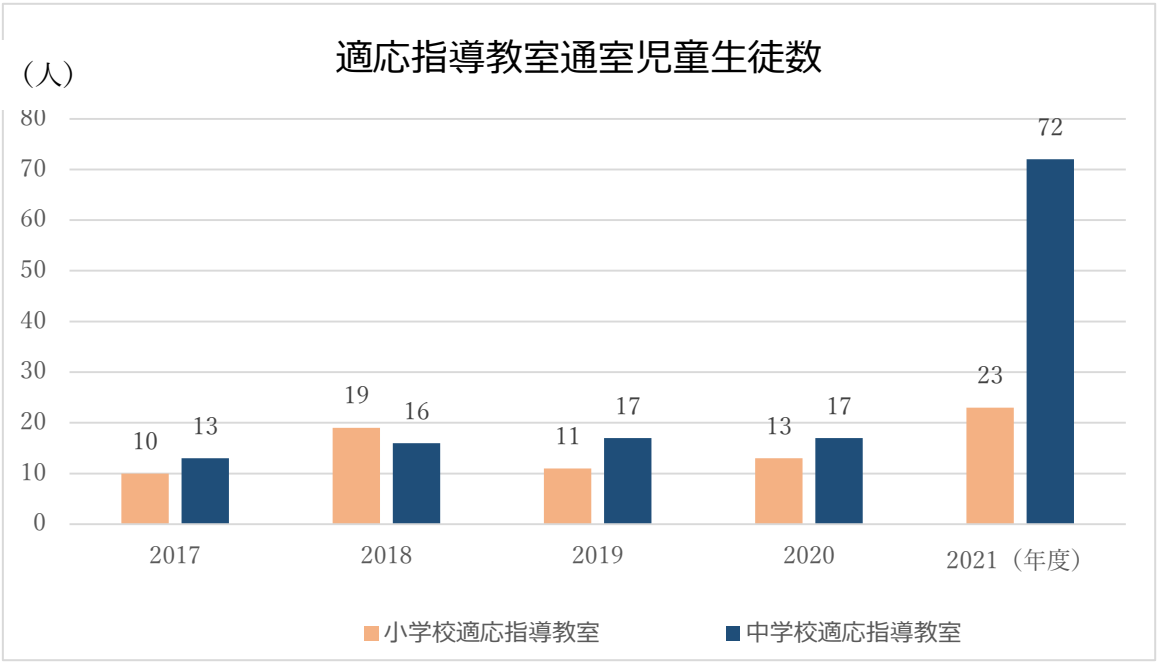
また、適応指導教室（教育支援センター）に通室している児童生徒数も増加しています。2021 年度は 2020 年度から 55 人通室生徒数が増えています。

■町田市の不登校児童数・生徒数の推移



出典：町田市教育委員会調べ（2022 年 10 月時点）

■適応指導教室（教育支援センター）通室児童生徒数の推移



2021 年度生徒数の伸びの要因：2021 年度から中学生を対象とした民間事業者による小集団指導を開始したことが要因と考えられる。

出典：町田市教育委員会調べ（2022 年 5 月時点）

関連データ⑤教員の勤務状況

町田市立小中学校に勤務する教員のうち、月 80 時間以上の時間外在校等時間数であった教員の 2021 年度の割合は、2020 年度より小・中学校全体で 0.6 ポイント減少し 4.1%でした。

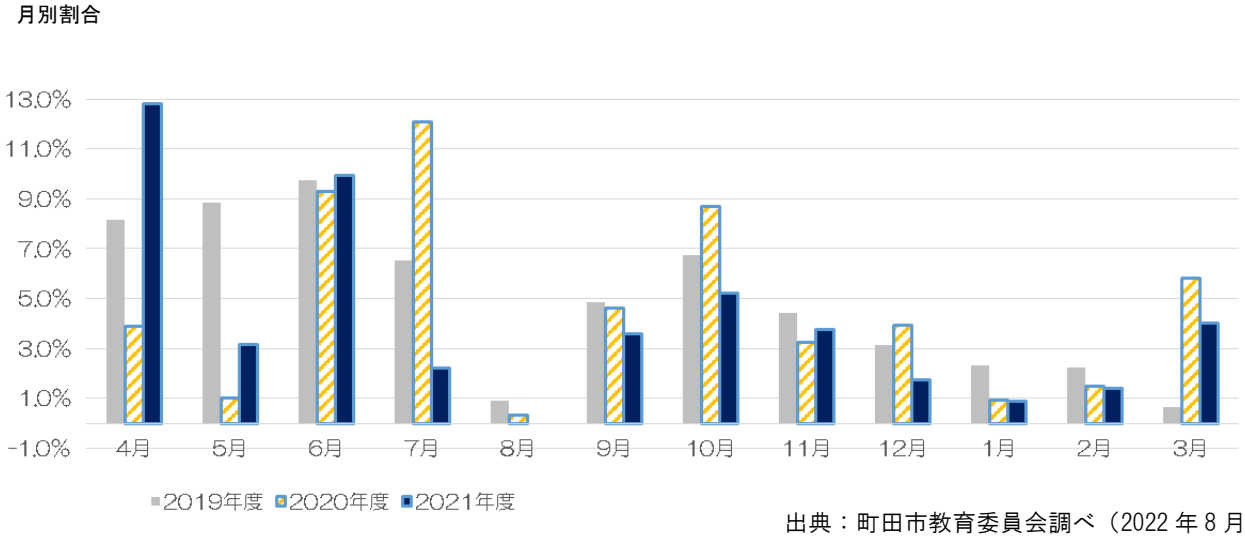
2020 年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した教育活動によってコロナ禍前と比較すると業務は増えているにもかかわらず、時間外在校等時間数が月 80 時間以上の教員の割合は、2019 年度から継続して減少しています。

■時間外在校等時間数が月 80 時間以上を超える教員の年度平均割合の比較

年度	2019	2020	2021
月80時間以上を超える教員の割合	4.9%	4.7%	4.1%

出典：町田市教育委員会調べ（2022 年 8 月）

■時間外在校等時間数が月 80 時間以上を超える教員の月別割合の比較



出典：町田市教育委員会調べ（2022 年 8 月時点）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業の影響：

・2019 年度 3 月、2020 年度 4 月は臨時休業のため、例年より低い割合だった。

・2020 年度 7 月は、夏季休業が少なかったため、例年より高い割合だった。

■教員の働き方改善に向けた取組の検討

▽働き方改革プランに掲げる取組によって、負担が軽減したと思う教員の割合

年度	2019	2020	2021
負担が軽減したと思う教員の割合	60.0%	65.7%	64.2%

出典：働き方改革プラン【教員アンケート】（2022 年 1 月）

基本方針Ⅲ　家庭・地域の教育力を高める

＜事業実施の状況＞

児童生徒の社会性の育成やキャリア教育など多様な学びの充実や教員の負担軽減を図るため地域と学校が目標やビジョンを共有し、パートナーとして学校教育を連携し協働して進めていけるよう、コミュニティスクールの全校実施を掲げ、2021 年度に全校実施が完了しました。

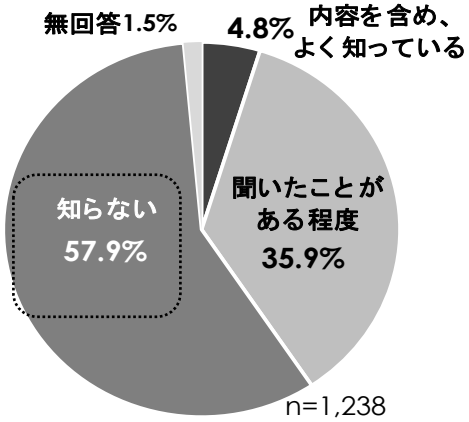
家庭教育を支える環境整備については、保護者向けの学習機会の充実を掲げ、まなびのひろば事業など実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や参加人数の制限など行う必要があり、目標とする参加人数を達成することはできませんでした。

＜現状を表すデータ＞

関連データ①コミュニティ・スクールの状況

コミュニティ・スクールを通じた教育活動について「知らない」と回答した割合が 57.9%と、認知度が低い状況です。

▽コミュニティ・スクールを通じた教育活動の認知度



出典：町田の教育に関するアンケート調査

【保護者アンケート】（2022 年）

関連データ②教育や環境で課題と感じていること

教員アンケートでは、「家庭の教育力」について課題と感じている割合は 37.0%と最も高く、次いで「不登校」について課題と感じている割合は 29.6%となっています。

■児童生徒の教育や環境で課題と感じていること（全 12 項目のうち上位３項目のみ抜粋）

1	家庭の教育力	**37.0**%
2	不登校	**29.6**%
3	基礎学力	**27.6**%

出典：町田の教育に関するアンケート調査

【教員アンケート】（2022 年）

基本方針Ⅳ　生涯にわたる学習を支援する

＜事業実施の状況＞

学びのきっかけとなる機会を提供するため、デジタルも含めた学習情報の発信の強化や、歴史・文化資源等を活用した出張事業を実施しました。

また、町田市の歴史情報をインターネット上でいつでもどこでも閲覧できる「町田デジタルミュージアム」の公開や、文学の扉事業を通じて、自分にあった学習活動を深めることができるよう支援をしています。

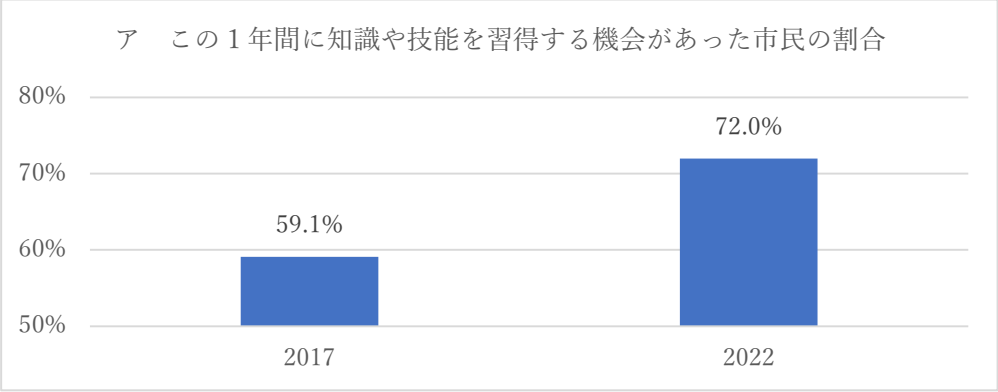
学習成果を活かす機会を充実する施策としては、地域で活動するボランティアの養成・支援のためにおはなし会のボランティア向け講座を実施したほか、学習を支える環境づくりを進めるため、支援が必要な人への学習機会の提供などを行いました。

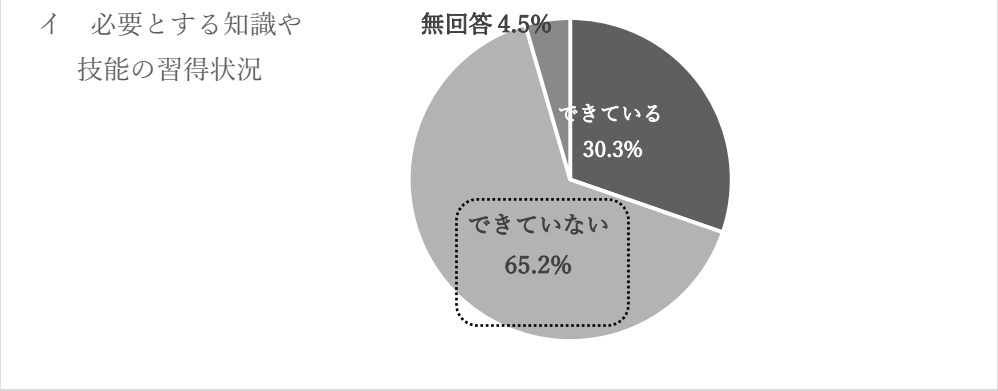
＜現状を表すデータ＞

関連データ①学びの機会の提供

2022 年 9 月に実施した生涯学習及び図書館に関する市民意識調査では、5 年前の 2017 年度と比較して、「ア　知識や技能を習得する機会があった」と回答する方が 12.9 ポイント増加しました。

また、「イ　必要とする知識と技能を十分に習得することができているか」について、「できていない」（65.2%）は 6 割強となっており、「できている」（30.3%）の 2 倍近くとなっています。





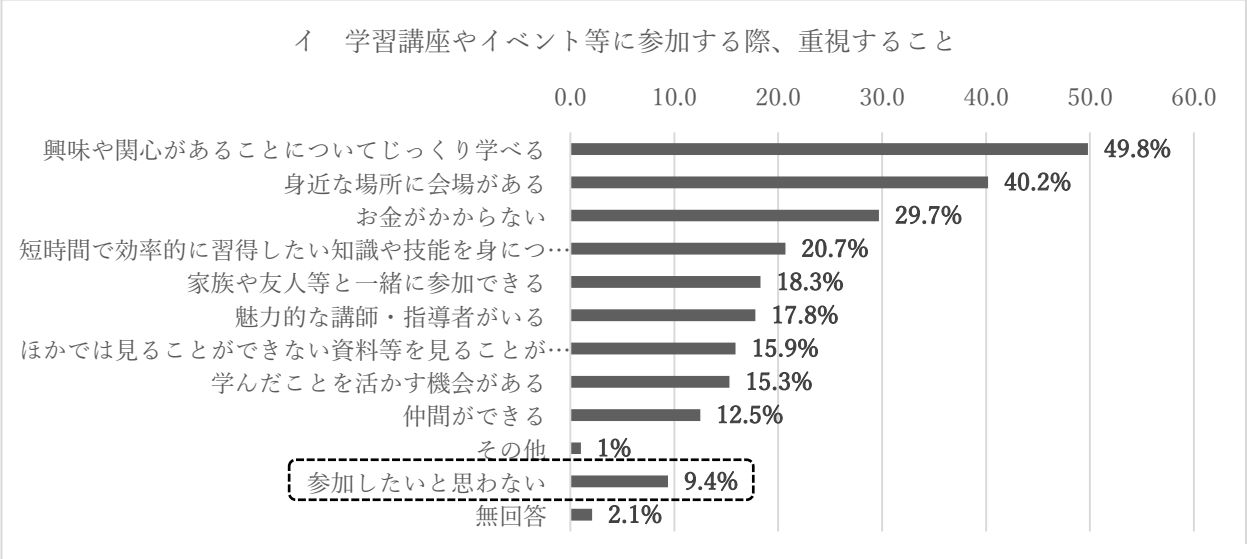
出典：生涯学習及び図書館に関する市民意識調査（2022 年）

関連データ②地域活動への参加状況

2022 年度に実施した生涯学習及び図書館に関する市民意識調査では、5 年前の 2017 年度と比較して、町内会・自治会等の地域活動へ参加しなかったと回答する方が 13.3 ポイント増加しました。一方で、「学習講座やイベント等の活動に参加する際、重視すること」については、「参加したいと思わない」は 9.4%と割合が低くなっています。

ア この１年間に町内会・自治会等の地域活動に参加しなかったと回答した市民の割合

2017年度	2022年度
59.7%	**73.0**%



出典：生涯学習及び図書館に関する市民意識調査（2022 年）

2 町田市が取り組むべき課題

先に述べたこれまでの現状、教育委員会の取組み及び以下の社会環境の変化から、課題を ４ つに整理しました。

＜社会環境の変化＞

☆1 コロナ禍を契機とした継続的な学びの必要性の高まり･･･デジタルトランスフォーメーションなど社会変化に合わせた学びの推進が必要とされている。
また、ライフステージに応じた生涯を通じて学び続ける力の育成が求められている。

☆2 こども基本法成立及びこども大綱策定に向けた動きなど子どもの権利や多様性を尊重する社会の意識の高まり･･･子どもや子育て当事者の意見を反映させることが求められている。また、子ども施策を総合的に推進していくことが必要とされている。

☆3 持続可能な地域社会の実現に向けた意識の高まり･･･誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指した取組が必要とされている。

☆ 4 学校と地域の連携に対する意識の高まり･･･学校が教育活動を持続的でより充実したものにするために地域との連携が求められている。

＜現行計画の振り返り＞

1 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす

○1「分かることやできることが楽しい」と回答した児童・生徒の割合が多い。
○2 町田ならではの学びとして進めてきたＩＣＴ教育、英語教育への保護者のニーズが高い。
○3 児童生徒の体力や朝食摂取率が減少している。

2 充実した教育環境を整備する

●1 2025 年以降人口減少が予測され、学校施設の老朽化が進んでいる。
●2 特別支援学級に通う児童・生徒が増加している。
●3 不登校児童・生徒数が増加している。
●4 教員の働き方改革の取組を実施したことにより、負担が軽減したと回答した教員が６割である。

3 家庭・地域の教育力を高める

◎1 学校と地域・家庭が連携・協働を進めていけるようコミュニティ・スクールの全校実施を完了したが、コミュニティ・スクールを通じた教育活動については、まだ認知度が低い状況である。

4 生涯にわたる学習を支援する

□1 新型コロナウイルス感染拡大などの社会変化に対応した生涯学習情報のデジタル化への取組実施。
□2 必要とする知識と技能を十分に習得することが「できていない」と回答した市民が６割強である。

＜次期計画の課題＞

☆1○1 児童・生徒の自己有用感や学習意欲の一層の向上が求められている。 ○2 えいごのまちだなど町田なきじらではの学びを推進していくことが求められている。 ☆2 児童・生徒の意見を反映できる取組が求められている。 ○3 体力づくりや食の重要性を学ぶ機会の強化が求められている。 □2 市民への教育・学習の機会の創出が求められている。	**未来を見据えた学びを推進する必要がある** **→基本方針Ⅰ**
☆3●2●3 不登校児童・生徒や特別な支援を必要とする児童・生徒一人ひとりのニーズに対応した支援体制の充実が求められている。 ☆ 1 全ての学びを必要とする市民への適切な学びの機会の保障が求められている。	**一人ひとりの学びを保障する必要がある** **→基本方針Ⅱ**
●1 新たな学校づくりを契機とした学校施設の機能性能の確保やライフサイクルコストの縮減が求められている。 ☆1□1 リアルでもオンラインでも学ぶことのできる環境づくりが求められている。	**学びの環境を整備する必要がある** **→基本方針Ⅲ**
●4 教員の働き方改革の取組の更なる推進が求められている。 ☆4◎1 地域が一体となって子どもたちの学びや育ちを支える環境づくりが求められている。	**学びを支える体制づくりが必要である** **→基本方針Ⅳ**

3 次期町田市教育プランの方向性

（1） 教育目標

町田市教育委員会が、町田市の教育施策を通じて、町田市の児童生徒、保護者、教員、市民とともに、2040 年の社会を見据え、実現したい社会の姿を表すものとして、本計画の教育目標を下記のとおり設定します。

自ら学び、あなたと学び、
ともに創る町田の未来

「町田市教育委員会は、全ての市民一人ひとりが、学びを通して自らの生きがいを見つけ、他者への理解を深め、学び合うことで、自らが望む未来を創造することができる地域社会の構築を目指します。」

2040年を見据えた目指す姿・あるべき姿

次期教育振興基本計画における国の方針

・「望む未来を私たち自身で示し、作り上げていくことが求められる時代」の到来
・一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せでもあるウェルビーイングの実現
→自らが望む未来を創造することができる地域社会の構築

児童生徒・保護者・教員のアンケート調査

町田市の教育において皆が目指す姿として、「感謝の心を大切に出来る人」、「お互いを認め合える人」「自分にも他人も優しく出来る人」の回答が上位
→教育を通じて、自分を知るとともに他者と関わり、他者への理解を深めることを重視

課題解決し目指す状態

町田市が取り組むべき課題

1 未来を見据えた学びの推進について
→ 自ら学び続けることができる

2 一人ひとりの学びの保障について
→ 誰でも学ぶことができる

3 学びの環境整備について
→学びの環境が整備されている

4 学びを支える体制について
→ 地域と共に学ぶことができる

（2） 基本方針・施策に組み込む要素　学び続ける力

教育目標で掲げる、自らが望む未来を様々な人たちと創造する地域社会を構築していくためには、地域や社会のつながりの中で、主体的に社会の形成に参画し、自分事としてより良い社会とは何か学びを通して、課題を見つけ他者と協力して解決していくことが求められています。

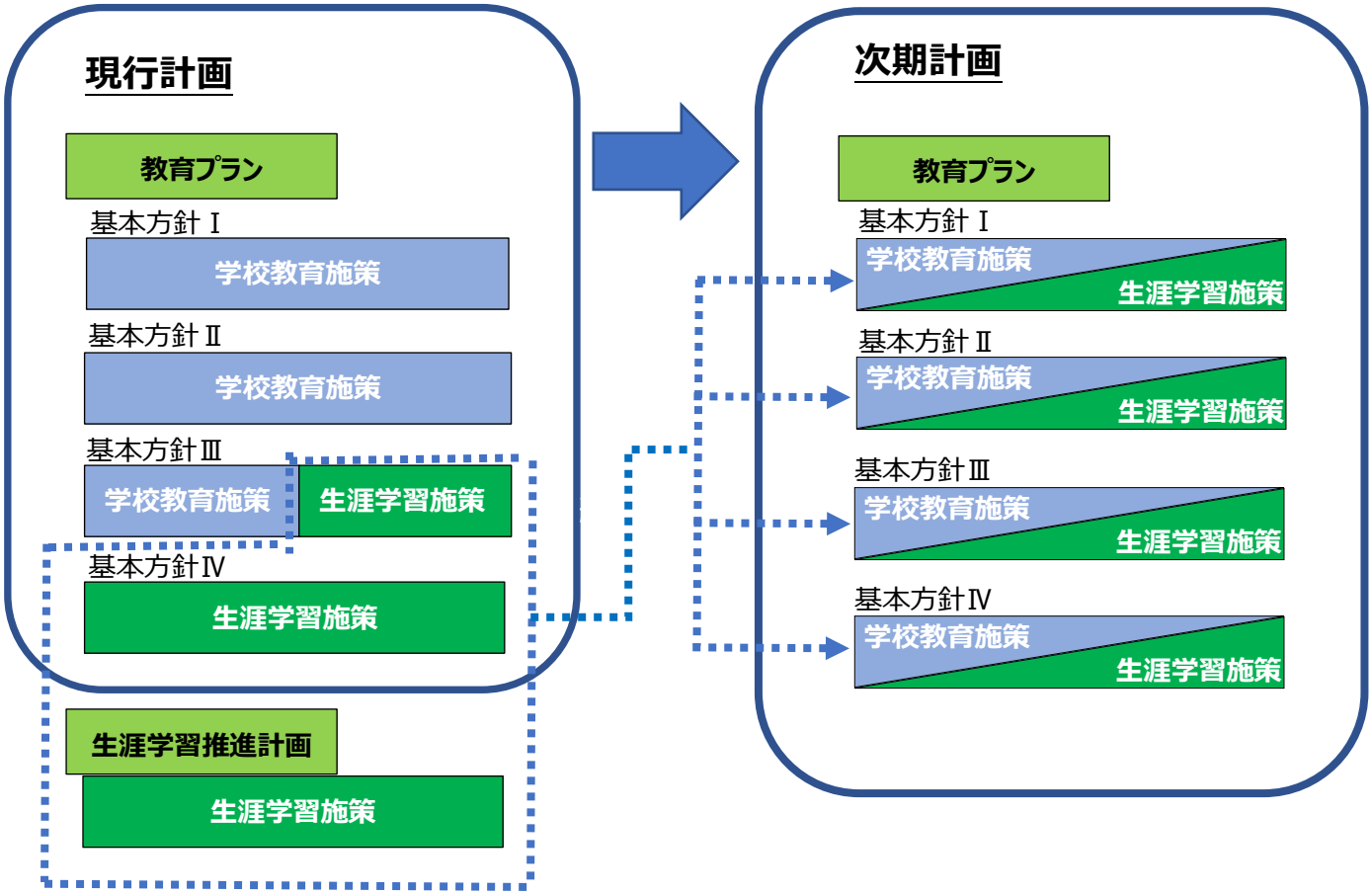
生涯を通じて学び続けていくことで、日常生活での楽しみや心の豊かさが得られるとともに、人間関係の構築や視野の拡大等、生活がより豊かになります。加えて、他者との学び合いに活動の場を広げることで、発見や気づき、新たな考えの創出につながるなど学びの相乗効果が得られます。また、学んだ成果を市民活動や地域活動の中で活かすことで、地域がより豊かになります。

このようなことから、これからの町田の未来を考えたときに、全市民が生涯にわたって学び続ける学習者としての土台を学校教育にて培うとともに、いつでも学ぶことができる環境を活かし、生涯を通して学び続けていくことが、より良い町田を創るために欠かせないことと捉え、「学び続ける力」を次期教育プランの基本方針、施策に組み込む要素とします。

（3）生涯学習推進計画の教育プランへの統合

これまで生涯学習を推進する計画として、教育プランとは別に生涯学習推進計画を策定し、施策や取組を進めてきました。しかし、社会の急速な変化や教育環境を取り巻く状況が大きく変化する中で、市民がライフステージに応じて切れ目なく必要な技術や知識を身に付けることや、生活に豊かさをもたらすことができるように、今後はこれまで以上に地域及び学校と連携し、生涯にわたって市民の学習の「しやすい」環境づくりを推進することが必要となります。

このため、次期教育プランでは生涯学習推進計画を統合し、従前の施策に加え、生涯学習の施策と学校教育の施策を同じ方針に織り込み、市民が学び続ける環境づくりを推進します。



（4） 計画策定にあたり必要な視点

教育目標の実現を目指し、町田市の特長を最大限に活かすとともに、持続可能で魅力があり、教育に関わる全ての人が満足感を得られる計画とするため、以下の３つの点を計画策定にあたり必要な視点とするとともに、重点事業として位置づけるための基準とします。

（１）デマンドサイド（児童生徒、保護者、教員、市民）の視点

・児童生徒や保護者、教員、市民の満足度を向上させるため、デマンドサイドの視点で施策を検討します。

・児童生徒などが求めている様々なニーズをしっかりと捉え、短期的な取組みだけではなく、中長期的な取組みを見据えた制度設計を行い、持続可能な施策を検討します。

・教員の勤務実態など、置かれている現状をきめ細かく把握・分析し、満足度向上に資する施策を検討します。

（２）経営の視点

・計画に位置づける事業については、他自治体や民間事業者の事業をベンチマークし、より効果的な手法や事業内容を検討します。

・環境変化へ即応するため、事業成果が出る前の段階から次の事業展開を見据えることができるような仕組みを構築します。

・ＳＤＧｓやＥＳＤ※、多様性の理解など社会的な価値観の変化へ対応するため、現時点で想定し得る将来を見据え、事業自体に柔軟な対応がとれるよう検討します。

※持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）

（３）市の独自性の視点

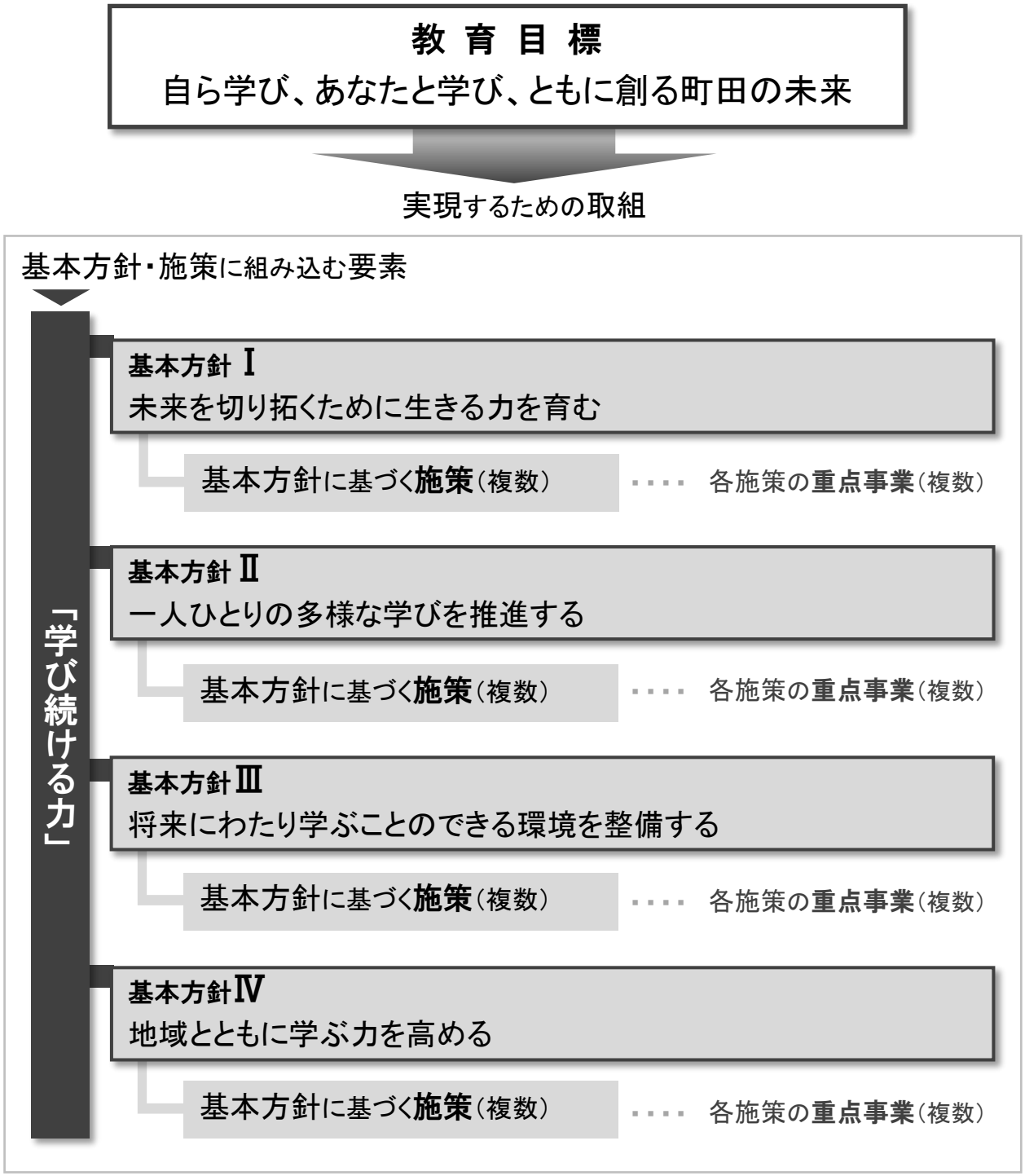
・市の現状や未来を見据えた状況を考慮した事業内容を検討します。

・町田市ならではの教育を目指し、他自治体に先駆けて実施している新たな学校づくりなどを契機とした魅力的な事業を検討することで、町田の教育の質を高めます。

・「子どもにやさしいまち」、「みどりが豊富」、「大学、短期大学、専門学校などが多い」など、町田市の強みを教育分野に取り入れることで、事業の付加価値を高めます。

（5） 基本方針と施策の体系

～教育目標、基本方針、学び続ける力等の関係～



計画策定にあたり必要な視点

（1）デマンドサイド（児童生徒、保護者、教員、市民）の視点
（2）経営の視点
（3）市の独自性の視点

4 計画策定の柱

（1） 基本方針の内容

基本方針Ⅰ　未来を切り拓くために生きる力を育む

＜内　　容＞えいごのまちだ推進事業など、町田ならではの強みを生かし、これからの時代に必要な知識・技能・判断力・表現力・創造力・粘り強さやコミュニケーション能力を学びのプロセスを通じて育みます。

＜目指す姿＞主体的に学びの振り返りをするなど自己調整しながら学び続ける基盤を身に付け、生涯にわたり学びを通じて、社会とつながっている。

施策	主な取組
1　確かな学力を身に付ける	・児童生徒が主体的に考え取り組む機会の創出、**放課後学習の充実** **・ＩＣＴを活用した学びの充実** ・町田の特色である**えいごのまちだ推進事業**や地域社会と連携した学びを進める**キャリア教育の推進** ・科学教育の推進（**プログラミング教育**、**産官学連携バンクの活用**等） ・魅力的な**体育事業**の実践、**健康教育**や**食育**の推進 **・いじめ防止対策**の推進、**児童生徒フォーラム**の実施 ・学ぶ楽しさを感じることができるような学習の機会の提供(**歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進、ことばの扉事業**、**子どもの読書活動の推進等）**
2　未来を見据えた特色ある学びを推進する	
3　生涯を通じて健やかに過ごせる体を育成する	
4　他人への理解、豊かな心、思いやりを育む	
5　学びのきっかけとなる機会を提供する	

基本方針Ⅱ　一人ひとりの多様な学びを推進する

＜内　　容＞一人ひとりの教育的ニーズは異なるという前提に立ち、それぞれの特性に応じた多様な学びを推進します。

＜目指す姿＞どのような境遇にあっても、学びたいという意欲を妨げられることなく、安心して学びに向き合い、学び続けることができている。

施策	主な取組
1　不登校支援を推進する	**・不登校支援事業**の充実 **・特別な支援を必要とする児童・生徒への支援**の充実 **・社会的困難を抱えた方向けの学習事業**や**図書館の障がい者向けサービスの充実**
2　一人ひとりの特性に応じた特別支援教育を推進する	
3　誰もが学べる機会を提供する	

基本方針Ⅲ　将来にわたり学ぶことのできる環境を整備する

＜内　　容＞新たな学校づくりを契機とした、子どもも大人も学ぶことのできる学校づくりや、社会の変化に応じて、学習施設だけでなくデジタルでも学びにアクセスできるような多様な学びの環境づくりを推進します。

＜目指す姿＞環境変化に対応し、いつでもどこでも誰でも学びに出会うことができ、学び続けることができる環境が整備されている。

施策	主な取組
1　将来を見据えた多様な学びの環境を整備する	**・新たな学校づくり推進事業**に関する取組 **・特別支援学級、不登校児童生徒に対する学習環境の整備** **・学校図書館の機能強化** **・生涯学習情報のデジタル化の推進・学習相談体制の整備** ・まちだの歴史・文化資源の保存と活用環境の整備（**町田デジタルミュージアムの更新等**）
2　学び続けることができる環境を整備する	

基本方針Ⅳ　地域とともに学ぶ力を高める

＜内　　容＞学校、地域、家庭、市民団体、行政が共創することで、学びの場を広げ、学ぶ力を育む体制を充実させ、地域で学び続ける力を高めていきます。

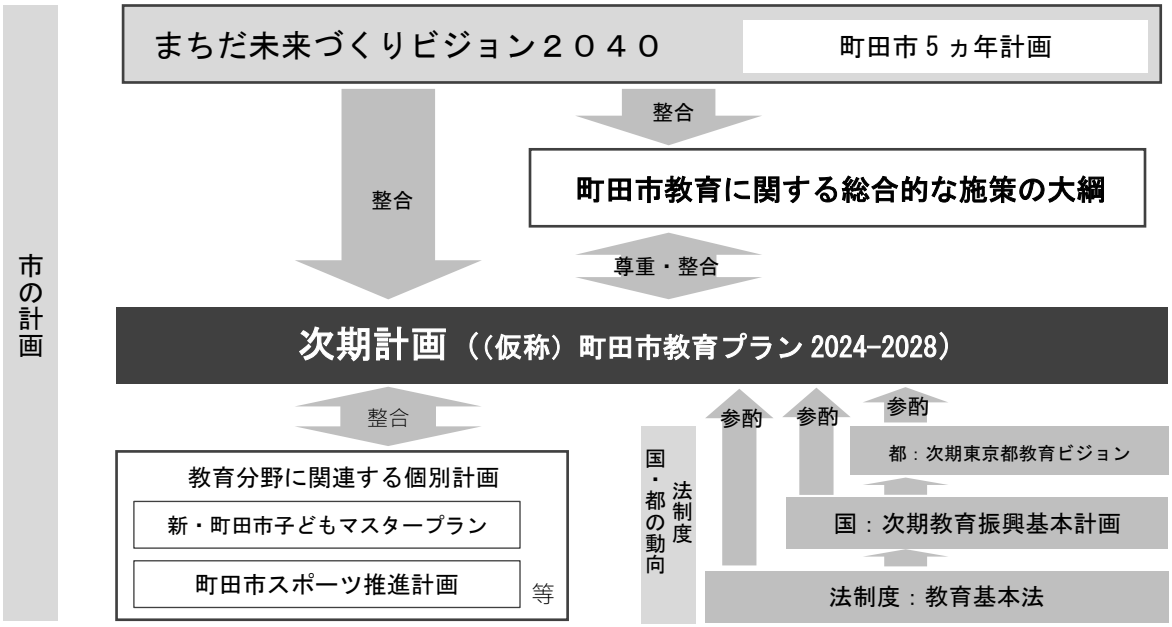
＜目指す姿＞地域資源を活かし、共創により学校を中心とした多様な学びが充実し学び続けることができている。

施策	主な取組
1　学校と地域が連携した学びを推進する	**・コミュニティスクールの推進** **・部活動の地域連携の推進及び部活動指導員の活用** ・生涯学習事業の地域での学びの拡充（**市民企画・参画型講座等**） ・ワタシが主役の図書館づくりの推進（**市民協働型運営施設への転換**） **・地域で活躍する人材活用の仕組みづくり** **・教員の働き方改革プラン**に関する取組
2　地域での学びを推進する	
3　教員の働き方を改善する	

5 計画の概要

(1)計画の位置づけ

本市の基本構想・基本計画である「まちだ未来づくりビジョン２０４０」（2022 年度～2039 年度）及び「町田市５ヵ年計画 22-26」（2022 年度～2026 年度）の目標を実現するための、市の教育分野の総合的な計画として位置づけ、その他の本市の教育分野に関わる個別計画等との整合性を図るものとします。



(2)大綱との関係

新たな大綱と、教育プランの教育目標、基本方針との関係やその内容については、総合教育会議において市長と教育委員会が協議・調整を行っていきます。

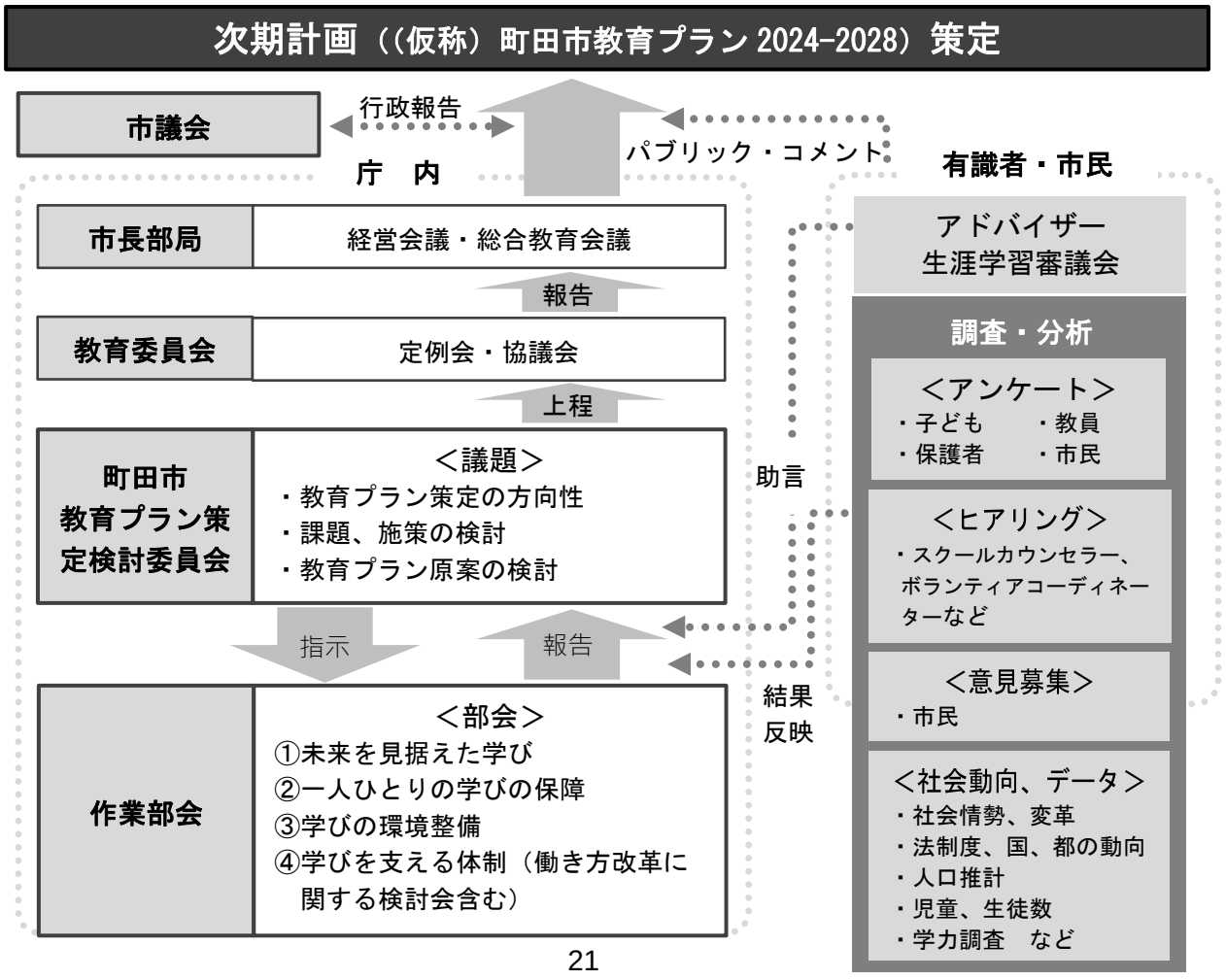
なお、大綱は総合教育会議を経て、市長が決定します。

（3） 計画期間

本計画の計画期間は、2024 年度から 2028 年度までの５年間です。

■本計画及び他計画の期間

（4）検討体制



①庁内組織

a. 町田市教育プラン策定検討委員会

教育目標、基本方針、施策、重点事業の立案及びその他必要な事項について調査、検討を行います。

【委員構成】　委 員 長：　教育長
副委員長：　学校教育部長、生涯学習部長
委　　員：　市長部局：企画政策課長、スポーツ振興課長、子ども総務課長
教育委員会事務局の課長、教育機関の長、特命担当課長、
小中学校校長会の代表各 2 名、そのほか委員長が必要と認める者

b. 作業部会

町田市教育プラン検討委員会の下部組織として作業部会を設置します。作業部会は、部会長及び部会員をもって組織し、教育プラン案作成にあたり必要なデータ収集、分析、施策及び事業の検討を行い、町田市教育プラン検討委員会に報告します。

作業部会は、4 つの基本方針に基づき 4 部会で構成し、それぞれのテーマに沿って議題を設定し協議します。また、本市の教育環境における今後の方針を示した「町田市新たな学校づくり推進計画」（2021 年 5 月策定）は広い分野にまたがる視点であるため、部会ごとに視点を盛り込み協議するものとします。

②有識者、市民参加

a. アドバイザー

教育に係る専門的な知見又は保護者からの視点からの助言を反映させます。アドバイザーは、学校教育及び生涯学習に関する有識者、保護者組織の代表から選出します。

b. 生涯学習審議会

「生涯学習の振興及び社会教育に関する基本方針の立案」等を所掌事務とする附属機関である生涯学習審議会から意見を聴取し、生涯学習に係る施策や重点事業の参考とします。

c. 市民参加

(a)市民意識調査

市民意識調査を実施し、教育施策を取り巻く現状の分析及び目標等の設定にあたり、検討の基礎資料とします。

調査の対象は、市立小中学校の児童・生徒、保護者及び教員、市民です。

また、子どもを対象に実施する(仮称)子どもにやさしいまち条例制定に係るアンケート調査、全国学習状況調査等も分析の対象とします。

(b)パブリック・コメント

次期計画策定にあたり、町田市パブリック・コメント実施要綱に基づき実施します。

（5）策定スケジュール

年度	月	内容
2022 年度	6月	教育委員会協議会（策定方針について） 第１回生涯学習審議会（策定方針について）
	7 月	教育委員会定例会（策定方針決定） 第１回町田市教育プラン策定検討委員会（策定方針等について） 第１回町田市教育プラン策定検討委員会作業部会（次期教育プランの目指す姿について）
	9 月	第２回町田市教育プラン策定検討委員会（教育目標・基本方針・施策体系について） 第２回町田市教育プラン策定検討委員会作業部会（基本方針・施策体系・重点事業について）
	10 月	第２回町田市教育プラン策定検討委員会追加作業部会（基本方針・施策体系・重点事業について）
	11 月	第２回生涯学習審議会（基本方針・施策体系について） 第３回町田市教育プラン策定検討委員会（アドバイザーへ骨子案提示） 第３回町田市教育プラン策定検討委員会作業部会（新規重点事業について）
	12 月	第４回町田市教育プラン策定検討委員会（施策体系、重点事業について） 第３回生涯学習審議会（重点事業について） 教育委員会協議会（教育プラン骨子案について） 2022 年度総合教育会議（教育大綱について）
	1 月	第５回町田市教育プラン策定検討委員会（重点事業について） 経営会議（施策の方向性・考え方の柱の承認） 第４回町田市教育プラン策定検討委員会作業部会（施策指標等について）
	2 月	教育委員会定例会（骨子確定） 第６回町田市教育プラン策定検討委員会（施策指標等について）
	3 月	市議会行政報告（骨子確定）
2023 年度	4 月	第４回生涯学習審議会（原案について）
	5 月	第７回町田市教育プラン策定検討委員会（アドバイザーへ原案提示）
	6 月	教育委員会協議会（原案について）
	7月	2023 年度第 1 回総合教育会議（教育大綱素案について） 経営会議（施策体系・指標の決定）
	8月	教育委員会定例会（原案決定）
	9 月	市議会行政報告（原案・パブリックコメントの実施について）
	10 月	パブリックコメントの実施
	11 月	第８回町田市教育プラン策定検討委員会（パブリックコメントの概要について） 教育委員会協議会（パブリックコメント実施結果について）

2023 年度	12 月	市議会行政報告（パブリックコメント実施結果について）
	1 月	第 9 回町田市教育プラン策定検討委員会（教育プラン案について） 教育委員会協議会（教育プラン案について）
	2 月	2023 年度第 2 回総合教育会議（教育大綱案について） 教育委員会定例会（教育プラン確定）
	3 月	教育大綱確定 市議会行政報告（教育プラン確定）

（6）計画の推進

本計画の進捗管理については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図った上で、毎年度点検及び評価を実施します。

鶴川図書館の再編に関する説明会

2023年2月8日・12日

町田市立図書館

資料の目次

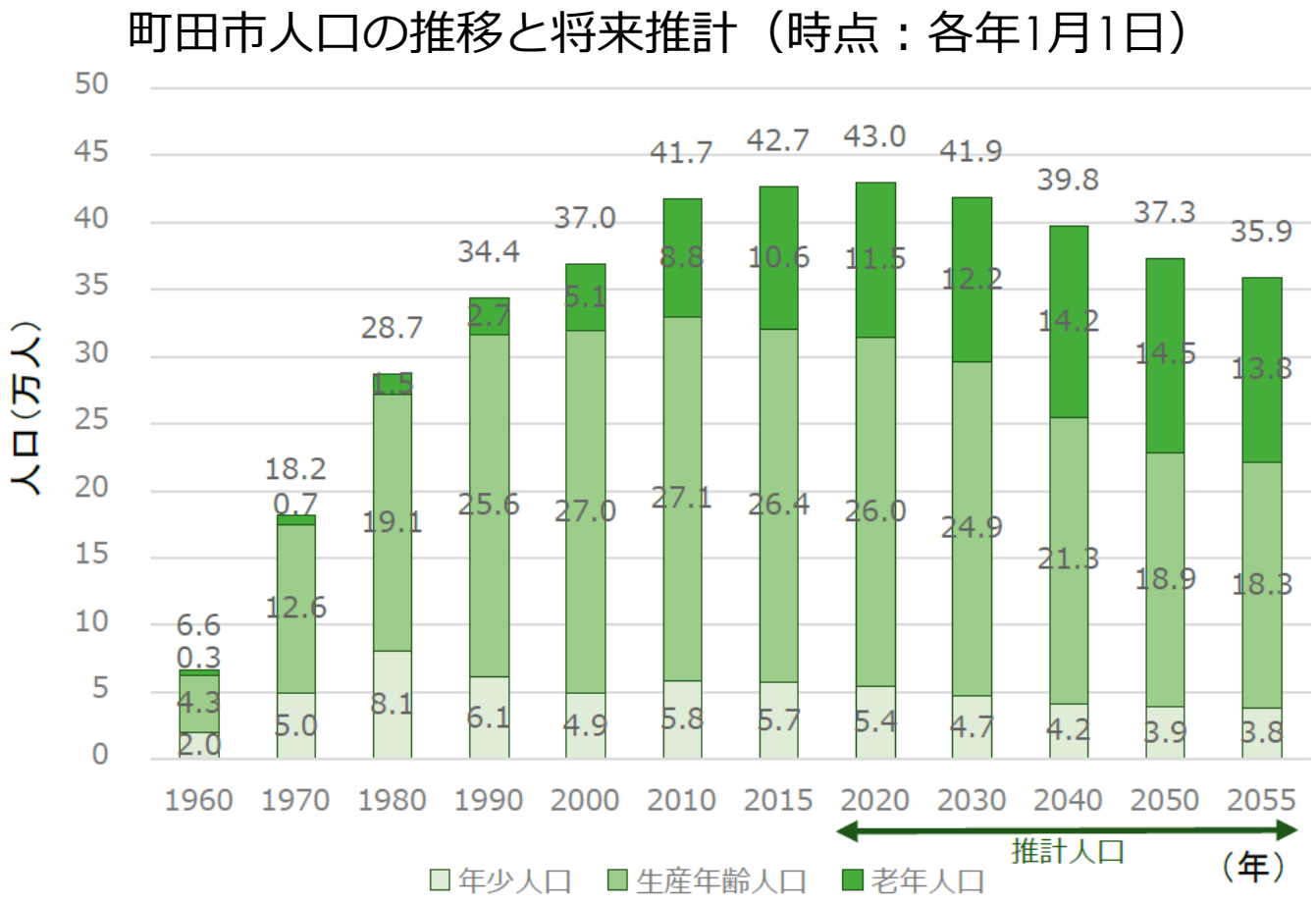
1. はじめに

2. これまでの経緯について

3. これからの方向性について

4. 方向性の実現に向けて

再編が必要な背景：社会状況（人口）



出典：町田市公共施設再編計画

①公共施設の老朽化

維持していくためには
これまで以上にお金がかかるのに

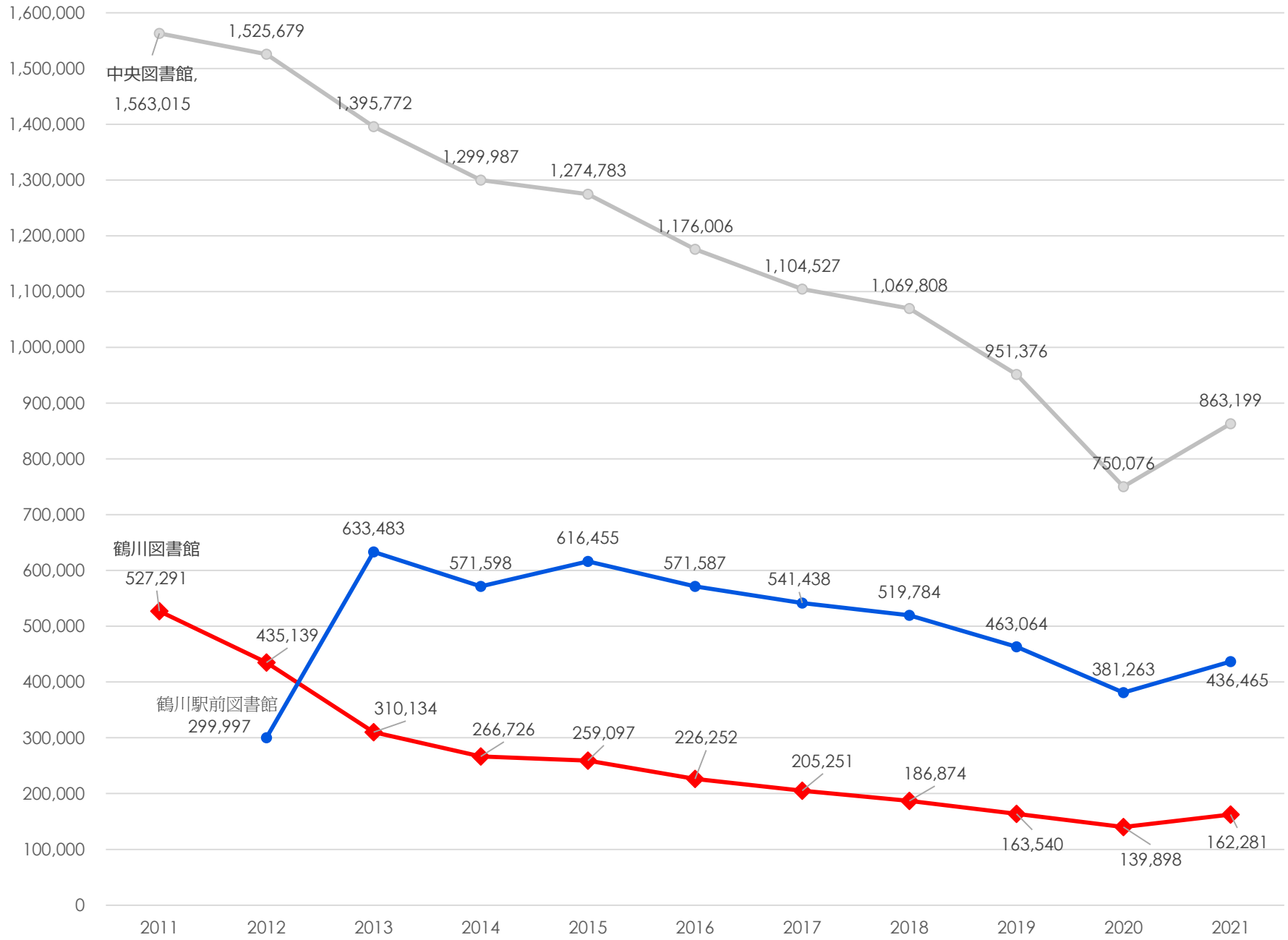
②厳しい財政状況

これまで以上にお金をかけていく
ことはできない

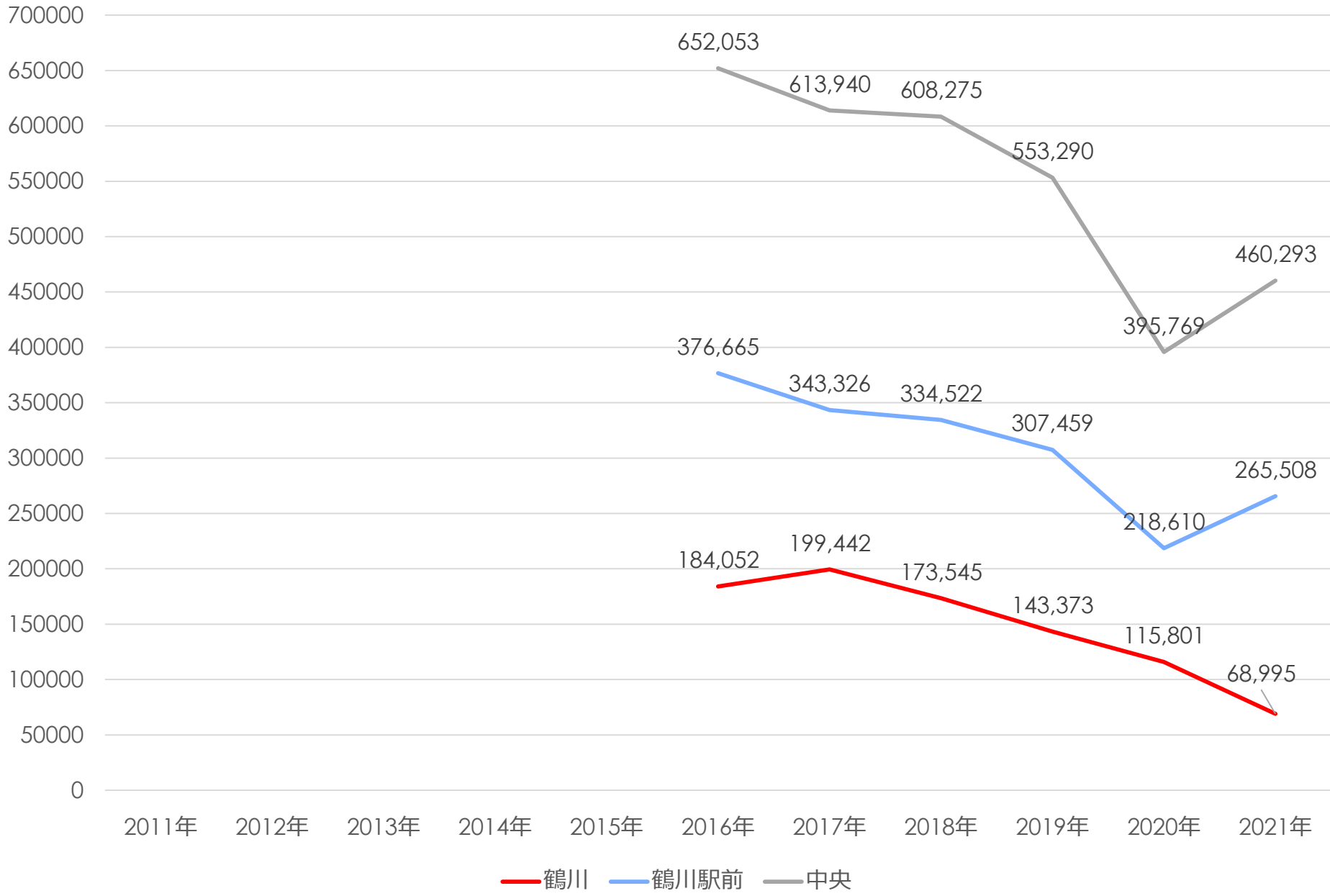
これらを乗り越えて
必要な公共サービスを将来にわたって維持
または向上させていくための取り組み

公共施設の再編

1．はじめに（図書館の貸出冊数）



1．はじめに（図書館の来館者数）



１．はじめに（図書館の再編）

図書館の再編

図書館においても、将来にわたりサービスを継続していくため、施設の再編を検討してまいりました。
そこで、近接して図書館がある場合や利用状況が大きく減少している場合は、施設老朽化の状況をみながら再編を進めることとしました。

・一部の図書館は配置が近接している
・図書館の個人貸出数は２０１２年度をピークに減少傾向が顕著
・８館ある図書館の中で、築３０年以上が５館、うち築５０年以上が２館（鶴川、さるびあ）

鶴川図書館の再編

・鶴川駅前図書館が２０１２年１０月に開館
・個人貸出数の減少率が図書館の中で最大（特に鶴川駅前図書館開館以降の減少率が大きい）
・来館者数も同様に大幅な減少傾向が続いています。
・団地自体の老朽化がすすんでおり、UR都市機構による建て替えが計画されています。
➡鶴川図書館を集約化対象の図書館としました。
・集約にあたっては、代替機能等の配置と地域団体等による運営の支援を積極的に検討することとしています。

本日の趣旨

鶴川図書館の再編においては、ただ単に図書館をなくすのではなく、地域との対話を大切にして、公共空間の新たな価値をつくりたいと考えています。
２０１９年度から地域との対話を進めてまいりました。また、２０２１年２月、３月には「鶴川図書館再編後の姿を考える」と題したワークショップを実施し多くの提案をいただきました。
対話やワークショップ等を通じていただいたご意見を踏まえて、市としての方向性をまとめましたので説明いたします。

２．これまでの経緯について

2．これまでの経緯について

これまでの経緯（町田市の計画、地域との対話やアンケートの実施など）

● **2017年9月**　「鶴川図書館を鶴川団地センター商店街の中に存続させることを求める請願」　**⇒町田市議会で採択**

● **2018年5月実施ワークショップ「鶴川地域図書館のこれから」**

⇒「現状の鶴川図書館の使い方」について

- 地域住民の利用が多く、地域生活の一部としての役割を担っている
- 子どもだけで立ち寄れる
- 職員の顔が見え、レファレンスも話しやすく助かっている
- 小さい図書館のため利用者の顔も把握できることから、 見守りとしての役割も継続する必要がある
- 今後は、子育て世代に選ばれるようなサービスを行う必要がある

● **2018年6月<町田市公共施設再編計画>**

・集約化や複合化・多機能化により建物の総量を圧縮しつつ、地域の活動拠点に機能を移転することで、図書に触れる機会や図書を通じた交流の機会を増やす。また、市民等の活力を活かした図書に関連するサービスにより、図書に親しむ機会や場の充足を目指す。

● **2019年2月<町田市立図書館のあり方見直し方針>**

・サービス圏域の重複や、老朽化した小規模館図書館で利用の減少がみられることから、「総量適正化・集約化」の検討を行うものとする。

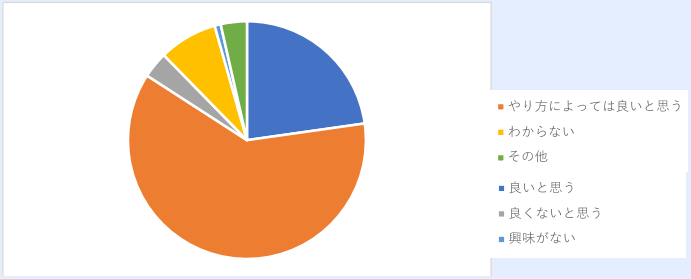
● **2020年2月<効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン>**

・鶴川団地センター街区建替え計画の進捗に応じて、再編を進める。
・建て替えが長期化する場合は代替機能の配置などを先行して実施。
・代替機能配置にあたっては、地域団体等による運営を支援する体制を検討。

● **2020年3月**　「効率的・効果的な図書サービスのアクションプラン」の見直しを求める請願　**⇒町田市議会で不採択**

2．これまでの経緯について

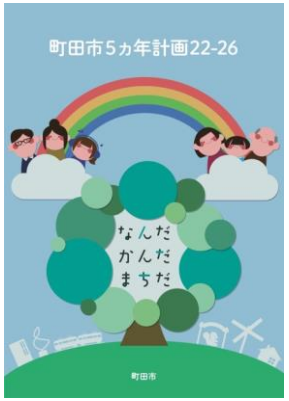
● **2020年8月-11月実施「鶴川図書館の再編に関するアンケート」**
⇒Q3 鶴川図書館を地域住民等を主体とした市民協働での運営に変えることについてどう思いますか（N=123）
「良いと思う」、「やり方によっては良いと思う」を合わせると
8割以上の方が、市民協働型の運営に好意的な回答



● **2021年2月-3月実施ワークショップ「鶴川図書館再編後の姿を考える」**
⇒「こんな図書館がいいな！こんな図書館が地域にあるといいな！」
・ゆったりできる。子供が走り回って良い。本を介して人と出会う、話ができる。外で読書できる。不登校引きこもり児童カウンセリング
⇒「地域コミュニティでこんなことできるといいな！」
・地域のお悩みを相談できる窓口。地域活動団体が無料で借りられるスペース。子育て支援。地域の野菜販売。Wi-Fi設備。
⇒「市民ができることを考える市民協働の図書館運営」
・「運営協議会」のような市民組織で市民が考えていく場。図書館活動を支えるためにできることをやる。

● **2022年3月<町田市5ヵ年計画22-26>**
・鶴川図書館をコミュニティ機能を併せ持つ市民協働型の運営へと転換していくことが重点事業として位置付けられた。

⇒今年度は、**町田市5ヵ年計画22-26に基づき、**市民協働型の運営への転換を目指し、①地域との対話　②市民参加型イベントの試行実施　③方向性の作成　④運営団体の立ち上げに向けた意見交換を行ってまいりました。



2．これまでの経緯について

地域との対話

（年度）	（実施回数）	（延べ人数）
2020年度	25回	168人
2021年度	19回	45人
2022年度	41回	157人（12月末現在）

□2020年度～2022年度における実施状況

実施回数：**85回**

延べ人数：**370人**

地域からの意見（抜粋）

図書館としての機能

- 最低限、図書館システムへの接続と司書の常駐はしてほしい。
- 図書館法上の図書館で他館から本を取寄せられるようにしてほしい。
- 千冊を超える選書は専門知識がないと困難。地域住民に運営をまかせるのなら、自動化の仕組みは必要。
- 近くに住んでいるので子どもの頃から使っているが、近頃では予約した本の受け取りしかしていない。
- 本は買う派なので図書館はあまり使ったことがない。
- 認知症の人が働ける場があるとよいが、図書館の本の分類は難しいので、働きやすくしてほしい。
- 小さい図書館は大きい図書館に蔵書ではかなわない。「いつも同じ本がある状態」でないようにすれば良い。
- 鶴川図書館を新しくしても今以上の利用者は見込めない。地域に求められているのかなどを検討した方が良い。

コミュニティとしての機能

- 人が集まる場として図書館が残ってくれるならば良い。
- 地域のコミュニティスペースとして商店街と一体となって地域に必要な施設の一つ。単に利用者の減少を理由としてなくさないでほしい。
- 近隣の大学と連携できると活気がでるのではないか。
- 今の鶴川図書館は居心地が悪いのですぐ帰っている。もっと座るスペースがほしい。
- ニューヨーク図書館のように、司書がコンシェルジュのような役割を果たせると良い。
- 再編によって子ども達の居場所になるとよい。
- 親子3世代で通っているので何らかの形で残してほしい。
- 地域に新たな価値が生まれるなら再編を進めるのが良いと思う。

３．これからの方向性について

3．これからの方向性について

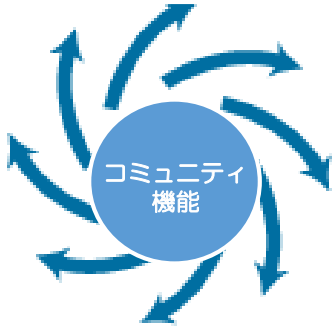
これまでの経緯や諸条件の整理、地域の方々へのヒアリングを通じて、再編後のすがたについて検討をしてまいりました。

現状	課題	課題解決策
● **鶴川図書館の利用状況** ● **町田市の計画** ● **地域からの意見**	● **地域に必要な図書提供機能への再編** ● **コミュニティ機能の継続と強化** ● **多様化する地域ニーズへの対応力強化**	**市民協働による運営**

地域のハブとなり、豊富な地域資源が結びつくことで、
地域課題の改善につながるのではないか？

・興味深く、魅力的な本に出会える
・地域住民の誰もが無料で借りることができる
・目的や用事がなくても気軽に過ごせる場
・地域のニーズに沿った蔵書の提供
・本を通じて、世代や地域を超えた多様な人と出会いつながることができる

＋



・利用者やスタッフとの会話を生みだす
・多世代が交流できるきっかけの提供
・地域活動へのコーディネイト
・まちの情報発信
・居心地の良い空間がある

＝

地域が主体となって運営する
図書コミュニティ施設

・来訪者数および運営に参加する団体数の増加
・地域の人材が可視化される
・地域住民の活躍の機会がある
（雇用や活動、発表の機会など）
・自分の楽しみを探せる
・まちへの愛着がわき、まちが好きになる

イベント実施報告①｜2022/10/30（日）

わくわく発見！鶴川団地の図書館に行ってみよう

2021年2月-3月に行ったワークショップ、「鶴川図書館再編後の姿を考える」では参加者のみなさんから「こんな図書館がいいな！こんな図書館が地域にあるといいな！」のアイディアをたくさんいただきました。

その一部のトライアル実施を目的に、2022年10月30日（日）に鶴川団地でイベントを開催しました。当日は、延べ約300人の方々にご参加いただきました。

今後に向けて「こんなことができたらいいな！」を聞いてみました

これまで寄せられたアイディアをもとに、シール投票を行いました！

投票総数は325票（約108人が回答）で、「今回のようなイベントがあったら嬉しい」「おすすめの本を知りたい」「放課後に来たい」など、みなさん楽しいイメージを膨らませている様子でした。

	子ども	大人	高齢者
第1位	おすすめ本棚	青空図書イベント	仕事や勉強
第2位	青空図書イベント	放課後の居場所	おすすめ本棚 読み聞かせ会
第3位	放課後の居場所	おすすめ本棚	ワークショップ・勉強会

本をヒントにしたクイズラリーや、ハロウィンにちなんだ工作ブースも

「鶴川団地センター名店街にある図書館」という特徴を活かし、センター名店街をぐるっと周遊する**クイズラリー**や、ハロウィンにちなんで魔女やカボチャの帽子、お菓子を入れる袋などの**工作**を企画しました。子どもたちは、スタッフの説明を聞きながら一生懸命に作っていたほか、クイズラリーのヒントとなる絵本を真剣に読んでいるようすが見受けられました。

イベント実施報告②｜2023/1/14（土）

鶴川団地の図書館にあつまろう！～みんなでつくろう～

今まで行ってきた意見交換や地域の資源を改めて再確認していく中で、鶴川団地センター内にあるという立地を活かし、「まちの人や情報の交流機能」を果たせるのではないかと考えました。

そこで、「みんなでつくろう」を合言葉に集まった方々と一緒に手を動かしていく企画を行いました。当日は約120名の方にお立ち寄りいただきました。

本をながめながら、オリジナルブックカバーづくり

読書をもっと楽しく行ってもらうことを目的に、オリジナルブックカバーづくりのワークショップを行いました。

司書がセレクトしたおすすめ本から選んでいく方、自分で貸りてきた本につけたいと制作にやってくる方などからそれぞれ「ブックカバーが欲しいと思っていた」「自分でつくるのははじめてで楽しかった」などの感想をいただきました。子供からお年寄りまで幅広い世代、約40名にご参加いただきました。一部は1月末まで鶴川図書館に展示しています。

鶴川のこと教えてください！まちのアーカイブ（記録）マップをつくろう

「まちの人や情報の交流機能」のトライアル実施として、まちのアーカイブマップづくりを行いました。

12月上旬より鶴川地区の公共施設6箇所にポストを設置し事前アンケートで寄せられた意見や、当日参加される方とお話ししながら「今はないけどお気に入りだったお店」「景色のよい散歩コース」など様々な情報が集まりました、大きく印刷した地図に記入していきました。今後web上でもご確認いただける形にまとめます。

当日書き込みしたマップのようす

皆さんと一緒に目指したい姿

「本に触れ合う場と機会を継続的に提供する」

「気軽に参加できる地域のコミュニティの場をつくる」

「地域のやってみたい、を実現できる場をつくる」

これからの方向性

- 鶴川図書館を民設民営の地域施設へ転換
- 公立図書館では実現できなかった物販や飲食など、商店街隣接の利点を最大限活かす
- 地域が管理できる蔵書規模の図書提供機能と地域活動につなげるコミュニティ機能を提供
- 町田市が運営費を補助
- 地域が設立する団体が運営することで、地域住民の活躍の機会を創出

4．方向性の実現に向けて

図書コミュニティ施設のイメージ

	現行	図書コミュニティ施設	拡充/縮小
図書貸し出し機能	・市立図書館の蔵書。幅広いジャンルを揃える。 ・国会図書館や都立図書館、他自治体の図書館から取り寄せ可能。 ・図書の予約、受け取りができる。	・地域がほしい資料を自分で選んで揃えられる。	拡充
		・市立図書館の蔵書は置かない。 ・国会図書館や都立図書館、他自治体の図書館から取り寄せはできない。	鶴川駅前図書館へ集約
		・予約本の受け取りサービスは、引き続き提供。	継続
図書相談機能	・読書案内、読書相談の実施。 ・利用者の調査・研究の支援（レファレンス）を実施。	・住民や地域団体からのそれぞれのおすすめ本を紹介でき、多様な読書案内が可能。	拡充
		・レファレンスは鶴川駅前図書館で提供可能。 ・読書相談であれば人材を確保の上提供可能。	鶴川駅前図書館へ集約
居場所機能	・館内に数席の閲覧席を用意。 ・会話は推奨されず、静かに過ごす場所。	・ゆとりある座席や居心地の良い空間を提供。 ・カフェ程度の会話はできる。 ・利用者同士やスタッフとの何気ない会話が生まれる。	拡充
地域情報紹介 地域イベント開催	・地域の情報はレファレンスによって提供している。 ・イベントは直営のみで実施。	・自分の興味や関心がどこにあるのかを一緒に考えてくれる。 ・興味ある地域での取組みにつなげるコーディネートを実施。 ・地域団体主催のイベントを中心に実施。 ・ICTなどを活用した情報発信により、情報にアクセスしやすくなる。	拡充
飲食・物販	・蓋付きの飲み物は可能。食事は不可。 ・物販はしていない。	・飲食可能。イベントによっては、商店街の品物を使って昼食・夕食会を実施。 ・お酒を飲みながら気軽に本が読める“ブックバー”をイベント開催。 ・住民の手作り品を販売。物販フリーボックスを配置。	拡充
地域の 運営への参加	・おはなし会ボランティアなど限られた範囲で参加。	・限られた枠組みの中での参加ではなく、主体的にやってみたいことを提案し、仲間と一緒に実現できる。 ・全体運営の中で、地域の声に合わせた柔軟な取り組みを試行できる。	拡充

4. 方向性の実現に向けて

図書コミュニティ施設のイメージ

おすすめ本棚

青空図書イベント

読書会

読み聞かせ会

なんでも相談

ワークショップ

レンタルボックス

放課後の居場所

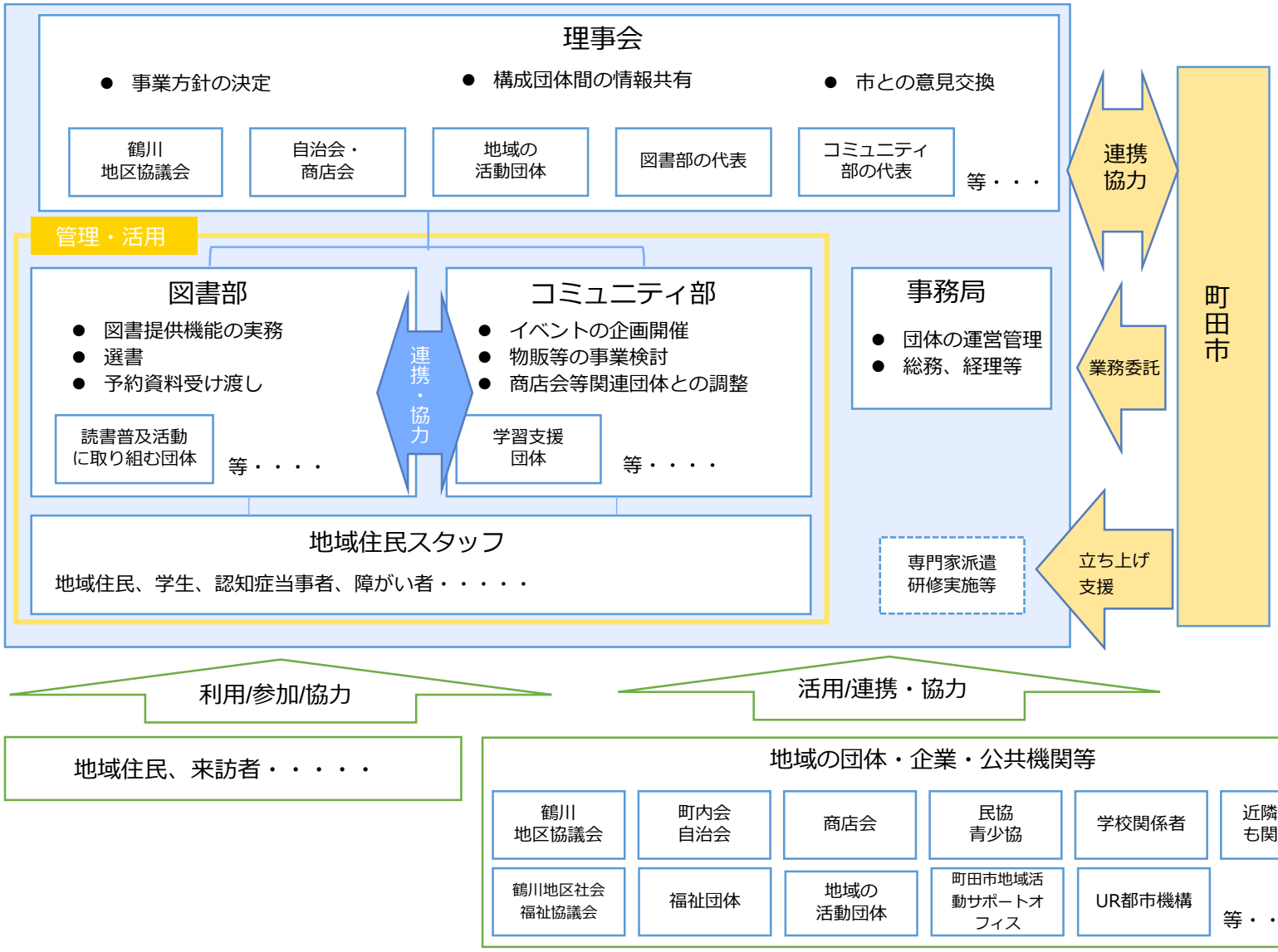
講演や勉強会

活用できる空間と改修イメージ

現在の鶴川図書館にある什器を活かしながら、図書コミュニティ施設の機能にあう空間に改修を行う予定です。

今後、運営団体設立準備会にて検討をしていきますが、改修にあたっては、ワークショップ等を通じて市民の皆さんとも一緒に作っていく予定です。

【参考】運営のイメージ（案）


理事会
● 事業方針の決定
● 構成団体間の情報共有
● 市との意見交換
鶴川 地区協議会
自治会・ 商店会
地域の 活動団体
図書部の代表
コミュニティ部の代表
等・・・
連携 協力
町田市
管理・活用
図書部
● 図書提供機能の実務
● 選書
● 予約資料受け渡し
読書普及活動に取り組む団体
等・・・・
連携・協力
コミュニティ部
● イベントの企画開催
● 物販等の事業検討
● 商店会等関連団体との調整
学習支援団体
等・・・・
事務局
● 団体の運営管理
● 総務、経理等
業務委託
地域住民スタッフ
地域住民、学生、認知症当事者、障がい者・・・・・
専門家派遣 研修実施等
立ち上げ支援
利用/参加/協力
地域住民、来訪者・・・・・
活用/連携・協力
地域の団体・企業・公共機関等
鶴川 地区協議会
町内会 自治会
商店会
民協 青少協
学校関係者
近隣の子ども関連施設
鶴川地区社会福祉協議会
福祉団体
地域の 活動団体
町田市地域活動サポートオフィス
UR都市機構
等・・・

スケジュール（予定）

年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
施設位置	現在地	現在地	現在地	現在地	現在地	現在地	仮設	仮設	仮設	仮設	仮設	新施設
運営形態	町田市による運営			町田市による運営 地域団体への一部業務委託			地域団体による自主運営（町田市が運営費を補助）					
蔵書規模	49,000冊			規模の縮小 （時期は検討状況による）			地域が管理できる規模の蔵書数					
施設の位置付け	図書館法上の図書館						地域施設（民設民営の図書コミュニティ施設）					

今後の進め方としては、鶴川地区協議会と協議をしながら「運営団体設立準備会」を立ち上げる予定です。

2023年度は、本日ご説明したこれからの方向性をもとに、地域のみなさまとの丁寧な対話を継続させていただきながらすすめていきます。

本でつながるフェスタ in鶴川団地 ～本と人とまち～

3／4（土）
10:30～15:00

場　所　鶴川センター名店街のひろば

参加費　無料　時間内 入退場自由 小雨決行・荒天中止

※一部、有償の物販もございます。

イベントに関する情報は
こちらでも発信します

鶴川地域で活動する団体の皆さんと連携し、“本でつながる人とまち”をテーマにしたイベントを開催します！
鶴川図書館が今後目指していく、市民協働型の運営に向けたトライアルイベントです。
本や人、まちとつながるきっかけに足を運んでみませんか？多くの方々のご参加をお待ちしております！

出店団体：きんじょの本棚®、一般社団法人つるかわ子どもこもんず
一般社団法人Dフレンズ町田、社会福祉法人悠々会

本イベントは新型コロナウィルス感染症予防を実施して開催いたします。
みなさまも体調に気をつけていただき、感染症予防対策にご協力をお願いいたします。

主催：町田市立図書館　企画運営：株式会社HITOTOWA
企画運営協力：きんじょの本棚®、一般社団法人つるかわ子どもこもんず、一般社団法人Dフレンズ町田、
社会福祉法人悠々会、（五十音順）　協力：鶴川団地センター名店会、鶴川地区協議会
お問い合わせ先：event@hitotowa.jp（株式会社HITOTOWA 担当：寺田・細川）　042-728-8220（町田市立図書館企画・地域支援係）

出店者・ブースのご紹介

「出張！きんじょの本棚®」

きんじょの本棚®

どこで借りてどこで返してもいいまちの本棚が鶴川団地に出張します。個性豊かな本棚と店主と選書、お楽しみに。

電動カート体験乗車会

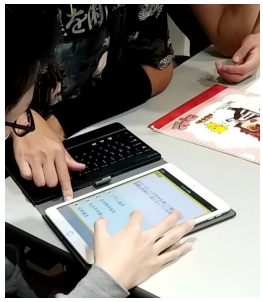
社会福祉法人悠々会

団地にお住まいの皆様、電動カートを利用して図書館にいらっしゃいませんか？電動カートの体験乗車会を行いますので、お気軽にお越し下さい。

学びを「楽」にできる工夫、いっしょに探ってみよう

一般社団法人つるかわ子どもこもんず

無料塾5年の経験から学校での学び方に悩みや不安がある人といっしょに本やいろいろな道具、タブレットを使って工夫のしかたを考えます。



認知症になっても自分らしく暮らす

一般社団法人Dフレンズ町田

認知症になっても自分らしく暮らす。認知症とともに歩む人の思いを伝える「本人エッセイ」とDブックスをご覧いただけます。
つながる機会に、来てみてください！

ほかにも、大人もこどもも楽しめる企画をご用意して、お待ちしています！

【イベントレポート】鶴川団地の図書館にあつまろう！～みんなでつくろう～｜1月14日

昨年10月に開催したイベントに引き続き、移り変わりゆく鶴川図書館で何かが始まっていく意識づけと、今後目指していく「まちの人や情報の交流機能」のトライアル実施と位置付けて、「みんなでつくろう」を合言葉に集まった方々と一緒に手を動かしていく企画を行い、約120名の方にお立ち寄りいただきました。

本をながめながら、オリジナルブックカバーづくり

読書をもっと楽しく行ってもらうことを目的に、オリジナルブックカバーづくりのワークショップを行いました。子供からお年寄りまで幅広い世代、約40名にご参加いただきました。

鶴川のこと教えてください！ まちのアーカイブ（記録）マップをつくろう

12月上旬より鶴川地区6箇所にポストを設置しお寄せいただいた意見や、当日参加された方とお話ししながら「今はないけどお気に入りだったお店」「景色のよい散歩コース」など様々な情報が集まり、大きく印刷した地図に記入していきました。

マップ記載の事項は
こちらからもご覧いただけます

町田市
生涯学習及び図書館に関する市民意識調査
結果報告書(案)

2023(令和5)年

町田市生涯学習部

目　次

調査の概要 1

調査の目的 1
調査の方法 1
報告書の留意点 1

集計結果 2

あなた自身のことについておうかがいします 2
ここからは生涯学習のことについておうかがいします 5
知識や技能の習得についておうかがいします 8
市民活動及び地域活動についておうかがいします 16
生涯学習における市の取組についておうかがいします 19
地域の歴史についておうかがいします 22
ここからは図書館のことについておうかがいします 26
図書館の現状と今後についておうかがいします 35
図書館のデジタル化についておうかがいします 45
最後に生涯学習と図書館のことについておうかがいします 53

調査票 56

調査の概要

調査の目的

本調査は、今後の生涯学習に係る施策や図書館事業の検討の基礎資料とすることを目的に、市民の生涯学習に関する意識や行動、図書館、その他学習施設の利用状況等を把握するために行いました。

調査の方法

（１）調査対象

市内在住の 15 歳以上 80 歳未満（2022 年４月１日現在）から無作為に抽出した 3,000 名

（２）調査時期

令和４年９月５日～９月 21 日

（３）調査方法

郵送配付・回収

（４）配付・回収状況

配付数	有効回収数	有効回収率
3,000 票	1,066 票	35.5%

報告書の留意点

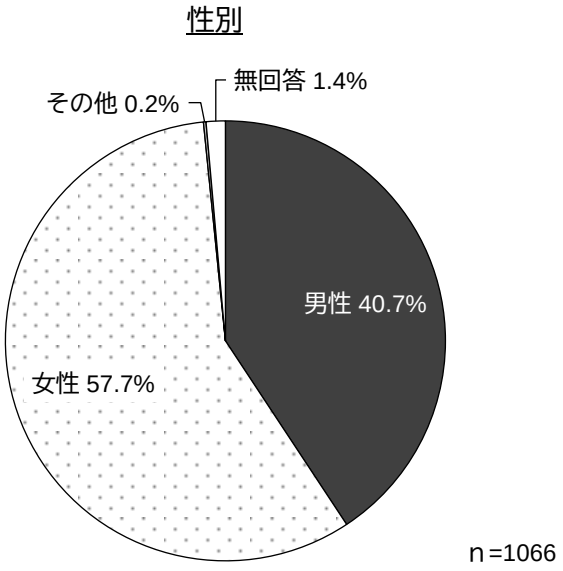
○「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
○「ｎ」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
○ 百分率による集計では、回答者数（該当設問においては該当者数）を 100%として算出し、小数点以下第２位を四捨五入し、小数点以下第１位までを表記します。
○ 複数回答（３つ以上選ぶ問）の設問では、すべての割合の合計が 100%を超えることがあります。
○ 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
○ 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。

集計結果

あなた自身のことについておうかがいします

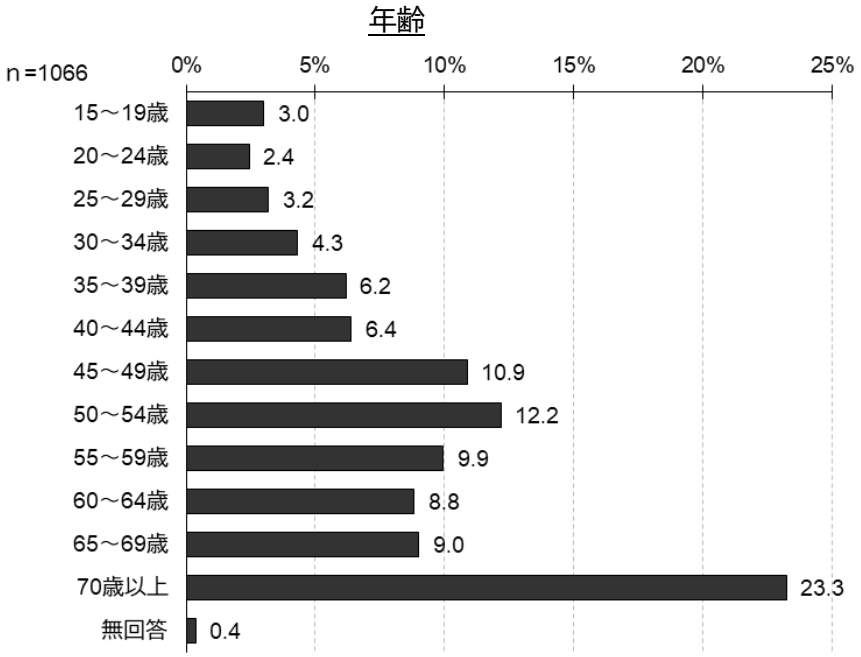
問１　あなたの性別を教えてください。

「女性」が 57.7%、「男性」が 40.7%、「その他」が 0.2%となっています。



問２　あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。

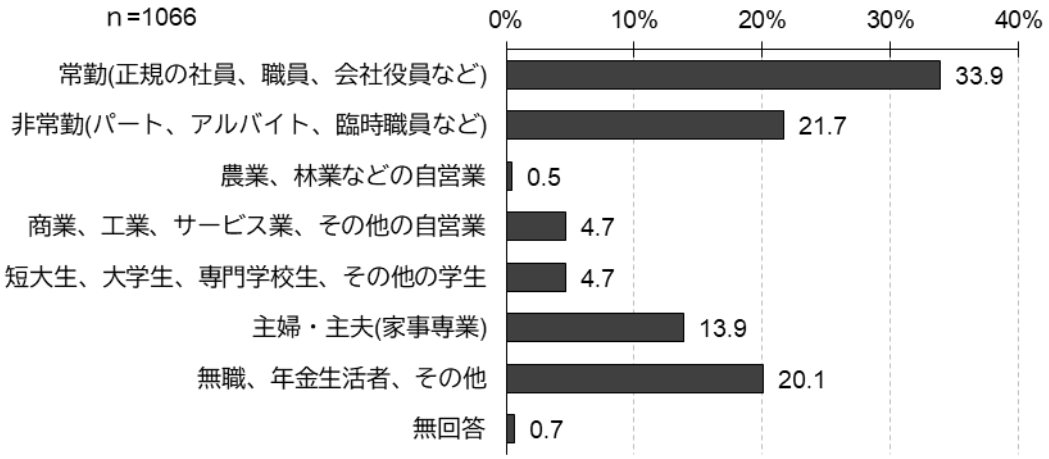
「70 歳以上」が 23.3%と最も高く、次いで「50～54 歳」が 12.2%、「45～49 歳」が 10.9%、「55～59 歳」が 9.9%、「65～69 歳」が 9.0%となっています。



問３　あなたの就業状況は次のどれにあてはまりますか。

「常勤（正規の社員、職員、会社役員など)」が 33.9%と最も高く、次いで「非常勤（パート、アルバイト、臨時職員など)」が 21.7%、「無職、年金生活者、その他」が 20.1%、「主婦・主夫（家事専業)」が 13.9%となっています。

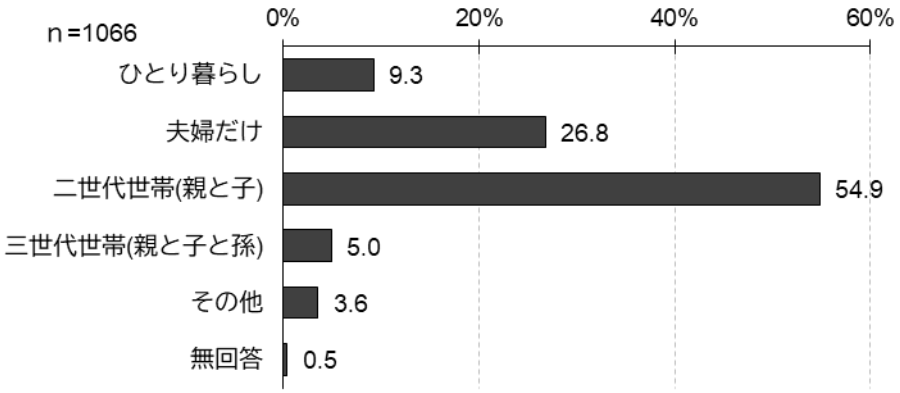
就業状況



問４　あなたの家族構成は次のどれにあてはまりますか。

「二世代世帯（親と子)」が 54.9%と最も高く、次いで「夫婦だけ」が 26.8%、「ひとり暮らし」が 9.3%、「三世代世帯（親と子と孫)」が 5.0%となっています。

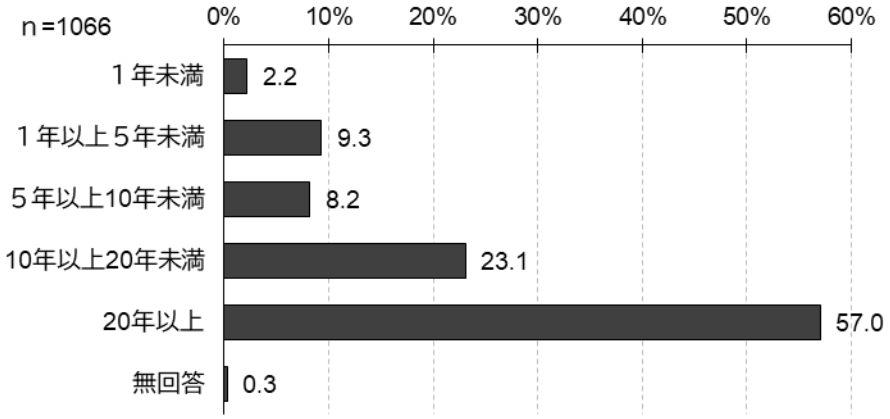
家族構成



問５　あなたは、町田市に住んで何年になりますか。

「20 年以上」が 57.0%と最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」が 23.1%、「１年以上５年未満」が 9.3%、「５年以上 10 年未満」が 8.2%、「１年未満」が 2.2%となっています。

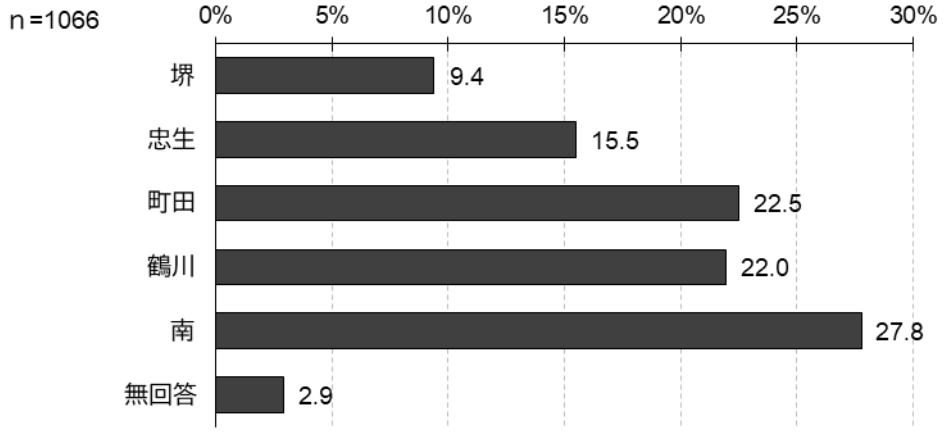
居住年数



問６　お住まいの地区

「南」が 27.8%と最も高く、次いで「町田」が 22.5%、「鶴川」が 22.0%、「忠生」が 15.5%、「堺」が 9.4%となっています。

居住地区



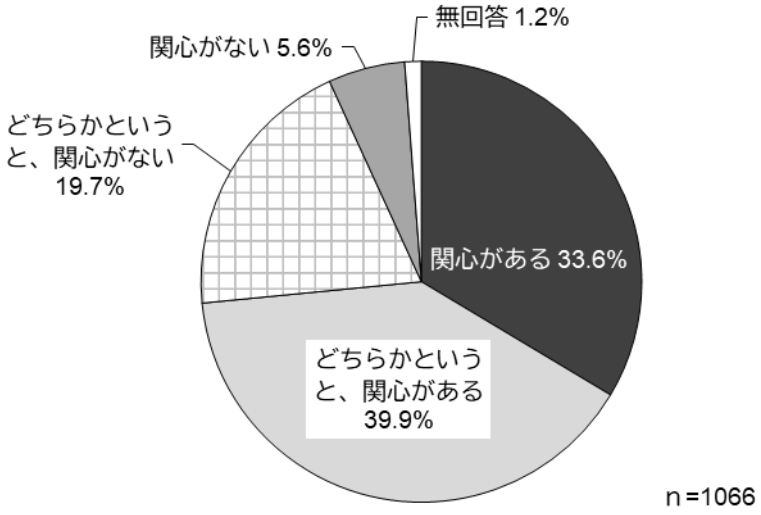
ここからは生涯学習のことについておうかがいします

問７　あなたは「生涯学習活動」について関心がありますか。

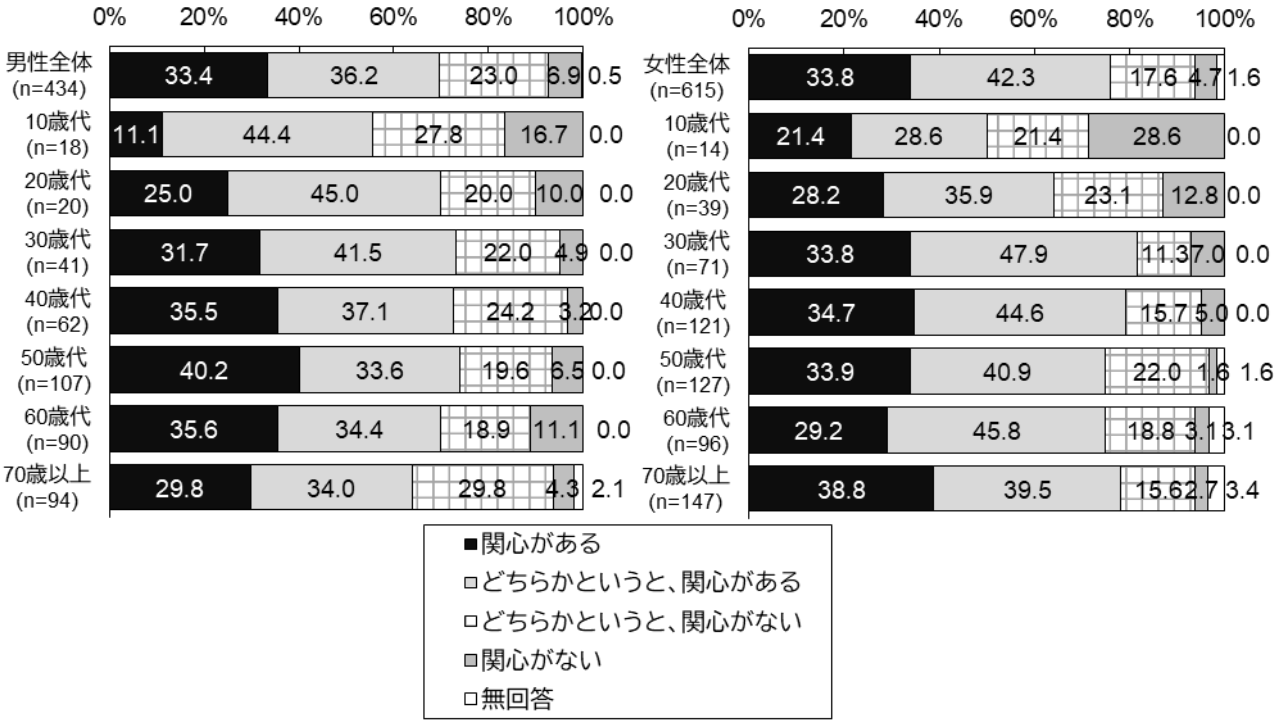
「どちらかというと、関心がある」が 39.9%と最も高く、次いで「関心がある」が 33.6%、「どちらかというと、関心がない」が 19.7%、「関心がない」が 5.6%となっています。

性・年齢別にみると、「関心がある」は男性では 50 歳代、女性では 70 歳以上で高くなっています。

生涯学習活動への関心度



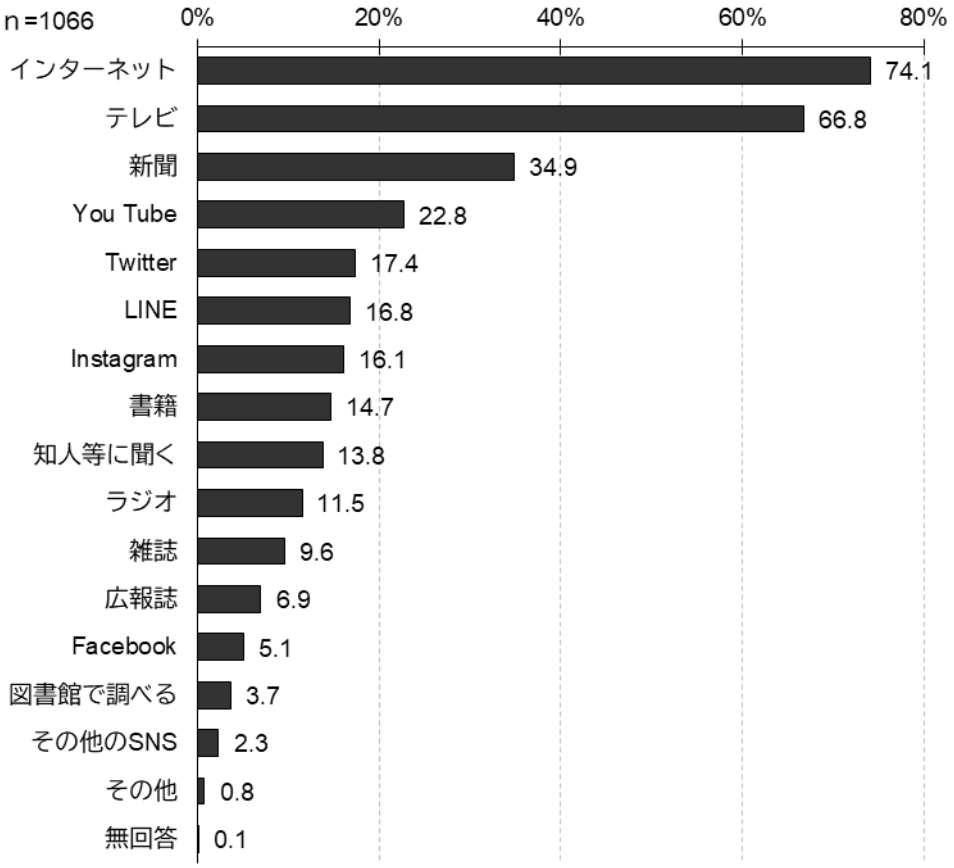
性･年齢別　生涯学習活動への関心度



問８　あなたは、日常的に情報はどこから得ていますか。（複数回答）

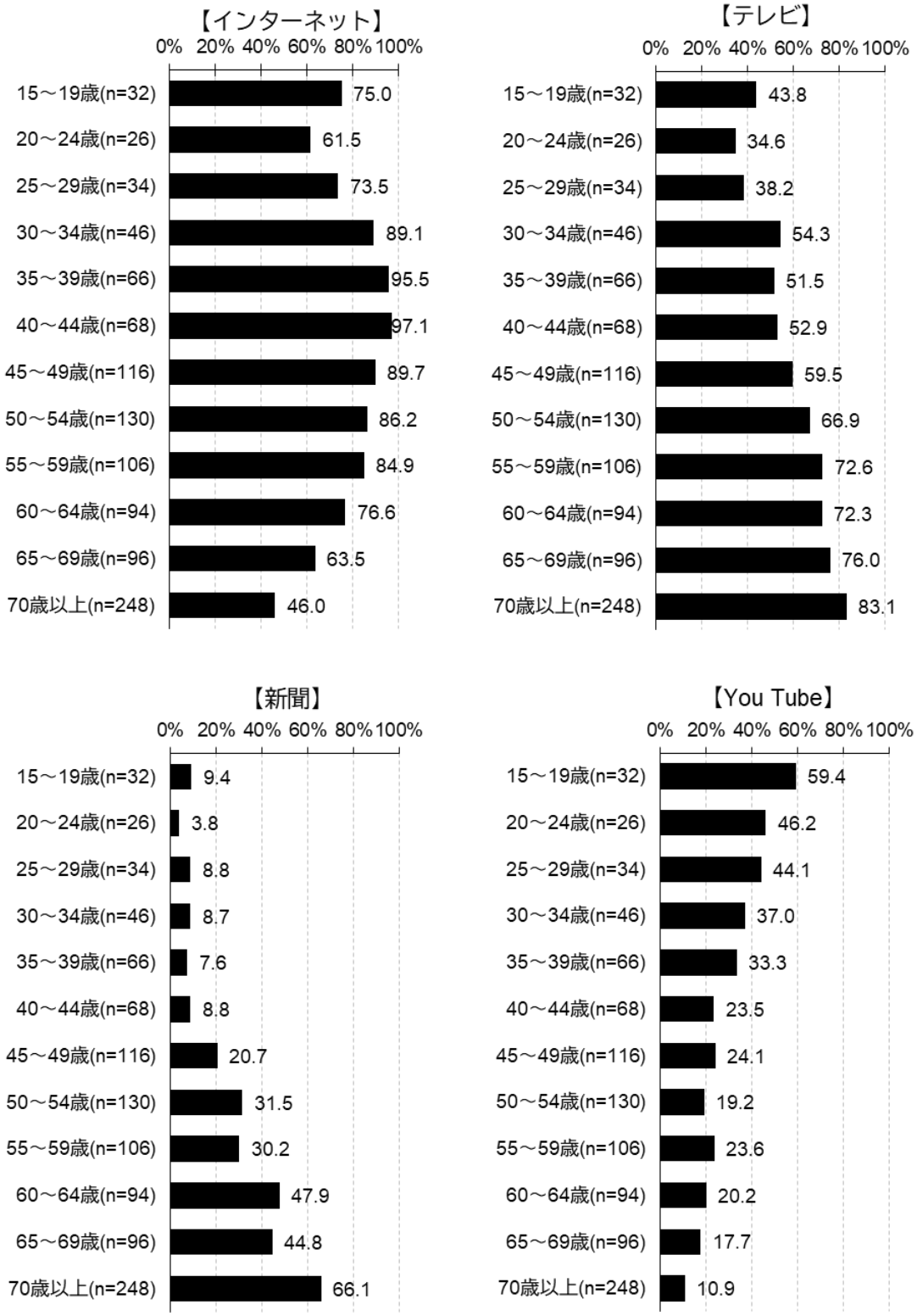
「インターネット」が 74.1％と最も高く、次いで「テレビ」が 66.8％、「新聞」が 34.9％、「You Tube」が 22.8％、「Twitter」が 17.4％となっています。

日常の情報源



回答の上位４項目を年齢別にみると、「インターネット」は 30 歳代、40 歳代、50 歳代で高く、「テレビ」、「新聞」は年齢が上がるほど高くなっています。一方、「You Tube」は年齢が下がるほど高くなっています。

年齢別　日常の情報源（上位4項目）



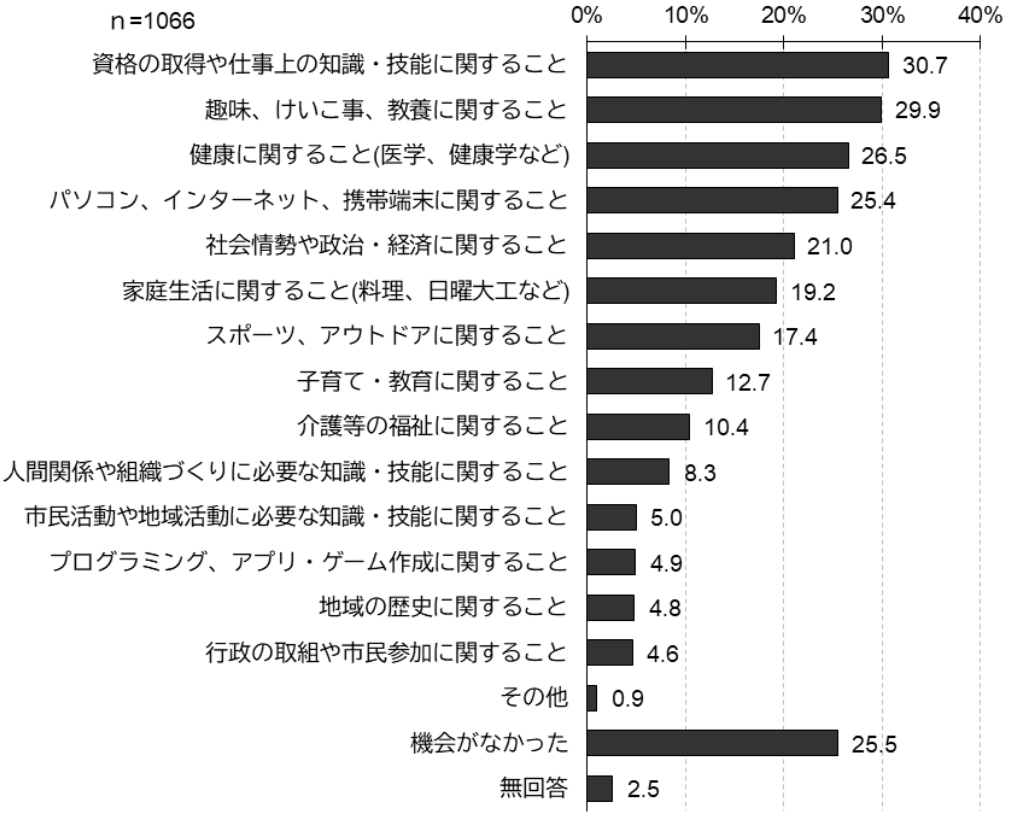
知識や技能の習得についておうかがいします

問９　あなたは、この１年間に次に挙げる知識や技能を習得する機会がありましたか。（複数回答）

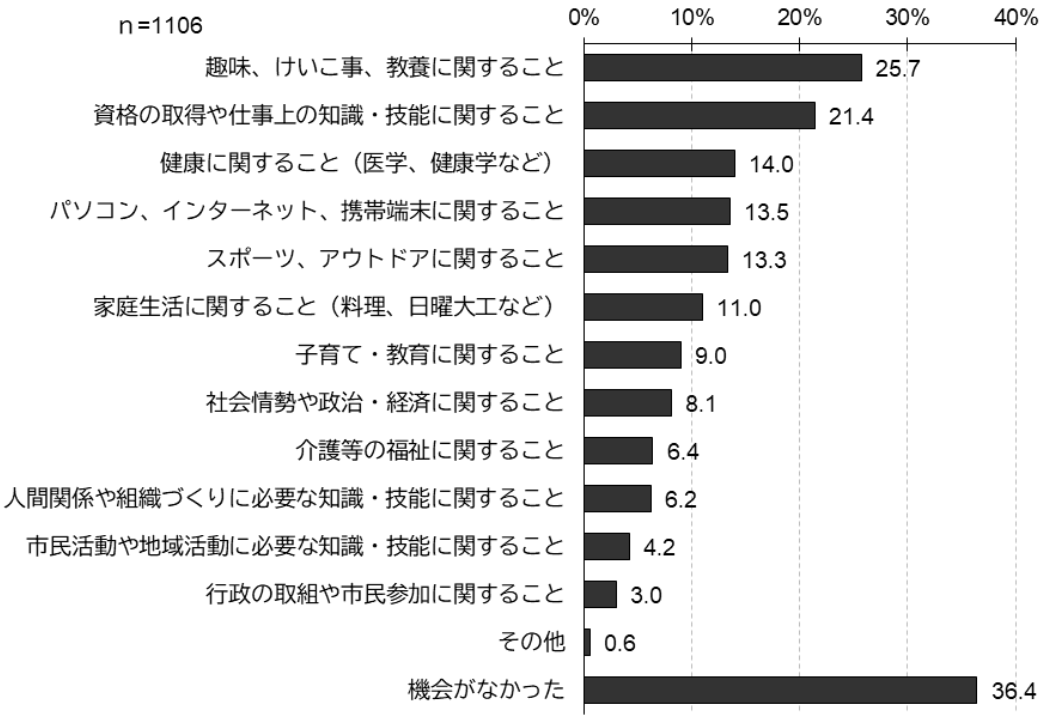
「資格の取得や仕事上の知識・技能に関すること」が 30.7%と最も高く、次いで「趣味、けいこ事、教養に関すること」が 29.9%、「健康に関すること（医学、健康学など）」が 26.5%、「パソコン、インターネット、携帯端末に関すること」が 25.4%となっています。

また、「機会がなかった」は 25.5%となっています。

知識や技能の習得機会の有無

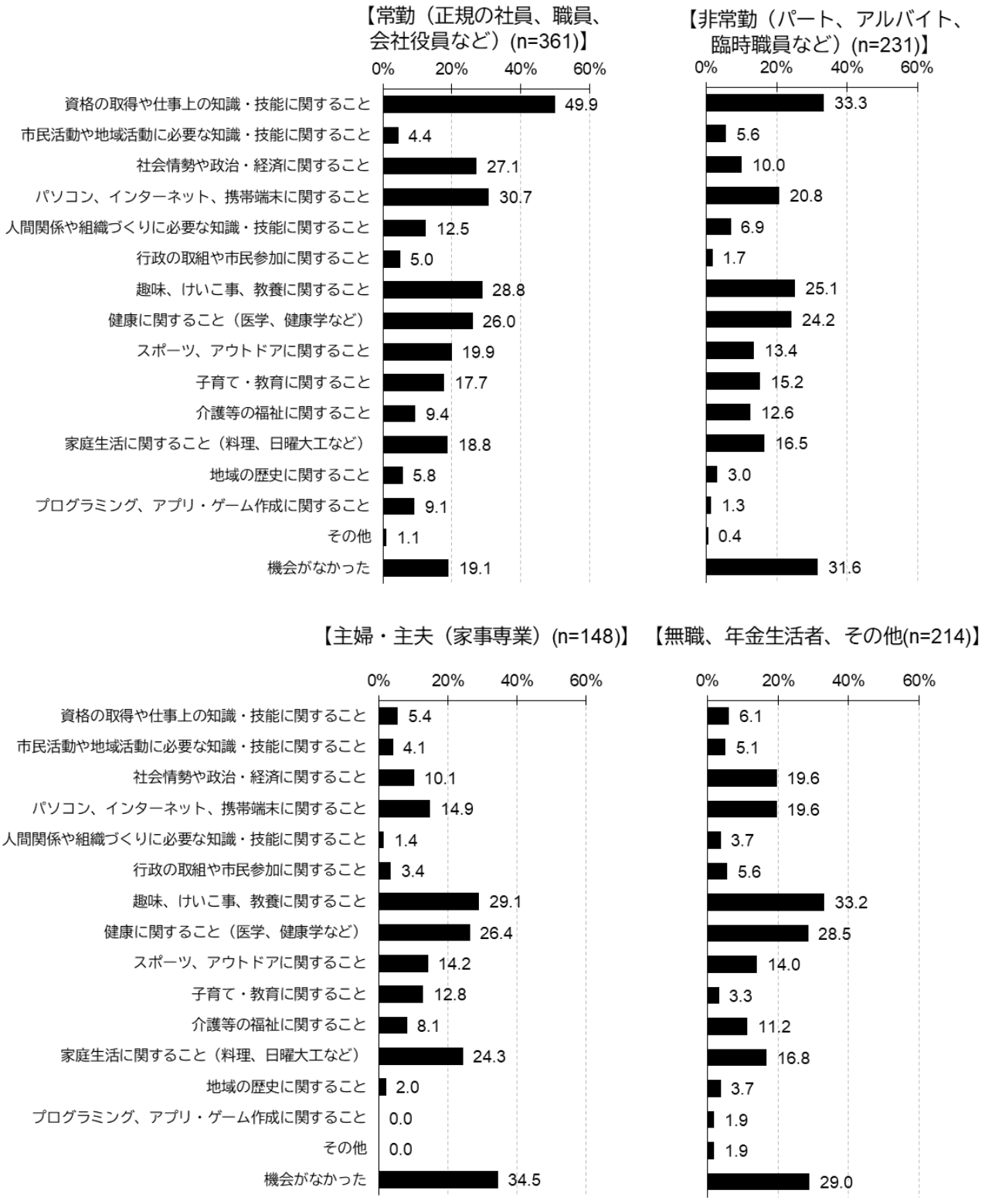


（参考）2017 年調査　知識や技能の習得機会の有無



就業状況別にみると、「常勤（正規の社員、職員、会社役員など）」、「非常勤（パート、アルバイト、臨時職員など）」では「資格の取得や仕事上の知識・技能に関すること」が高く、「主婦・主夫（家事専業）」、「無職、年金生活者、その他」では「趣味、けいこ事、教養に関すること」が高くなっています。

就業状況別　知識や技能の習得機会の有無

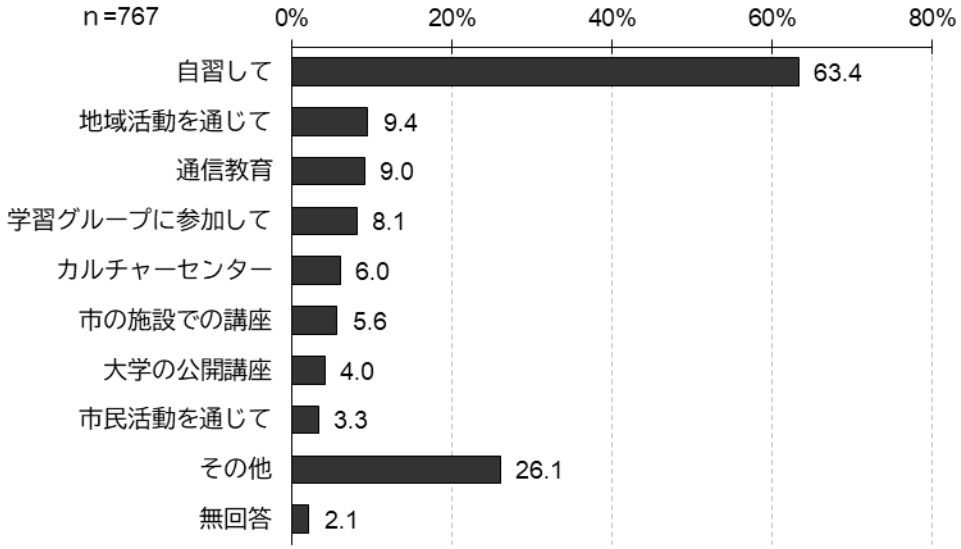


問9で「機会がなかった」以外を選んだ方におうかがいします。

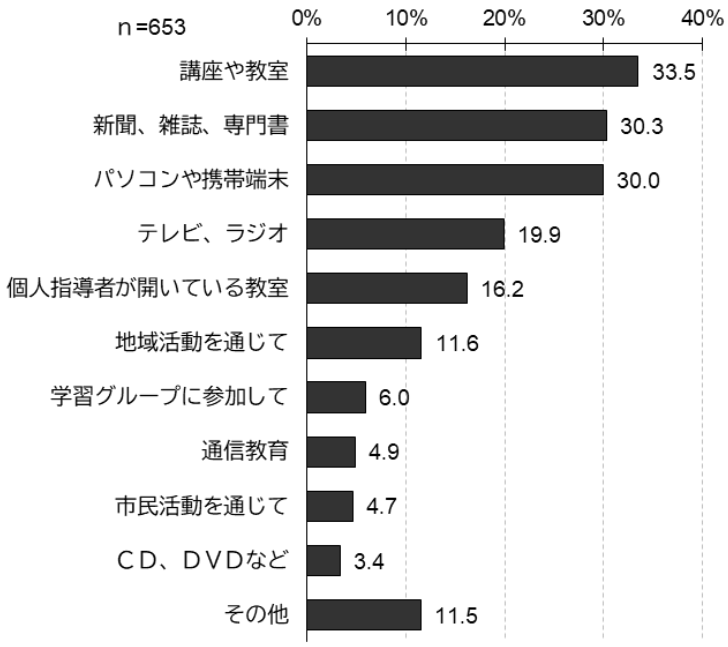
問９－１　あなたは、その知識や技能をどこで習得しましたか。（複数回答）

「自習して」が 63.4％と最も高く、次いで「地域活動を通じて」が 9.4％、「通信教育」が 9.0％、「学習グループに参加して」が 8.1％となっています。また、「その他」は 26.1％となっています。

知識や技能の習得の場



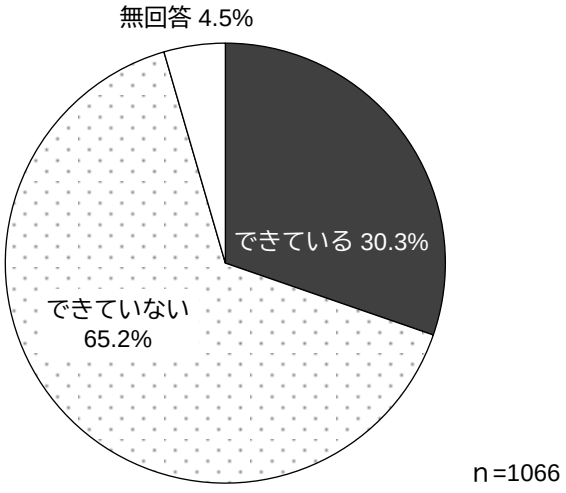
（参考）2017 年調査　知識や技能の習得の場



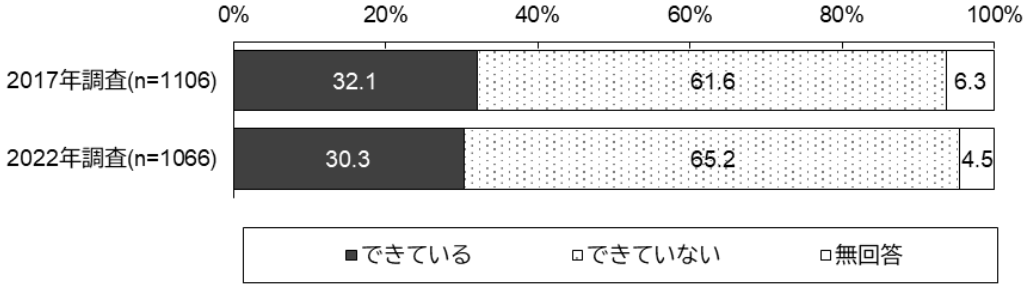
問 10　あなたは、必要とする知識や技能を十分に習得することができていますか。

「できている」が 30.3%、「できていない」が 65.2%となっています。
2017 年実施の調査と比べると、「できている」は低下しています。

知識や技能が十分習得できているか

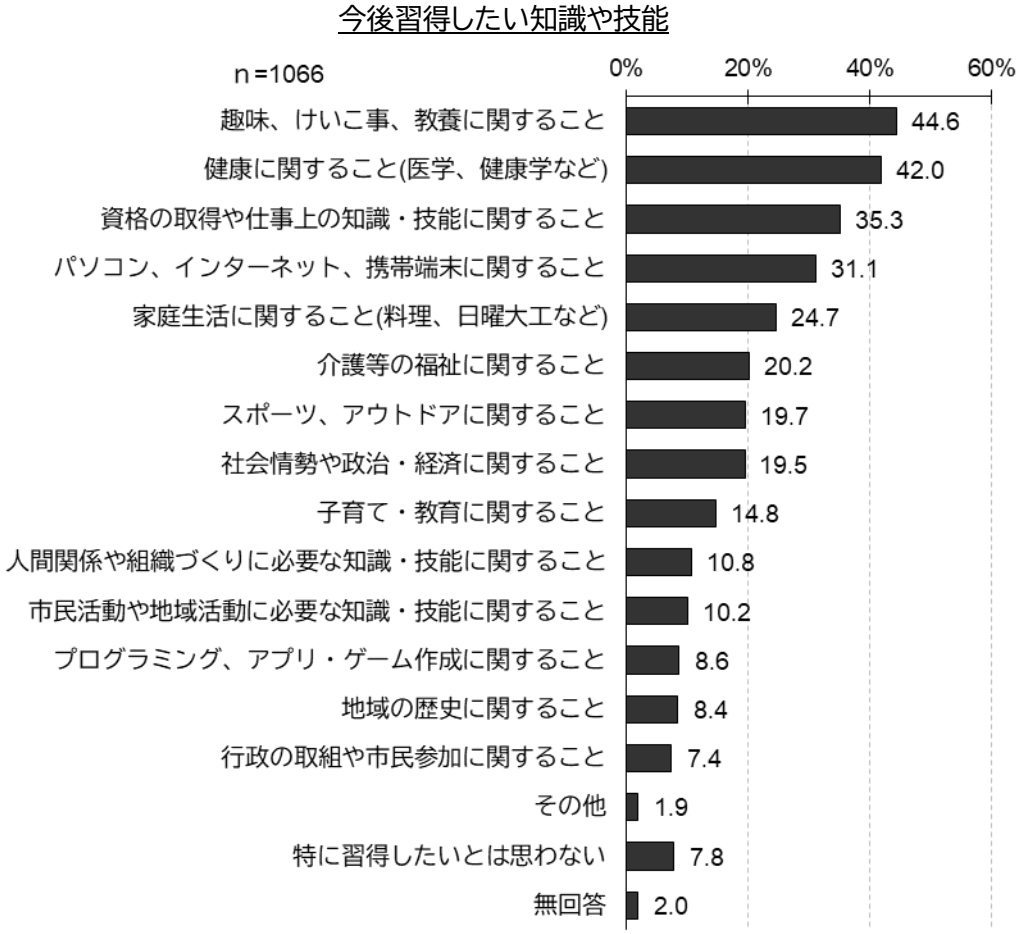


知識や技能が十分習得できているか(経年比較)

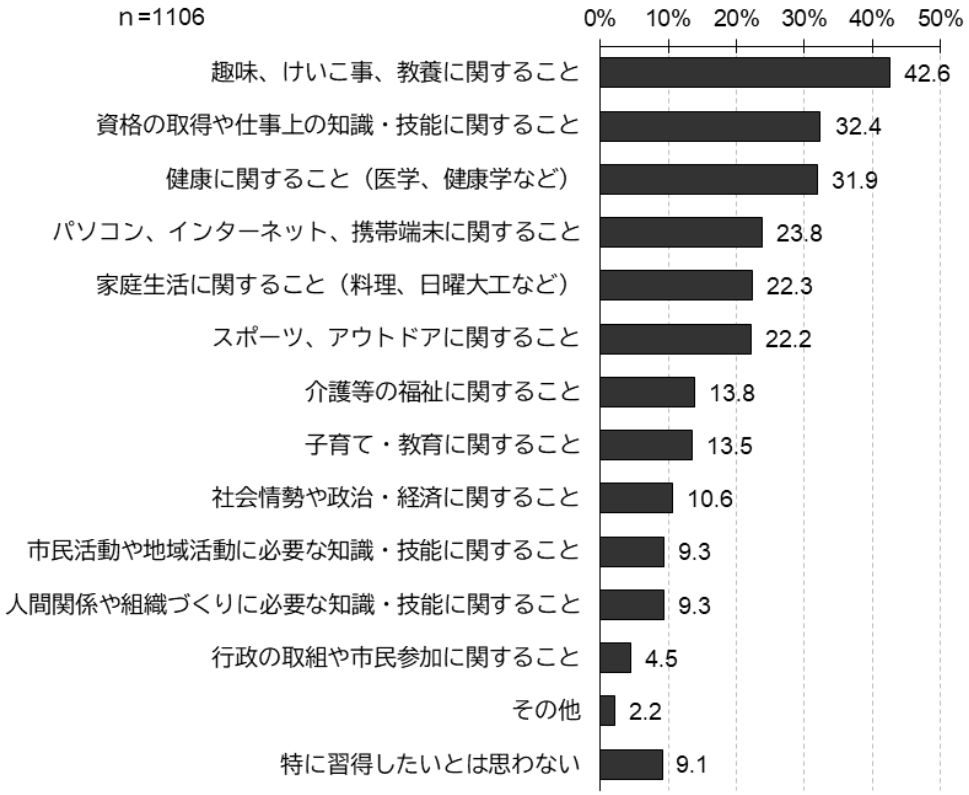


問 11　あなたは今後、どのような知識や技能を習得したいと思いますか。（複数回答）

「趣味、けいこ事、教養に関すること」が 44.6%と最も高く、次いで「健康に関すること（医学、健康学など)」が 42.0%、「資格の取得や仕事上の知識・技能に関すること」が 35.3%、「パソコン、インターネット、携帯端末に関すること」が 31.1%、「家庭生活に関すること（料理、日曜大工など)」が 24.7%となっています。

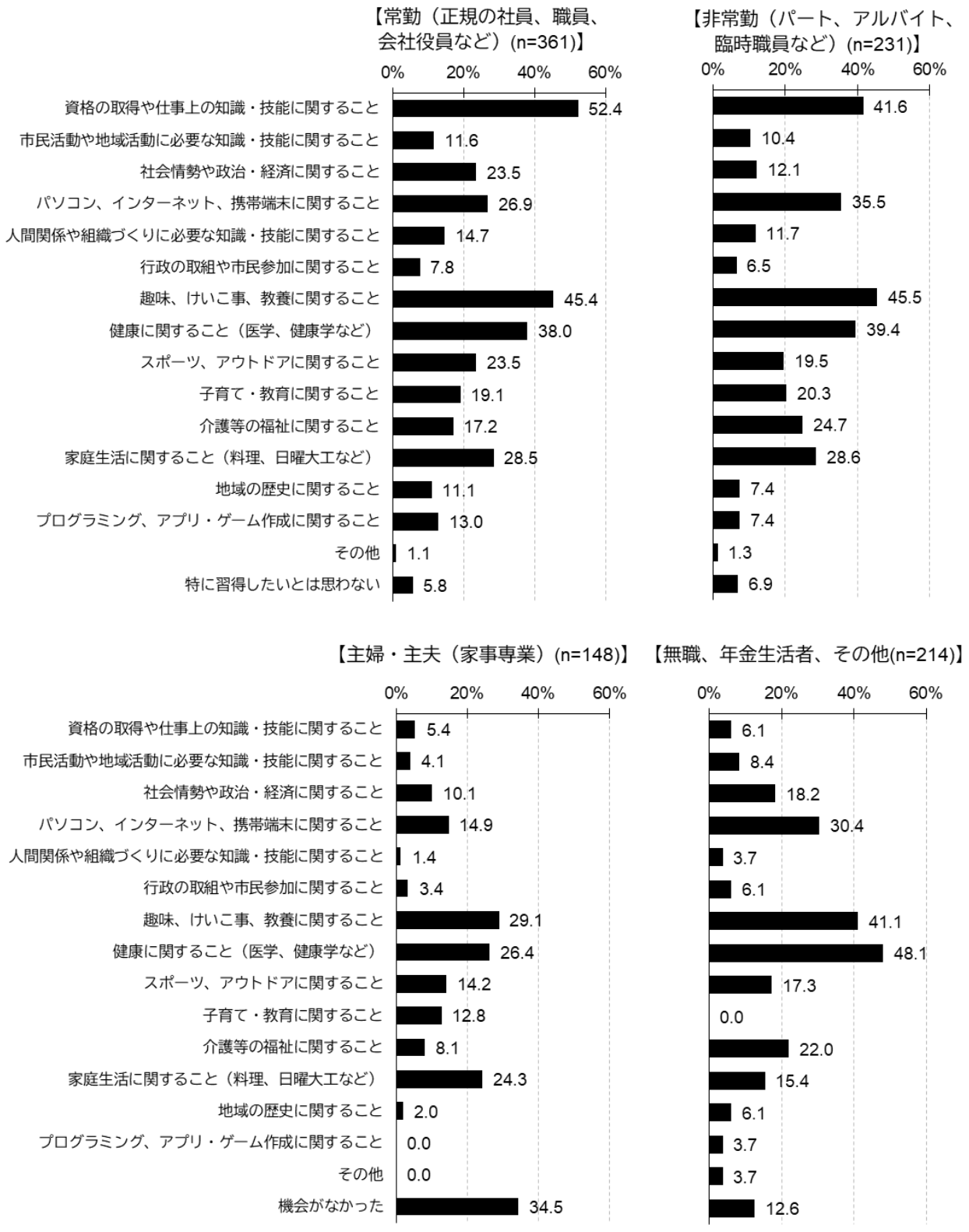


（参考）2017 年調査　今後習得したい知識や技能



就業状況別にみると、「常勤（正規の社員、職員、会社役員など）」は「資格の取得や仕事上の知識・技能に関すること」が高く、「非常勤（パート、アルバイト、臨時職員など）」、「主婦・主夫（家事専業）」では「趣味、けいこ事、教養に関すること」が高くなっています。

就業状況別　今後習得したい知識や技能



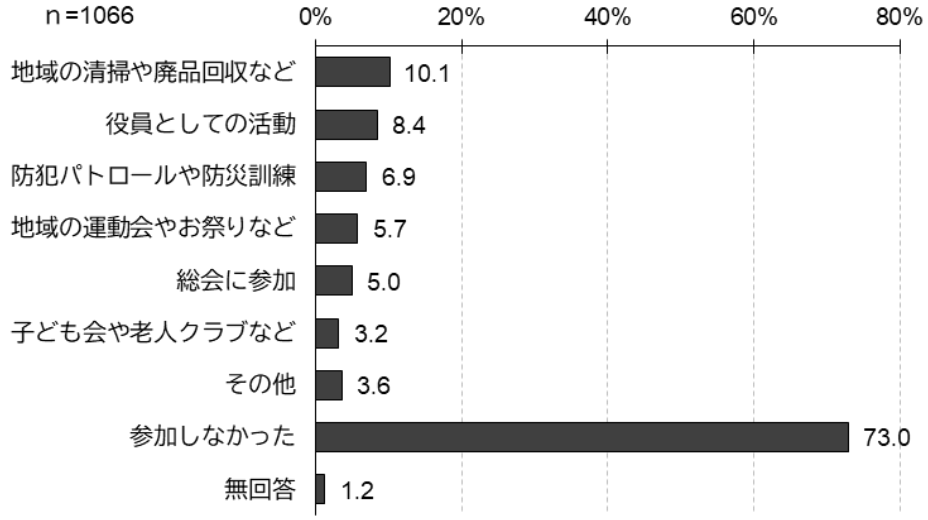
市民活動及び地域活動についておうかがいします

問 12　あなたはこの１年間に、町内会や自治会・子ども会・老人クラブ等の地域活動に参加されましたか。（複数回答）

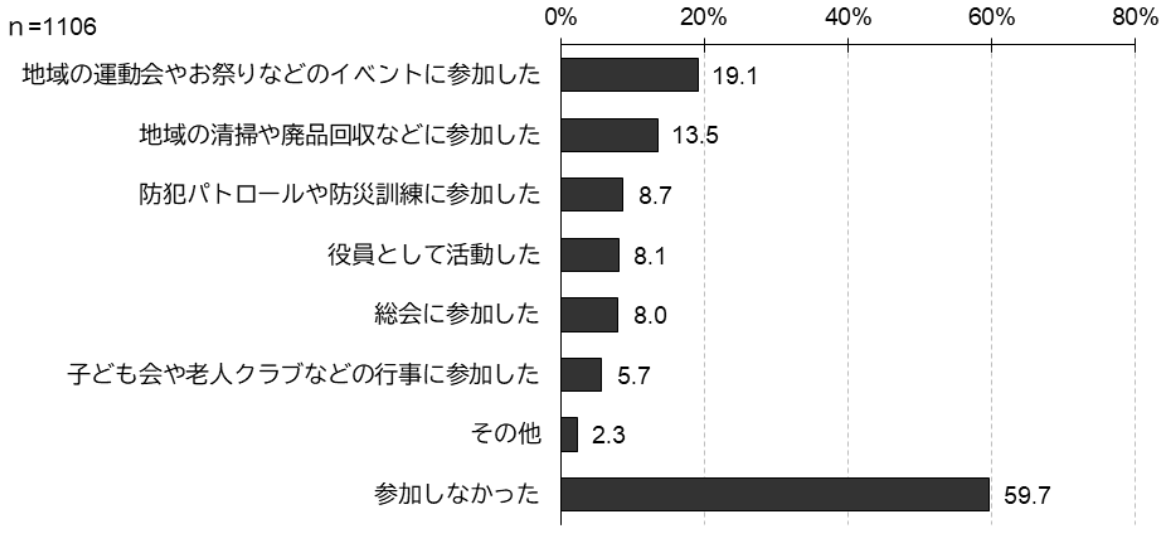
「地域の清掃や廃品回収など」が 10.1%、「役員としての活動」が 8.4%、「防犯パトロールや防災訓練」が 6.9%、「地域の運動会やお祭りなど」が 5.7%となっています。

また、「参加しなかった」は 73.0%となっています。

地域活動の参加状況



（参考）2017 年調査　地域活動の参加状況

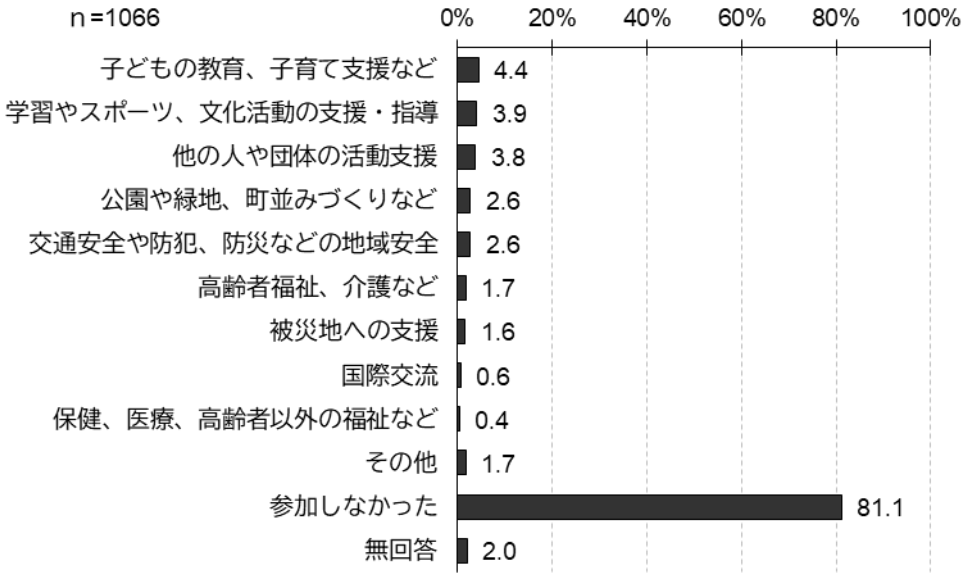


問 13　あなたはこの１年間に、次のボランティアや NPO などの市民活動に参加されましたか。（複数回答）

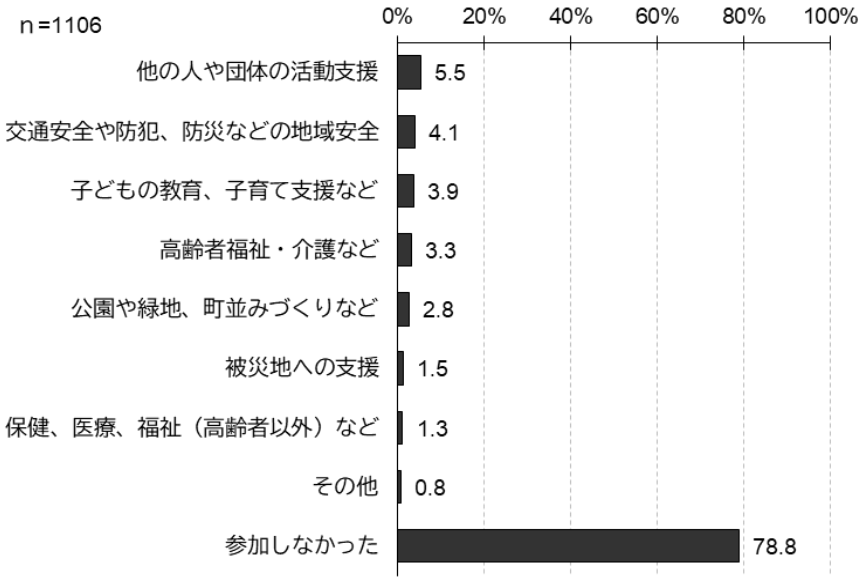
「子どもの教育、子育て支援など」が 4.4%、「学習やスポーツ、文化活動の支援・指導」が 3.9%、「他の人や団体の活動支援」が 3.8%、「公園や緑地、町並みづくりなど」及び「交通安全や防犯、防災などの地域安全」が 2.6%となっています。

また、「参加しなかった」は 81.1%となっています。

市民活動の参加状況



(参考)2017 年調査　市民活動の参加状況

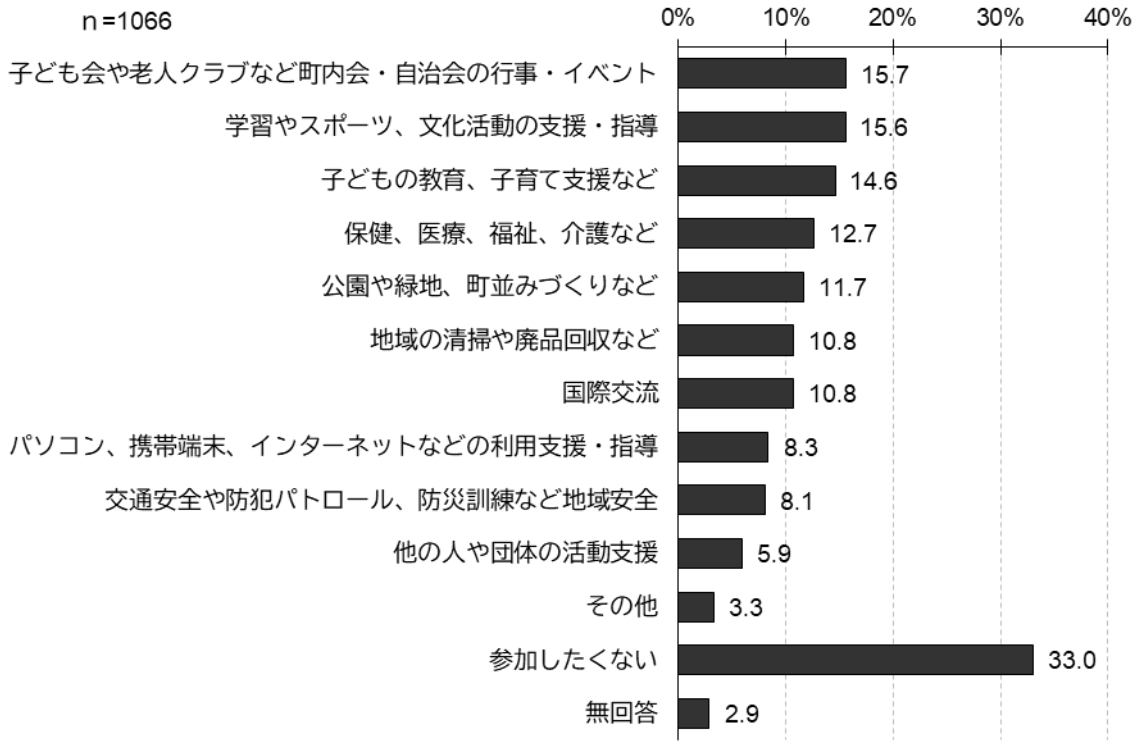


問 14　あなたは今後、どのような地域活動・市民活動に参加したいですか。（複数回答）

「子ども会や老人クラブなど町内会・自治会の行事・イベント」が 15.7%、「学習やスポーツ、文化活動の支援・指導」が 15.6%、「子どもの教育、子育て支援など」が 14.6%、「保健、医療、福祉、介護など」が 12.7%となっています。

また、「参加したくない」は 33.0%となっています。

地域活動･市民活動の参加意向



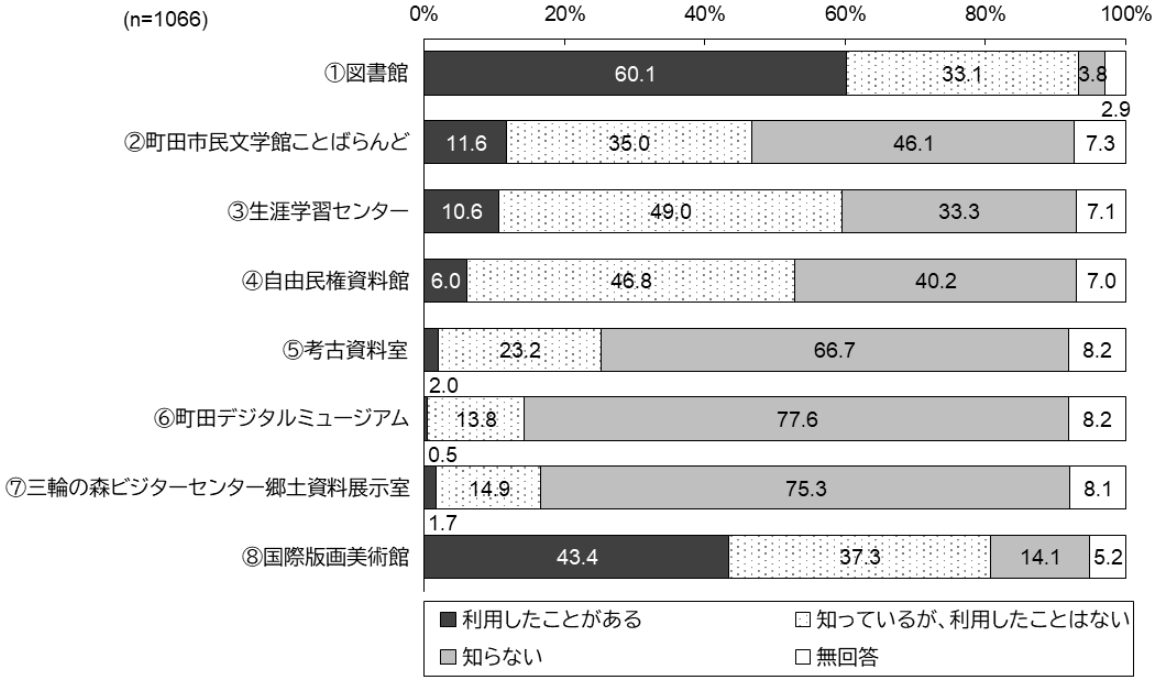
生涯学習における市の取組についておうかがいします

問 15　あなたは、町田市内にある次の施設や施設が提供するサービスを知っていますか。また、この１年間に利用したことはありますか。

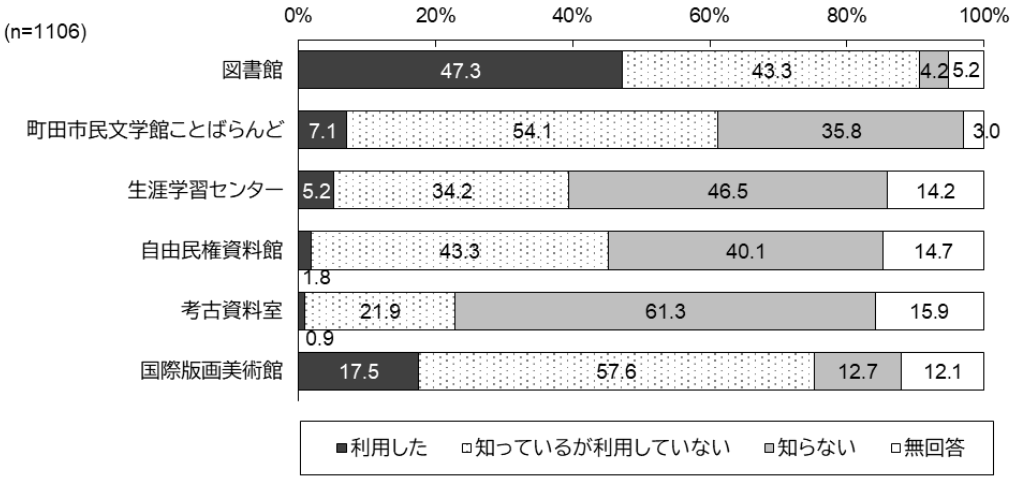
町田市内にある施設や施設が提供するサービスについて、「利用したことがある」との回答が高いものは順に①図書館 60.1%、⑧国際版画美術館 43.4%、②町田市民文学館ことばらんど 11.6%となっています。

また、「知らない」との回答が高いものは順に⑥町田デジタルミュージアム 77.6%、⑦三輪の森ビジターセンター郷土資料展示室 75.3%、⑤考古資料室 66.7%となっています。

町田市内の施設や提供サービスの認知度



(参考)2017 年調査　町田市内の施設の認知度

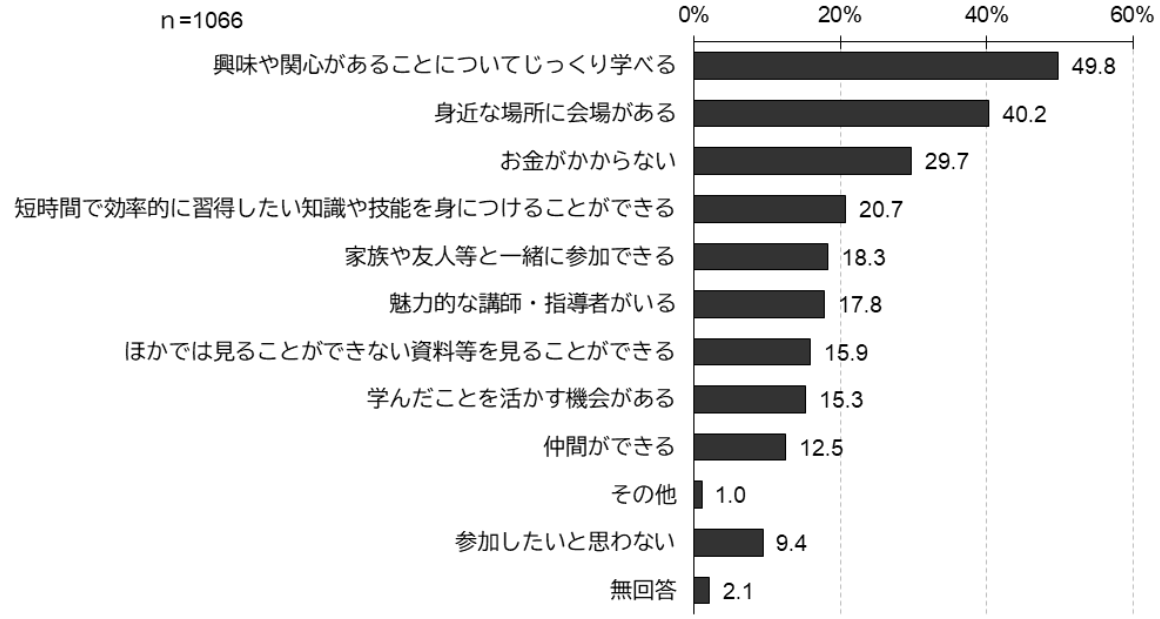


問 16　あなたは、学習講座やイベント、展覧会などに参加する際、重視するのはどのような点ですか。（複数回答）

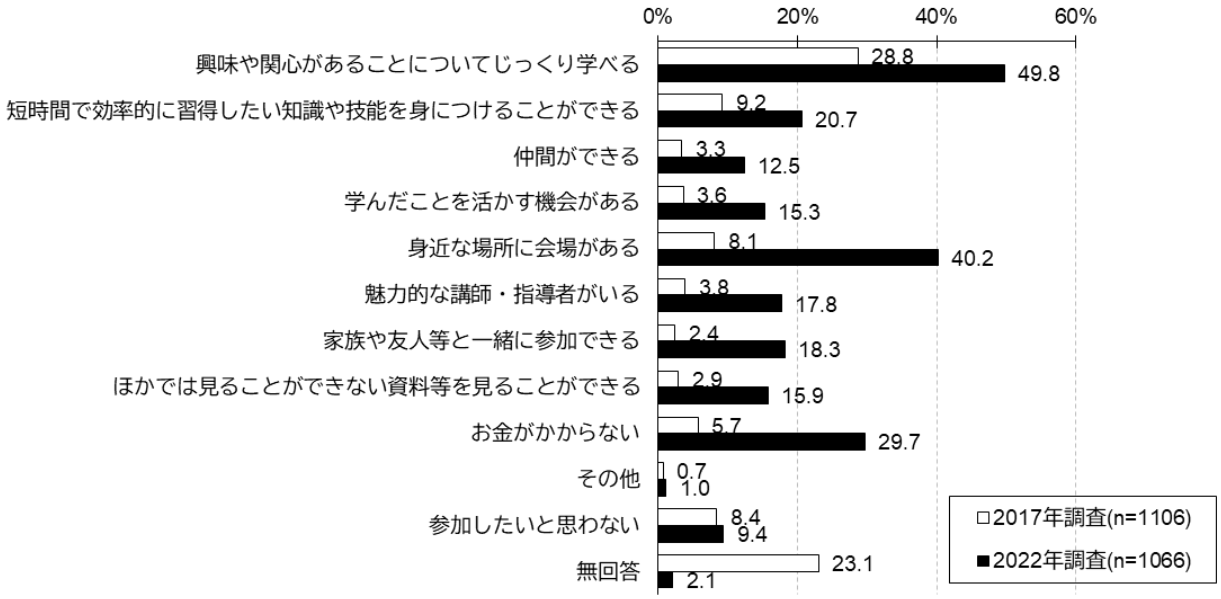
「興味や関心があることについてじっくり学べる」が 49.8%と最も高く、次いで「身近な場所に会場がある」が 40.2%、「お金がかからない」が 29.7%、「短時間で効率的に習得したい知識や技能を身につけることができる」が 20.7%、「家族や友人等と一緒に参加できる」が 18.3%となっています。

2017 年実施の調査と比べると、「興味や関心があることについてじっくり学べる」、「身近な場所に会場がある」、「お金がかからない」など多くの項目で上昇しています。

学習講座などに参加する際に重視する点

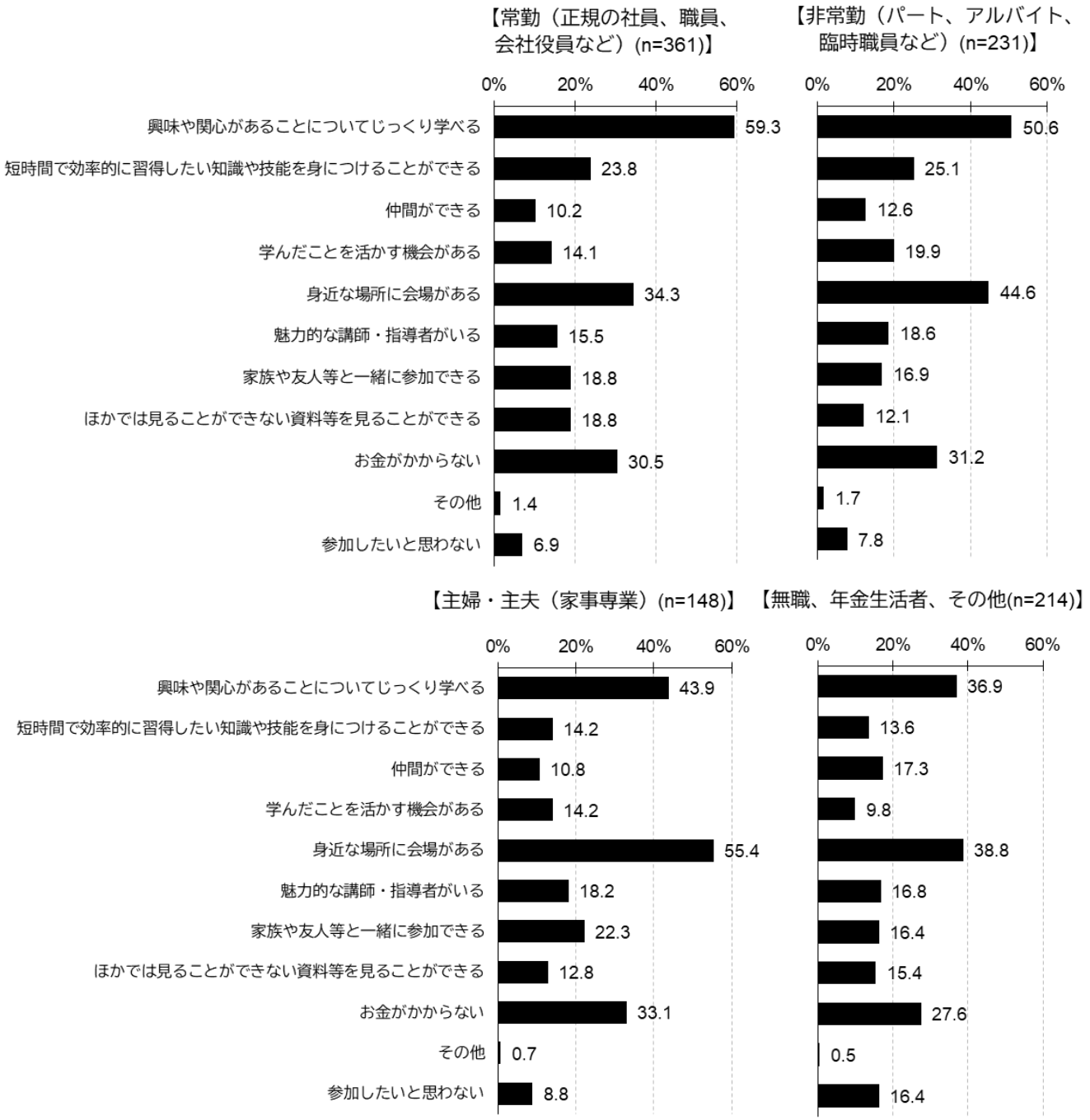


学習講座などに参加する際に重視する点(経年比較)



就業状況別にみると、「常勤（正規の社員、職員、会社役員など)」、「非常勤（パート、アルバイト、臨時職員など)」では「興味や関心があることについてじっくり学べる」が高く、「主婦・主夫（家事専業)」、「無職、年金生活者、その他」では「身近な場所に会場がある」が高くなっています。

就業状況別 学習講座などに参加する際に重視する点



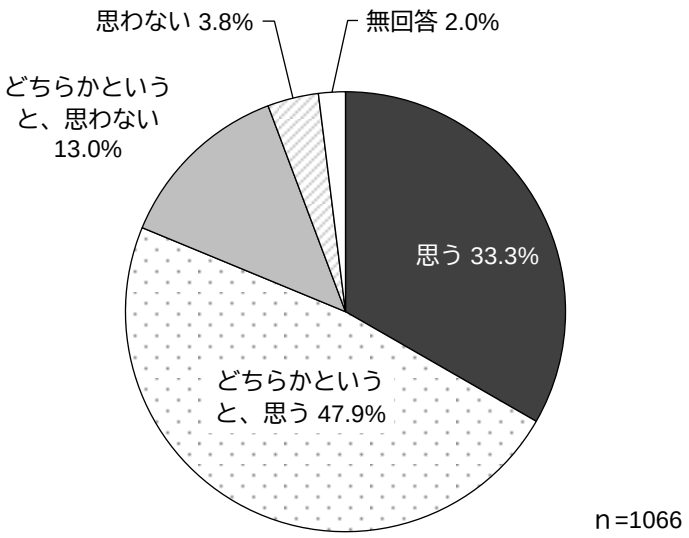
地域の歴史についておうかがいします

問 17　あなたは町田市の歴史を後世へ伝える必要があると思いますか。

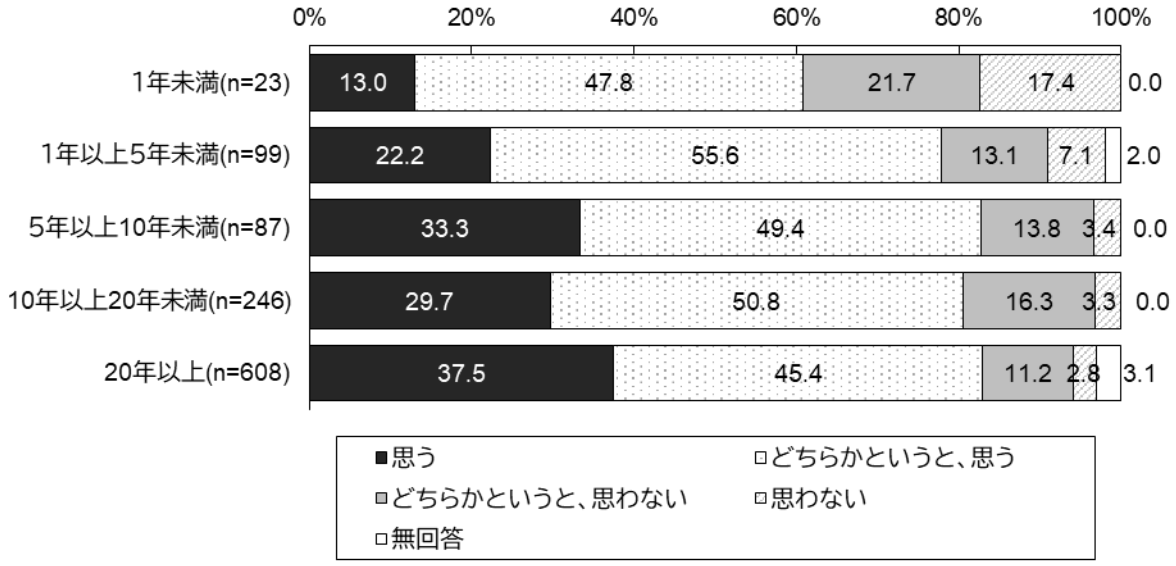
「どちらかというと、思う」が 47.9%と最も高く、次いで「思う」が 33.3%、「どちらかというと、思わない」が 13.0%、「思わない」が 3.8%となっています。

居住年数別にみると、「思う」は居住年数が多い人ほど、高い傾向にあります。

町田市の歴史を後世へ伝える必要があると思うか



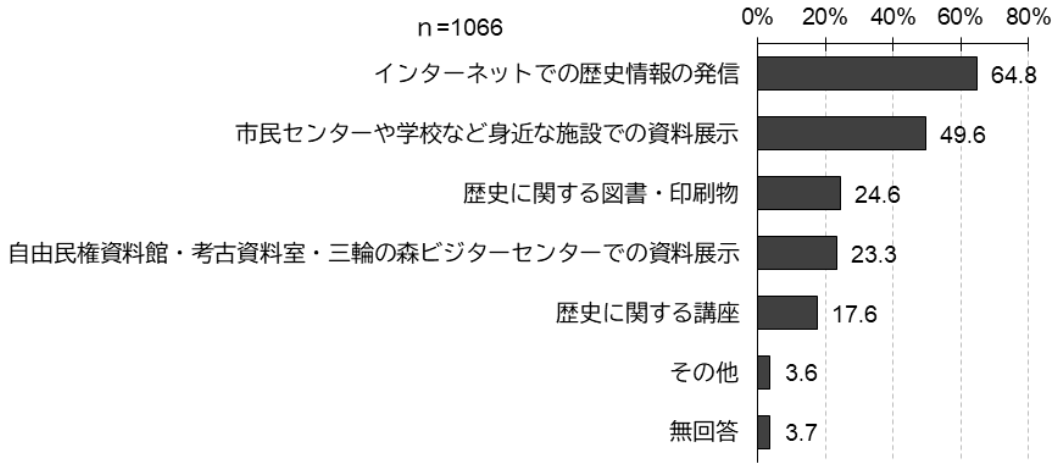
居住年数別　町田市の歴史を後世へ伝える必要があると思うか



問 18　あなたは町田市の歴史を知る手段として以下のどれが必要だと思いますか。（複数回答）

「インターネットでの歴史情報の発信」が 64.8%と最も高く、次いで「市民センターや学校など身近な施設での資料展示」が 49.6%、「歴史に関する図書・印刷物」が 24.6%、「自由民権資料館・考古資料室・三輪の森ビジターセンターでの資料展示」が 23.3%、「歴史に関する講座」が 17.6%となっています。

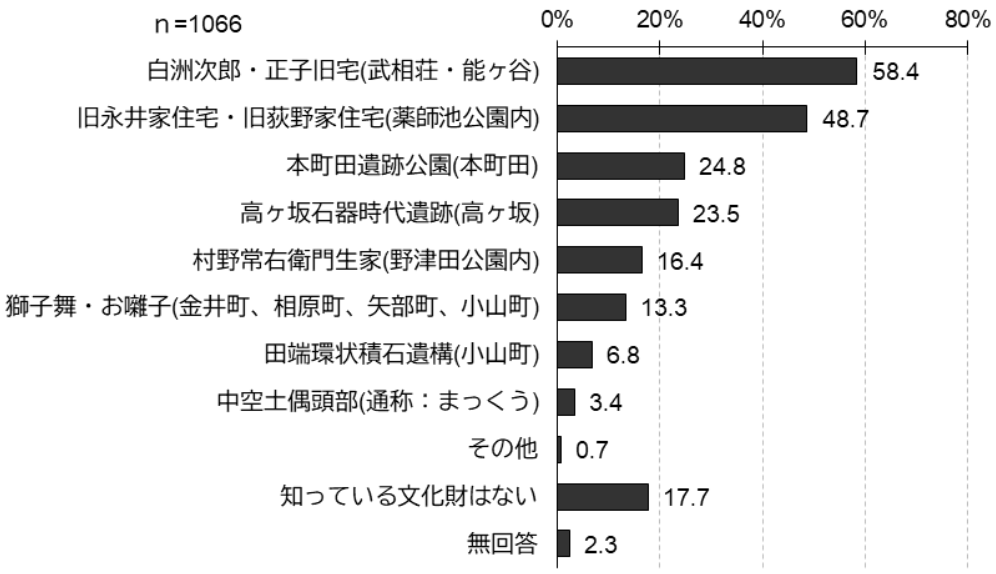
町田市の歴史を知る手段として必要だと思うこと



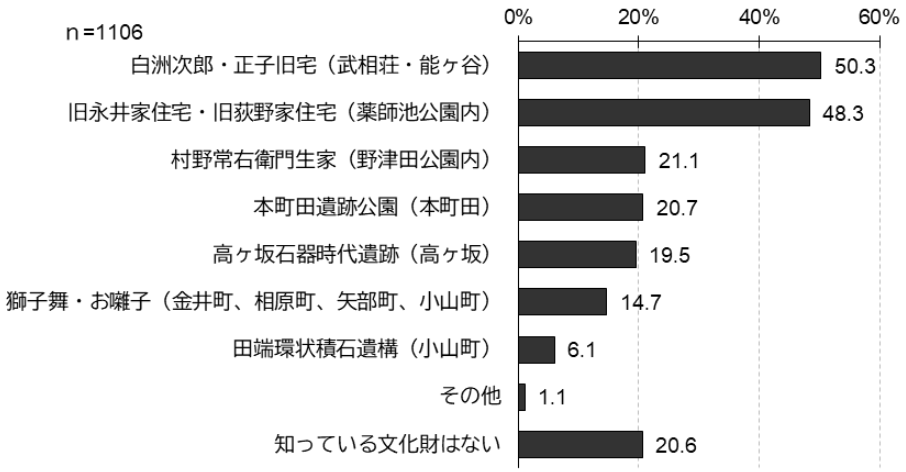
問 19　あなたは、町田市内にある次の文化財を知っていますか。（複数回答）

「白洲次郎・正子旧宅（武相荘・能ヶ谷）」が 58.4%と最も高く、次いで「旧永井家住宅・旧荻野家住宅（薬師池公園内）」が 48.7%、「本町田遺跡公園（本町田）」が 24.8%、「高ヶ坂石器時代遺跡（高ヶ坂）」が 23.5%となっています。また、「知っている文化財はない」は 17.7%となっています。

町田市内の文化財の認知度

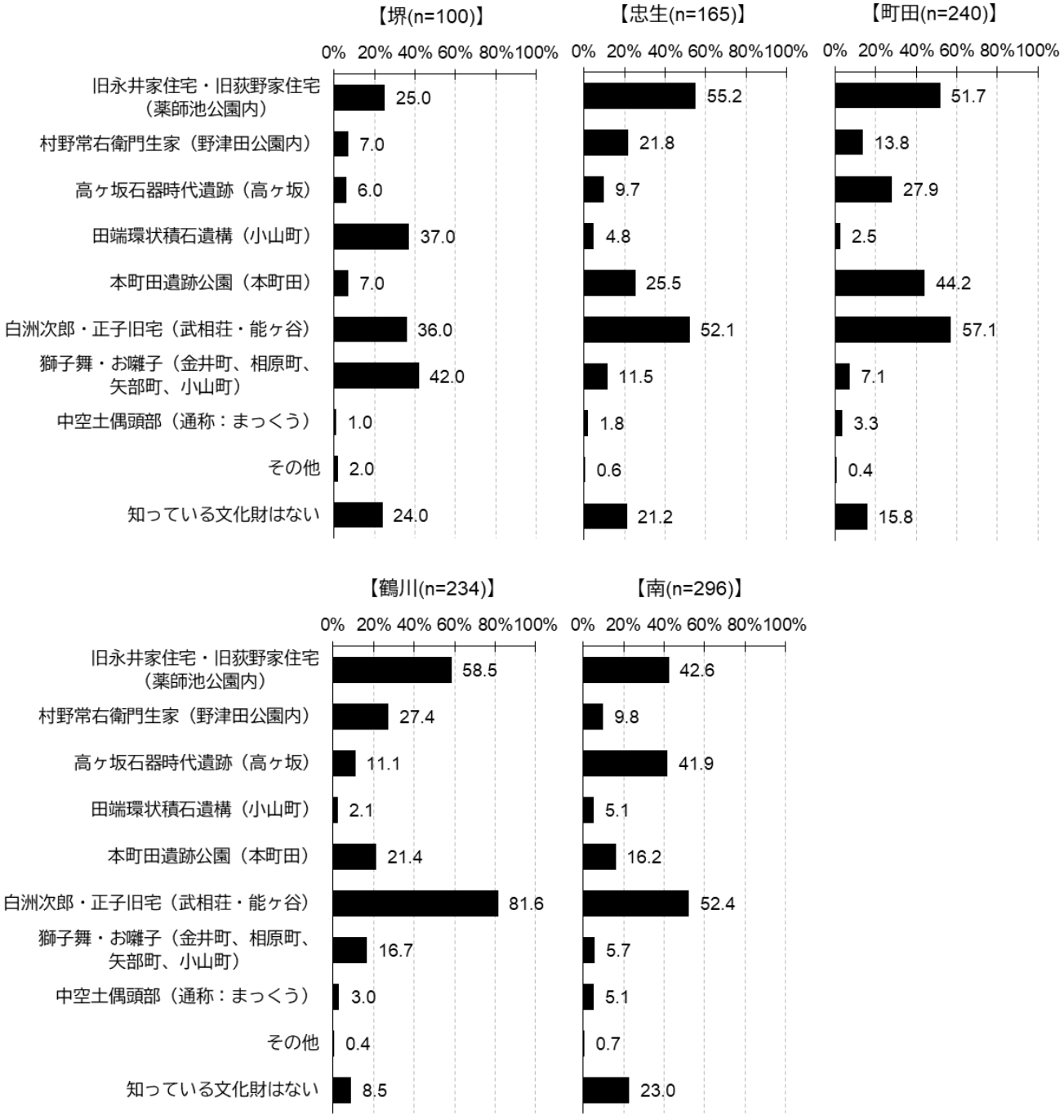


(参考)2017 年調査　町田市内の文化財の認知度



居住地区別にみると、「鶴川」では「白洲次郎・正子旧宅（武相荘・能ヶ谷）」が最も高く、「堺」では「獅子舞・お囃子（金井町、相原町、矢部町、小山町）」、「田端環状積石遺構（小山町）」が高くなっています。

居住地区別 町田市内の文化財の認知度



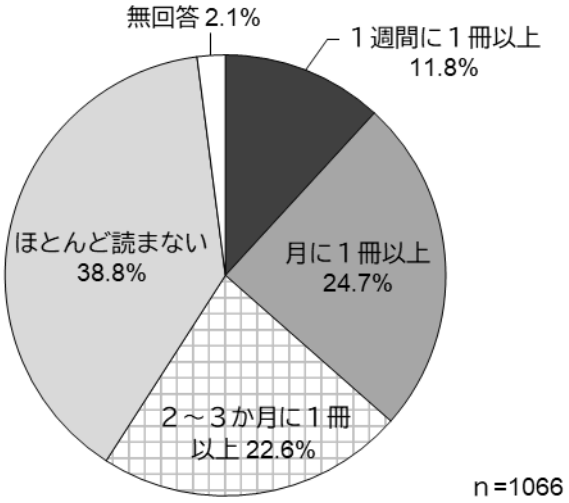
ここからは図書館のことについておうかがいします

問 20　あなたは、本をどれぐらいの頻度で読みますか。

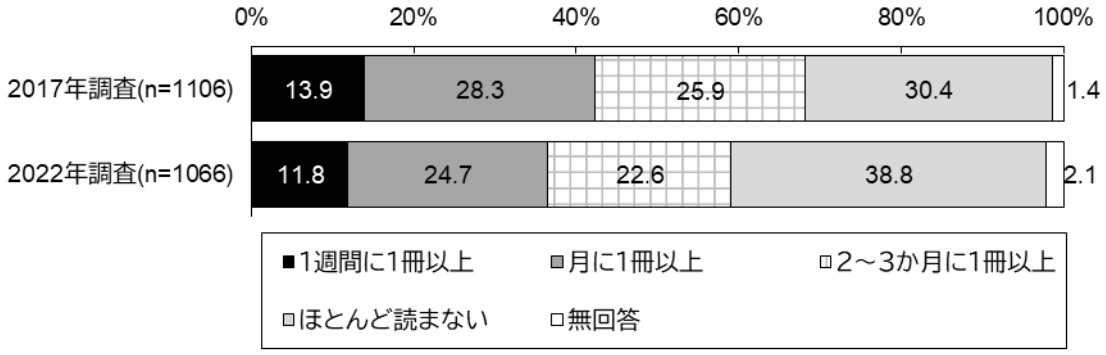
「ほとんど読まない」が 38.8%と最も高く、次いで「月に１冊以上」が 24.7%、「２～３か月に１冊以上」が 22.6%、「１週間に１冊以上」が 11.8%となっています。

2017 年実施の調査と比べると、「１週間に１冊以上」、「月に１冊以上」、「２～３か月に１冊以上」ともに低下しています。

本を読む頻度



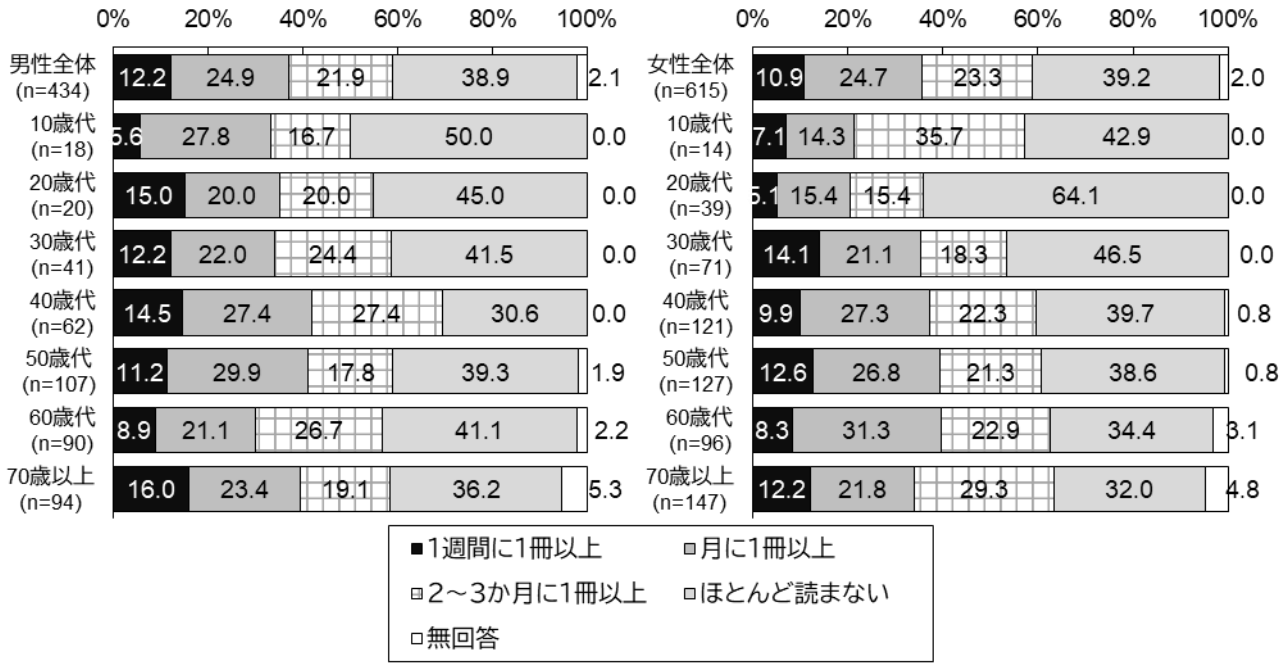
本を読む頻度（経年比較）



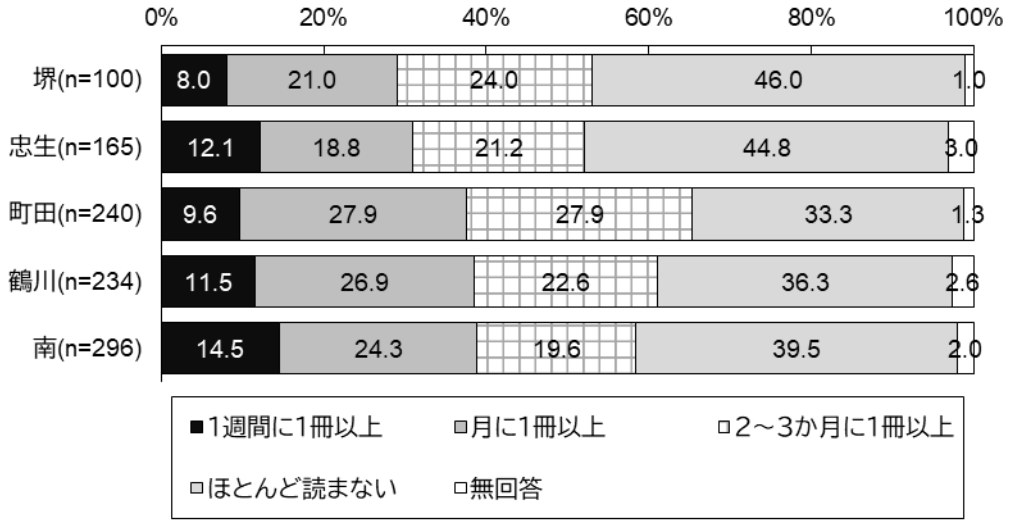
性・年齢別にみると、「１週間に１冊以上」は男性では 20 歳代、70 歳以上で高く、女性では 30 歳代、70 歳以上で高くなっています。「ほとんど読まない」は女性の 20 歳代で高くなっています。

居住地区別にみると、「１週間に１冊以上」は「南」、「忠生」で高くなっています。

性・年齢別　本を読む頻度



居住地区別　本を読む頻度

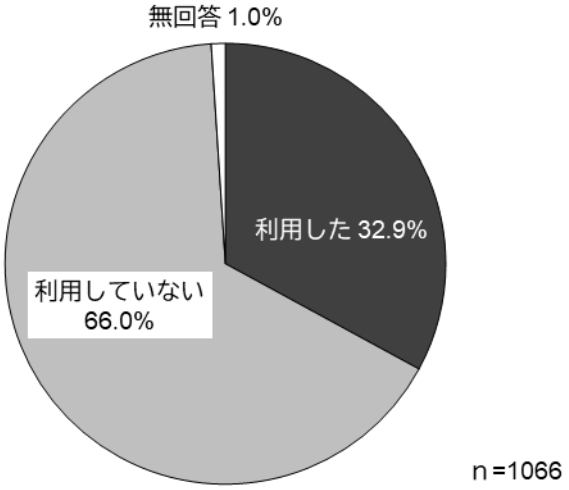


問 21　あなたは、この１年間、町田市立図書館のサービスを利用しましたか。

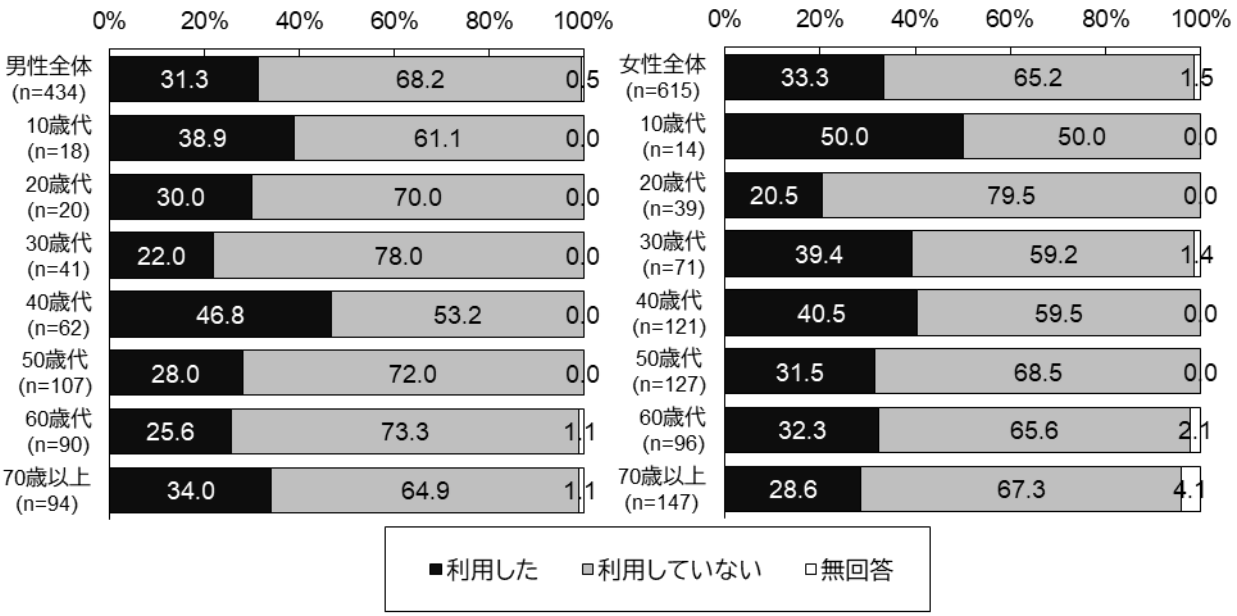
「利用した」が 32.9%、「利用していない」が 66.0%となっています。

性・年齢別にみると、「利用した」は男性では 40 歳代で高く、女性では 10 歳代、30 歳代、40 歳代で高くなっています。「利用していない」は女性の 20 歳代で高くなっています。

町田市立図書館の利用の有無



性･年齢別　町田市立図書館の利用の有無

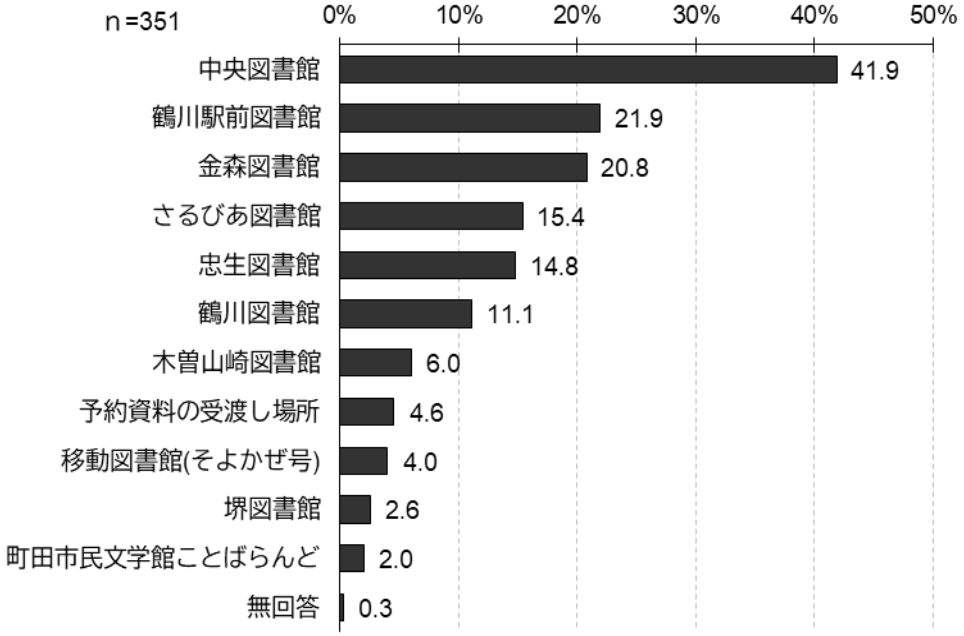


問 21 で「利用した」を選んだ方におうかがいします。

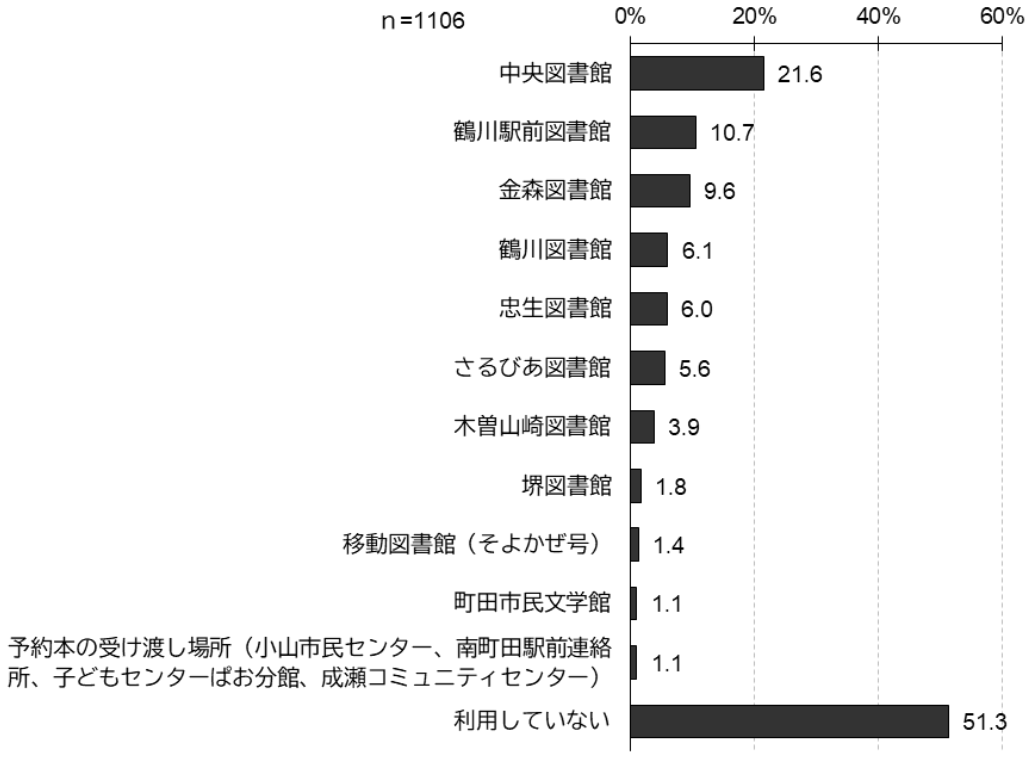
問 21－１　主にどこで利用しましたか。（複数回答）

「中央図書館」が 41.9％と最も高く、次いで「鶴川駅前図書館」が 21.9％、「金森図書館」が 20.8％、「さるびあ図書館」が 15.4％、「忠生図書館」が 14.8％となっています。

主に利用した図書館



（参考）2017 年調査　主に利用した図書館

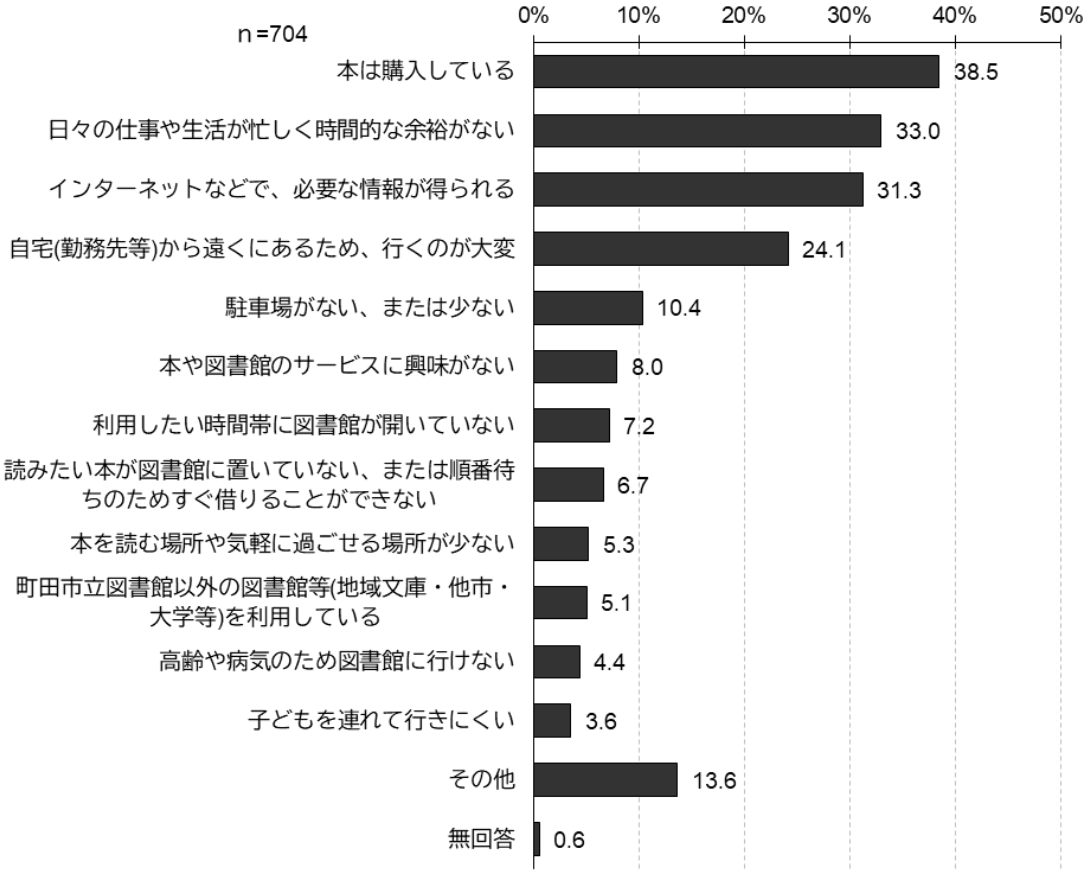


問 21 で「利用していない」を選んだ方におうかがいします。

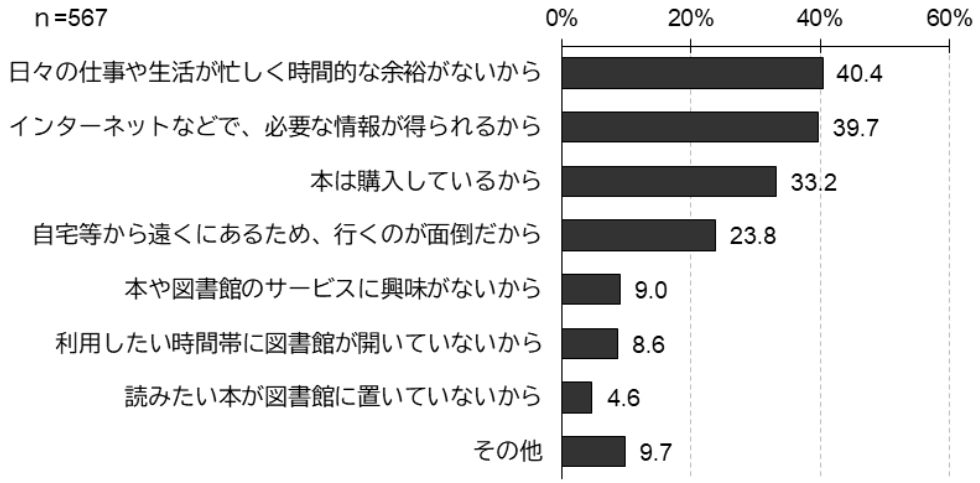
問 21－２　なぜ、図書館を利用されなかったのですか。（複数回答）

「本は購入している」が 38.5%と最も高く、次いで「日々の仕事や生活が忙しく時間的な余裕がない」が 33.0%、「インターネットなどで、必要な情報が得られる」が 31.3%、「自宅（勤務先等）から遠くにあるため、行くのが大変」が 24.1%となっています。

図書館を利用しなかった理由



(参考)2017 年調査　図書館を利用しなかった理由

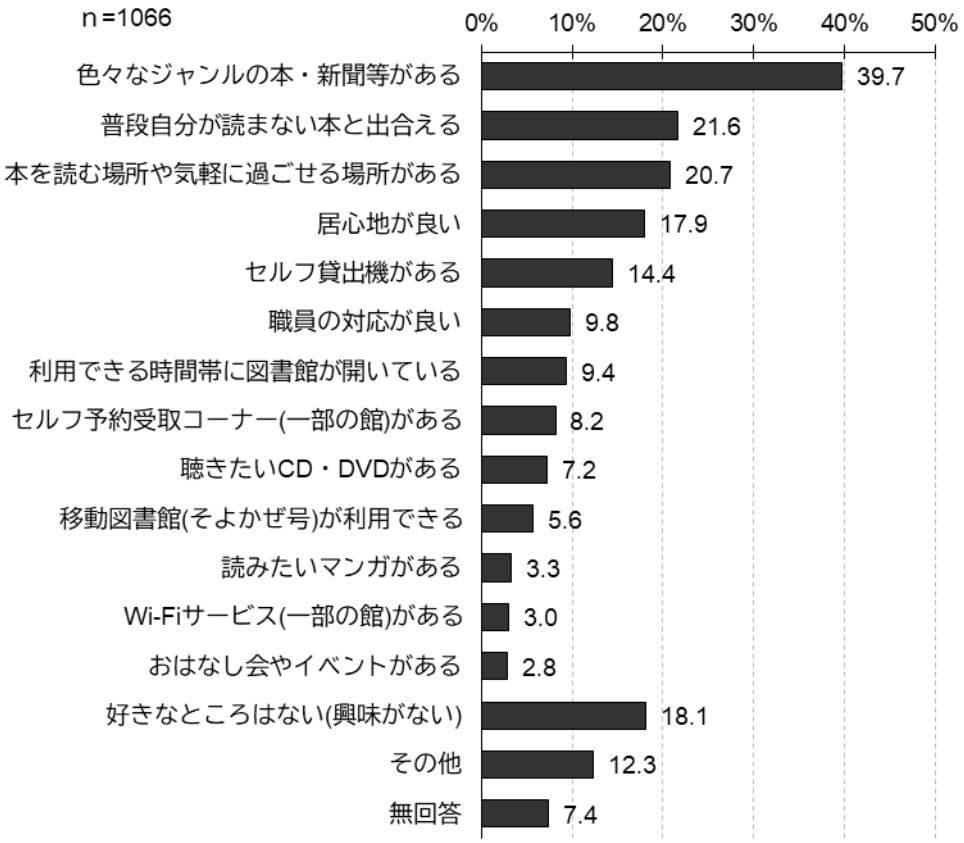


問 22　あなたが思う町田市立図書館の好きなところは、どんなところですか。（複数回答）

「色々なジャンルの本・新聞等がある」が 39.7%と最も高く、次いで「普段自分が読まない本と出合える」が 21.6%、「本を読む場所や気軽に過ごせる場所がある」が 20.7%、「居心地が良い」が 17.9%となっています。

また、「好きなところはない（興味がない）」は 18.1%となっています。

図書館の好きなところ

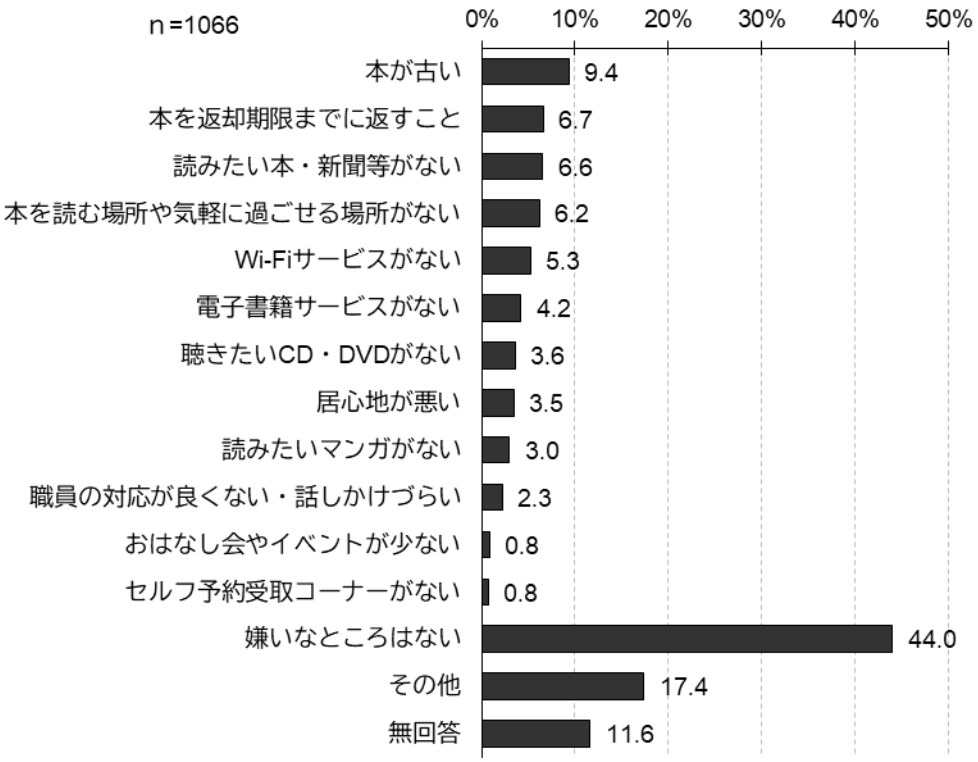


問 23　あなたが思う町田市立図書館の嫌いなところは、どんなところですか。（複数回答）

「本が古い」が 9.4%、「本を返却期限までに返すこと」が 6.7%、「読みたい本・新聞等がない」が 6.6%、「本を読む場所や気軽に過ごせる場所がない」が 6.2%となっています。

また、「嫌いなところはない」は 44.0%、「その他」は 17.4%で、内容は「行ったことがないのでわからない」、「近くにない」、「閉館時間が早い」などが多くなっています。

図書館の嫌いなところ

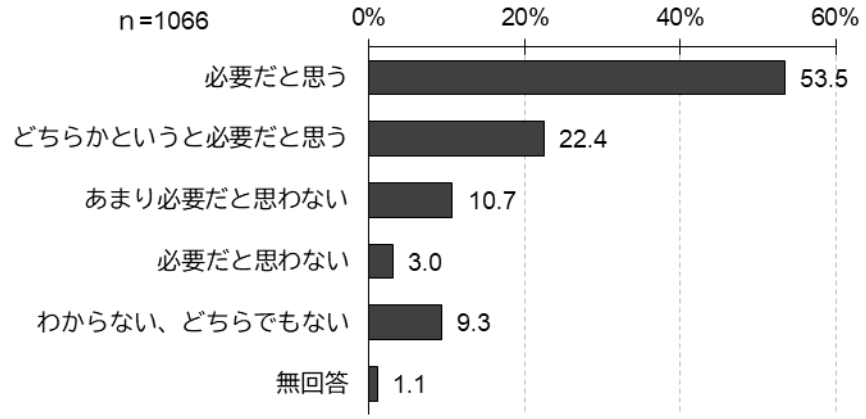


問 24　あなたの生活で、図書館は必要だと思いますか。

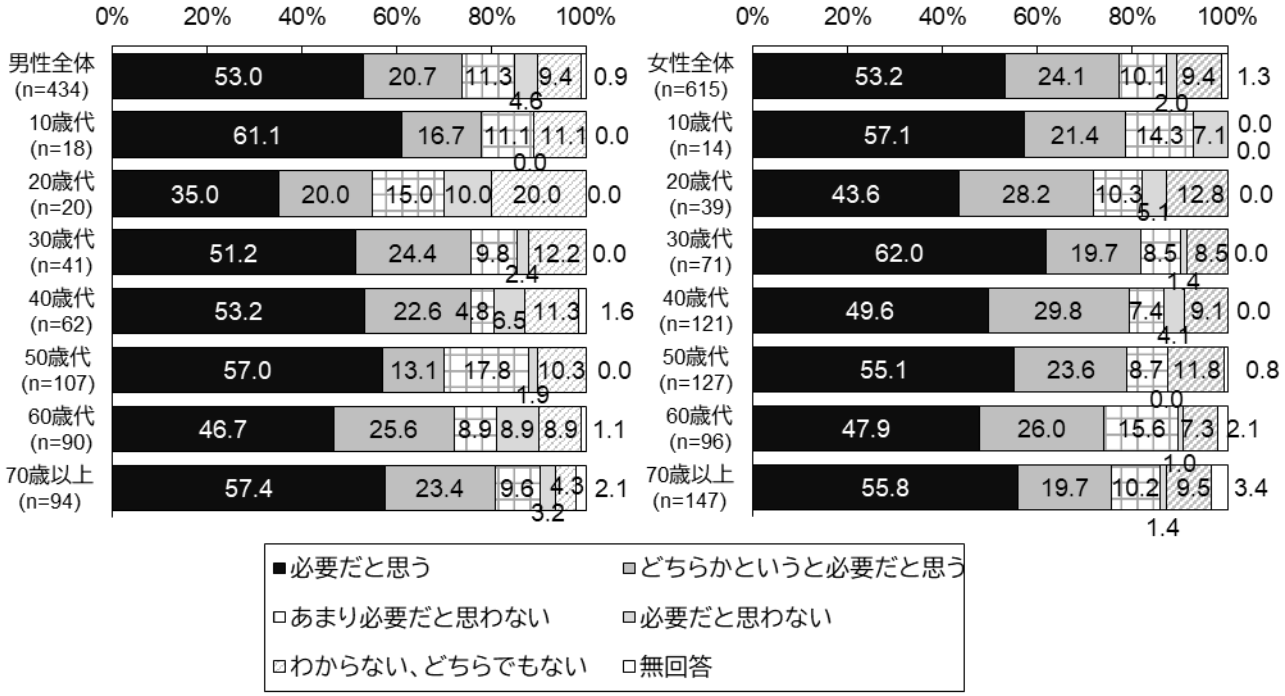
「必要だと思う」が 53.5%と最も高く、次いで「どちらかというと必要だと思う」が 22.4%、「あまり必要だと思わない」が 10.7%、「わからない、どちらでもない」が 9.3%、「必要だと思わない」が 3.0%となっています。

性・年齢別にみると、「必要だと思う」は男性では 10 歳代、50 歳代、70 歳以上で高く、女性では 30 歳代、10 歳代、70 歳以上、50 歳代で高くなっています。

生活で図書館は必要だと思うか



性･年齢別　生活で図書館は必要だと思うか

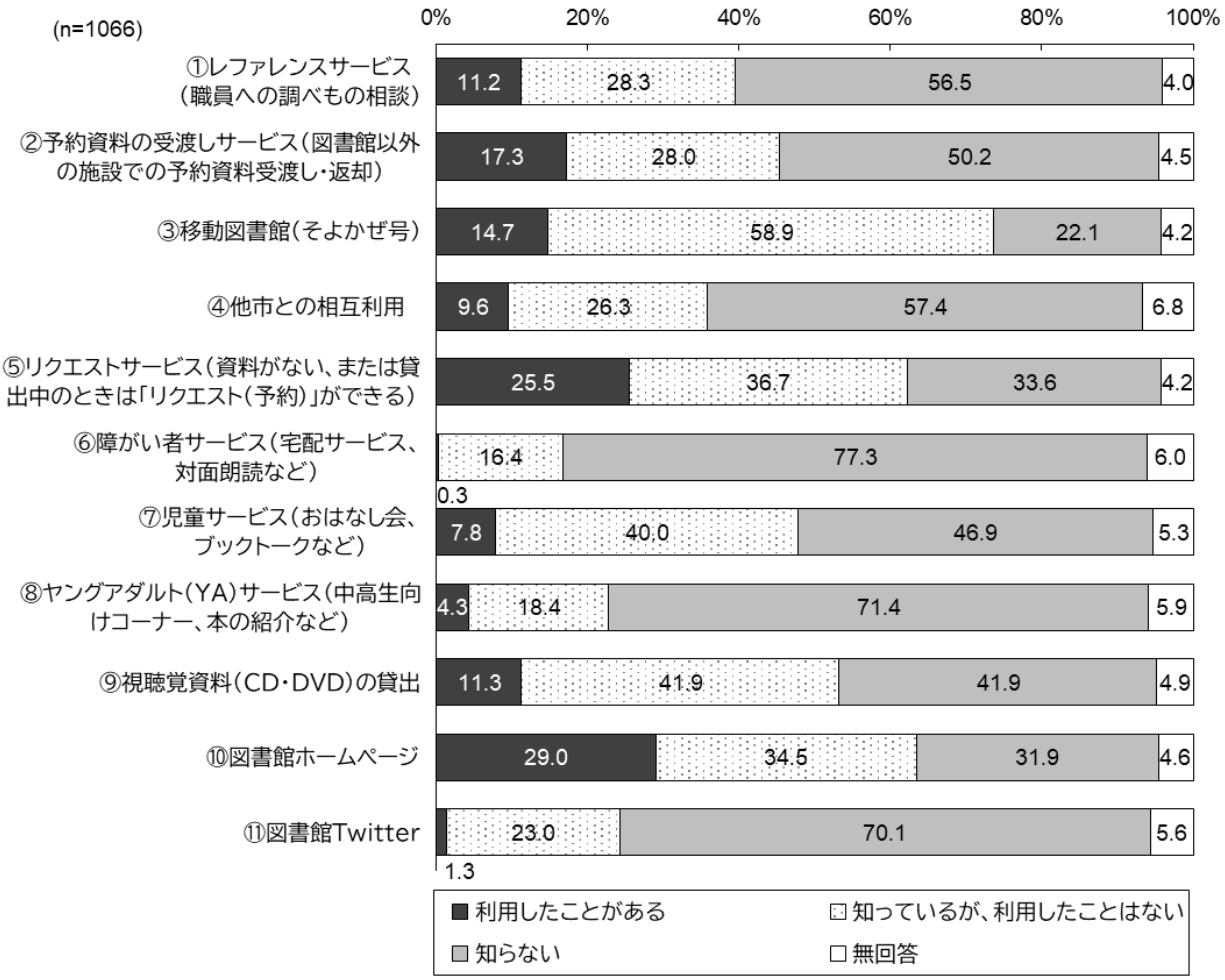


問 25　あなたは、図書館が行っているサービスについてどの程度知っていますか。
**　　また、利用したことがありますか。**

図書館が行っているサービスについて、「利用したことがある」との回答が高いものは順に⑩図書館ホームページ 29.0%、⑤リクエストサービス（資料がない、または貸出中のときは「リクエスト（予約）」ができる）25.5%、②予約資料の受渡しサービス（図書館以外の施設での予約資料受渡し・返却）17.3%となっています。

また、「知らない」との回答が高いものは順に⑥障がい者サービス（宅配サービス、対面朗読など）77.3%、⑧ヤングアダルト（YA）サービス（中高生向けコーナー、本の紹介など）71.4%、⑪図書館 Twitter 70.1%となっています。

図書館で行っているサービスの認知度

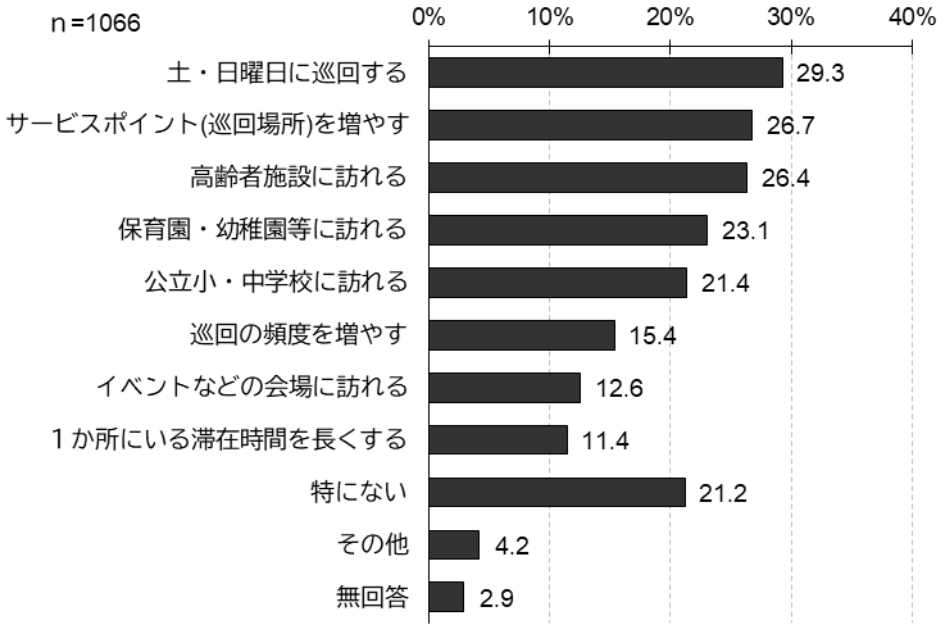


図書館の現状と今後についておうかがいします

問 26　あなたが、移動図書館の今後の取組として効果的だと思うものは何ですか。（複数回答）

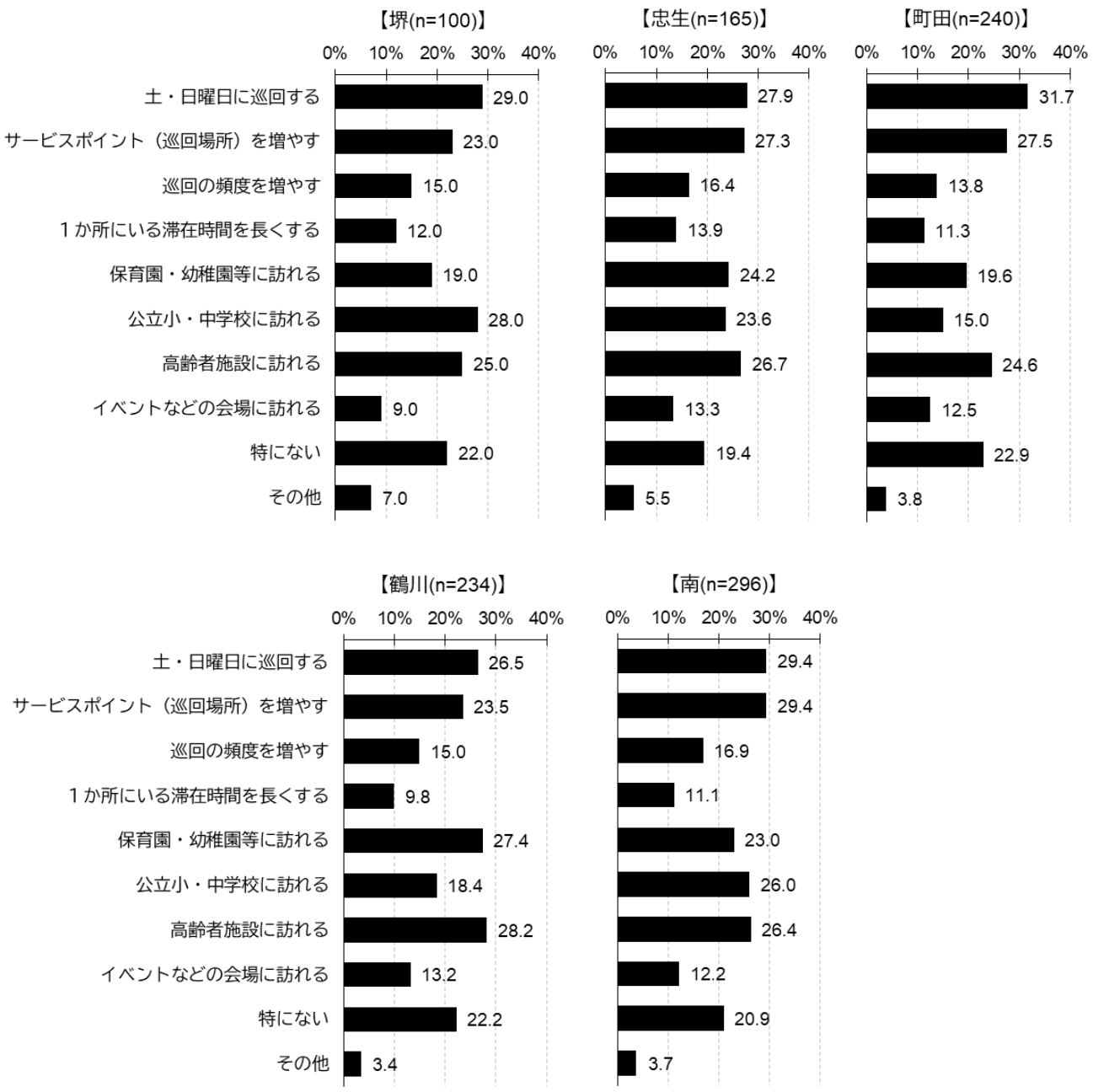
「土・日曜日に巡回する」が 29.3%と最も高く、次いで「サービスポイント（巡回場所）を増やす」が 26.7%、「高齢者施設に訪れる」が 26.4%、「保育園・幼稚園等に訪れる」が 23.1%、「公立小・中学校に訪れる」が 21.4%となっています。

移動図書館で効果的だと思う取組



居住地区別にみると、「土・日曜日に巡回する」は「町田」で高く、「サービスポイント（巡回場所）を増やす」は「南」で高くなっています。「公立小・中学校に訪れる」は「堺」、「南」で高く、「保育園・幼稚園等に訪れる」は「鶴川」、「忠生」、「南」で高くなっています。

居住地区別　移動図書館で効果的だと思う取組



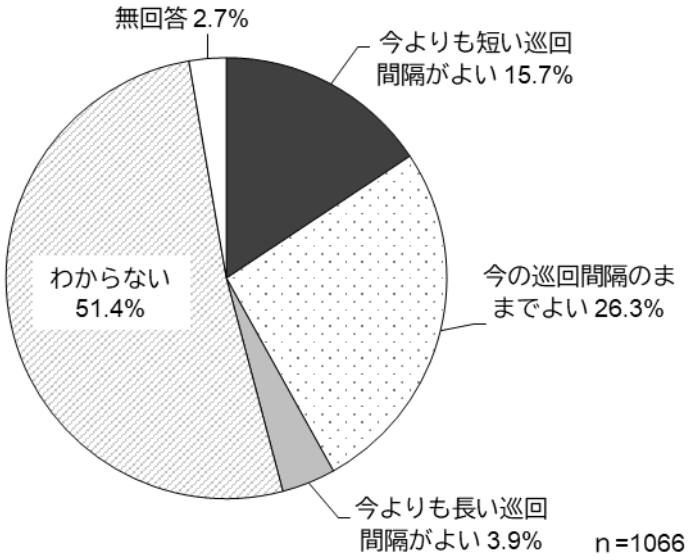
問 27　移動図書館の巡回頻度・滞在時間についてあなたの考えをおうかがいします。

①　巡回頻度（２週間に１回）

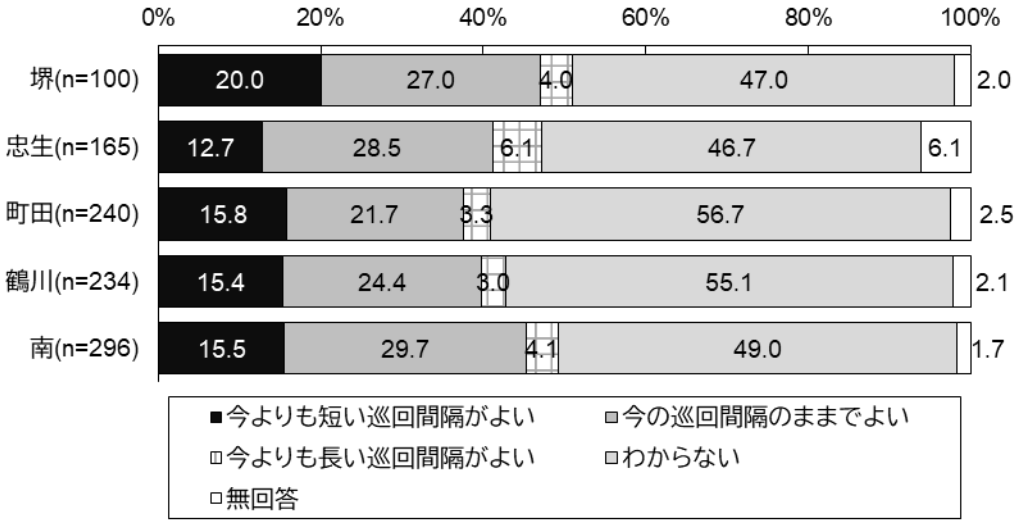
「今の巡回間隔のままでよい」が 26.3%、「今よりも短い巡回間隔がよい」が 15.7%、「今よりも長い巡回間隔がよい」が 3.9%となっています。また、「わからない」は 51.4%となっています。

居住地区別にみると、「今よりも短い巡回間隔がよい」は「堺」で高く、「今の巡回間隔のままでよい」は「南」、「忠生」で高くなっています。

移動図書館の巡回頻度についての考え



居住地区別　移動図書館の巡回頻度についての考え

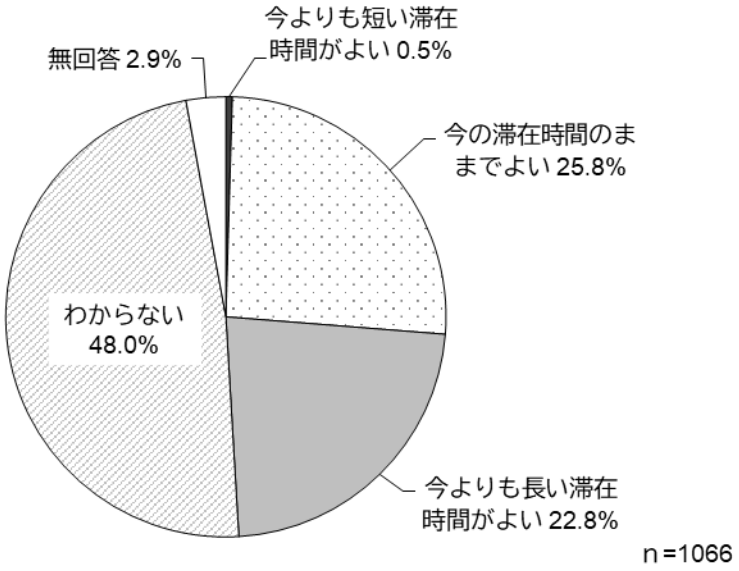


② 滞在時間（30 分から 50 分）

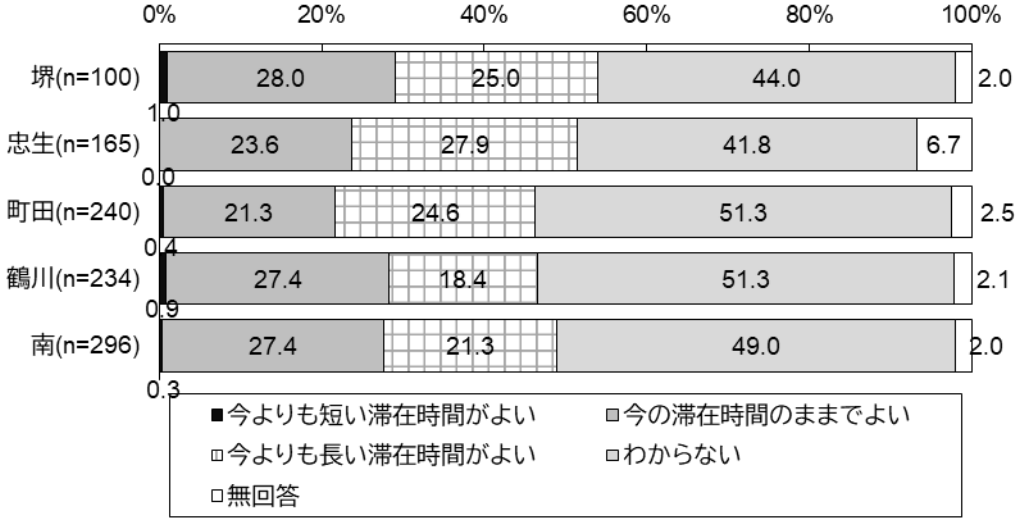
「今の滞在時間のままでよい」が 25.8%、「今よりも長い滞在時間がよい」が 22.8%、「今よりも短い滞在時間がよい」が 0.5%となっています。また、「わからない」は 48.0%となっています。

居住地区別にみると、「今よりも長い滞在時間がよい」は「忠生」で高く、「今の滞在時間のままでよい」は「堺」、「鶴川」、「南」で高くなっています。

移動図書館の滞在時間についての考え



居住地区別 移動図書館の滞在時間についての考え



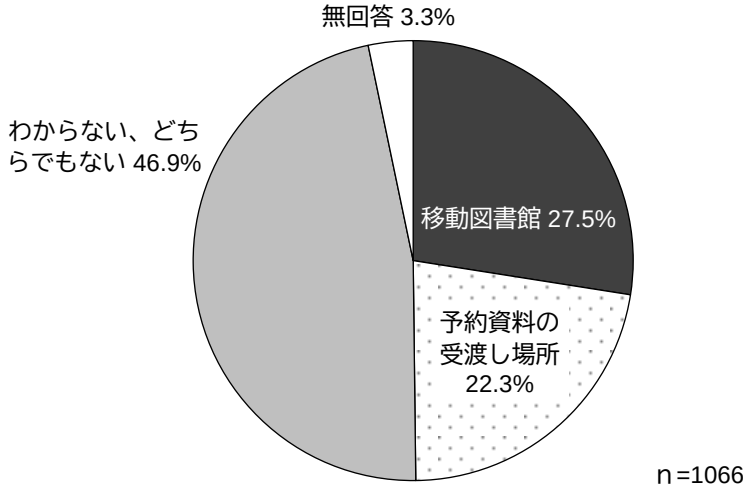
問 28　図書館から離れた場所にお住まいの方に対して、移動図書館と予約資料の受渡し場所では、どちらが効果的なサービスだと考えますか。

「移動図書館」が 27.5%、「予約資料の受渡し場所」が 22.3%となっています。

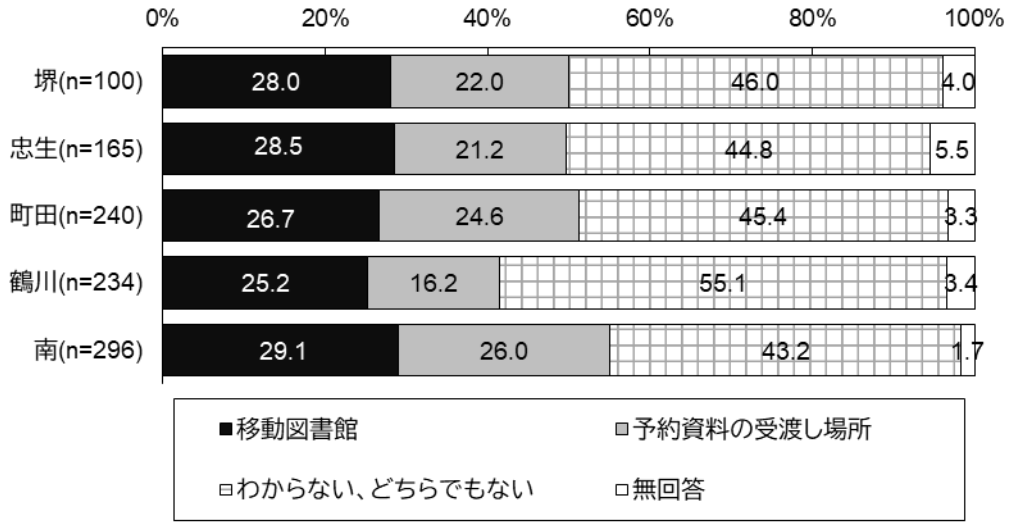
また、「わからない、どちらでもない」が 46.9%と最も高くなっています。

居住地区別にみると、「移動図書館」、「予約資料の受渡し場所」ともに「鶴川」で低くなっています。

移動図書館と予約資料の受渡し場所のどちらが効果的と考えるか



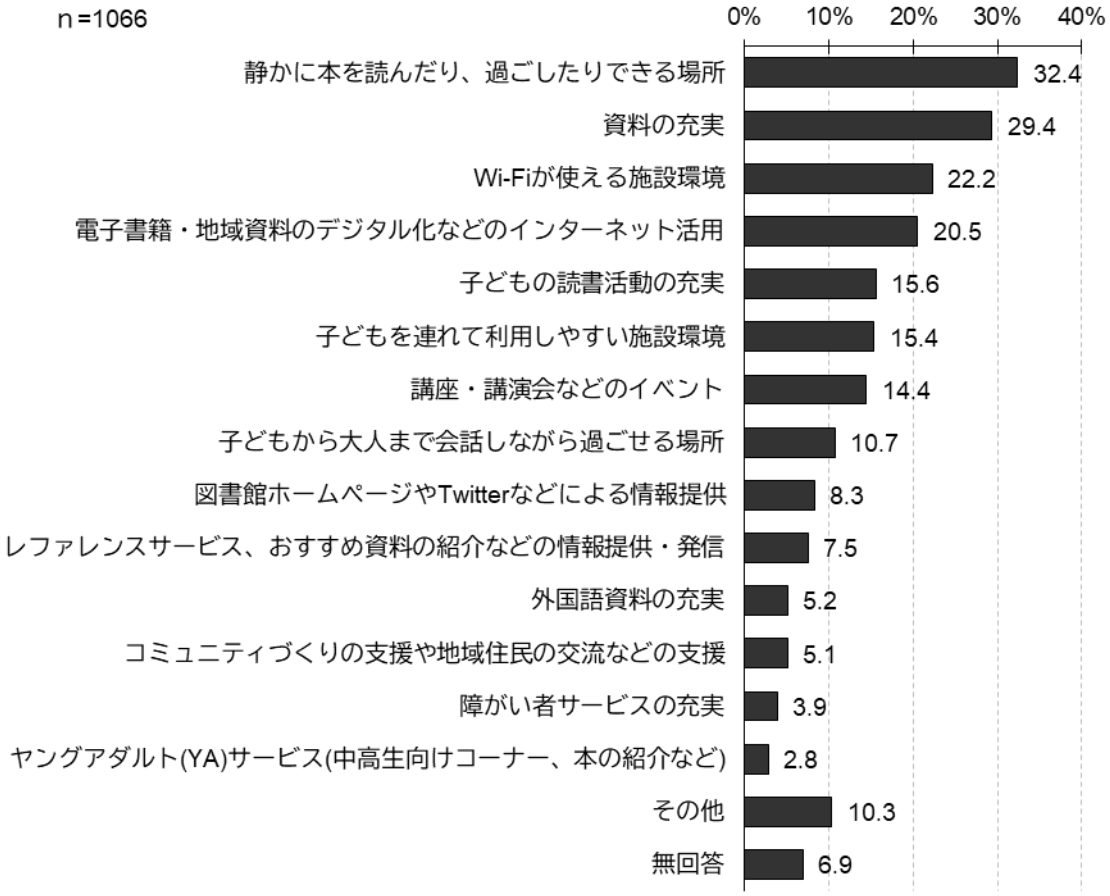
居住地区別　移動図書館と予約資料の受渡し場所のどちらが効果的と考えるか



問 29　今後、図書館で拡充してもらいたいことや、取り入れてもらいたいことは何ですか。（複数回答）

「静かに本を読んだり、過ごしたりできる場所」が 32.4%と最も高く、次いで「資料の充実」が 29.4%、「Wi-Fi が使える施設環境」が 22.2%、「電子書籍・地域資料のデジタル化などのインターネット活用」が 20.5%、「子どもの読書活動の充実」が 15.6%となっています。

図書館で取り入れてもらいたいこと

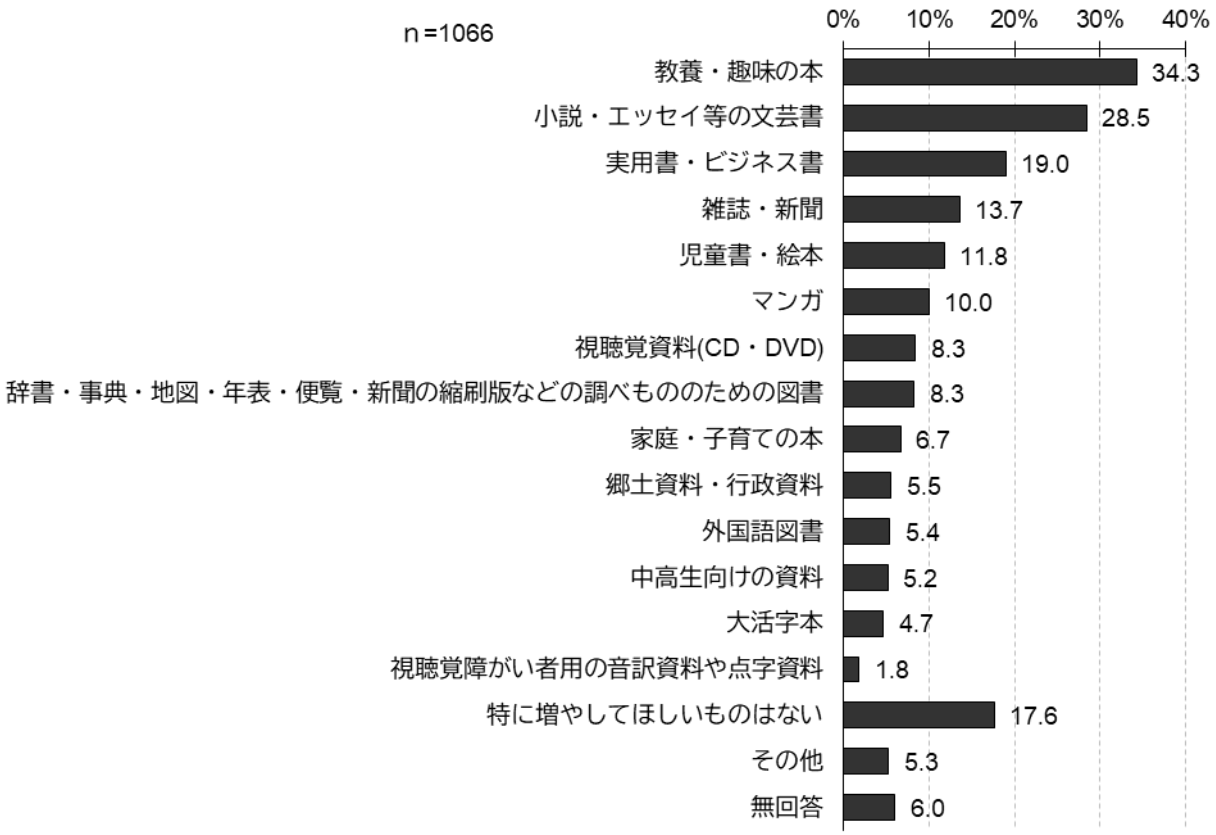


問 30　今後、充実してもらいたい蔵書・資料は何ですか。（複数回答）

「教養・趣味の本」が 34.3%と最も高く、次いで「小説・エッセイ等の文芸書」が 28.5%、「実用書・ビジネス書」が 19.0%、「雑誌・新聞」が 13.7%となっています。

また、「特に増やしてほしいものはない」は 17.6%となっています。

図書館で充実してもらいたい蔵書･資料



問 31　あなたが図書館を利用したい曜日と時間帯はいつですか。

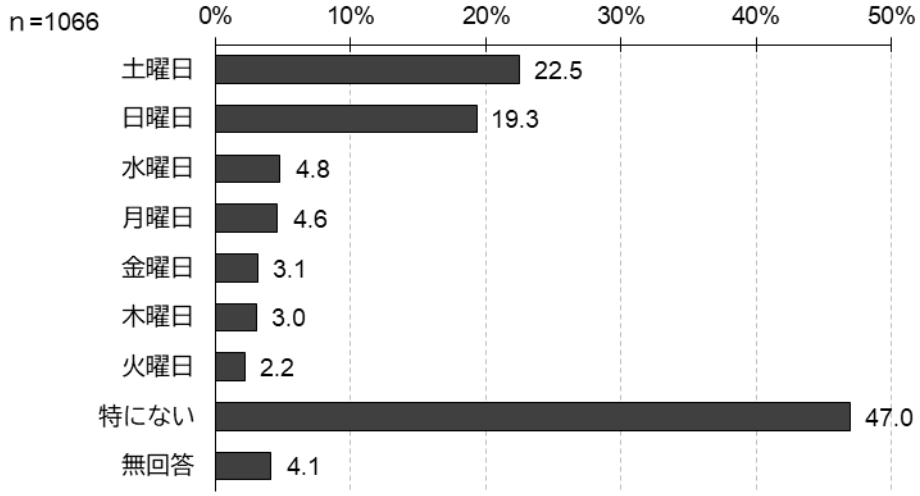
（下記の選択肢は、現在の開館曜日・時間とは異なります。）

① 曜日

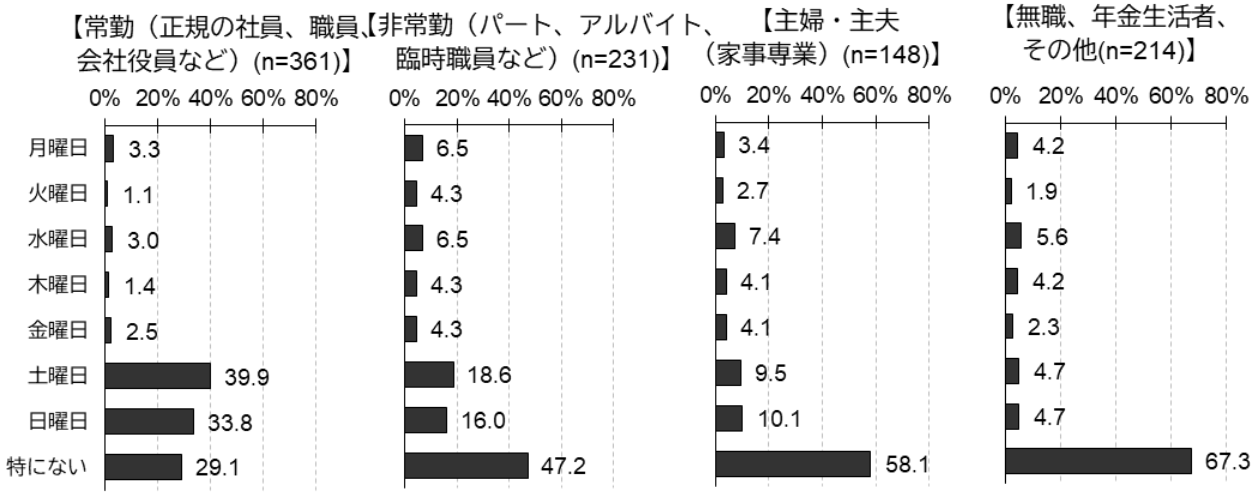
「土曜日」が 22.5%、「日曜日」が 19.3%、「水曜日」が 4.8%、「月曜日」が 4.6%となっています。また、「特にない」は 47.0%となっています。

就業状況別にみると、「土曜日」、「日曜日」は「常勤（正規の社員、職員、会社役員など）」で高くなっています。

図書館を利用したい曜日



就業状況別 図書館を利用したい曜日

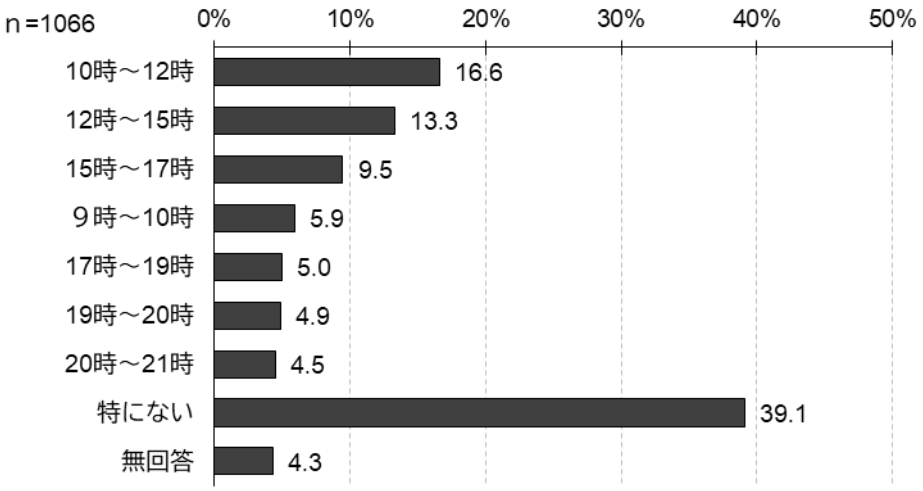


② 時間帯

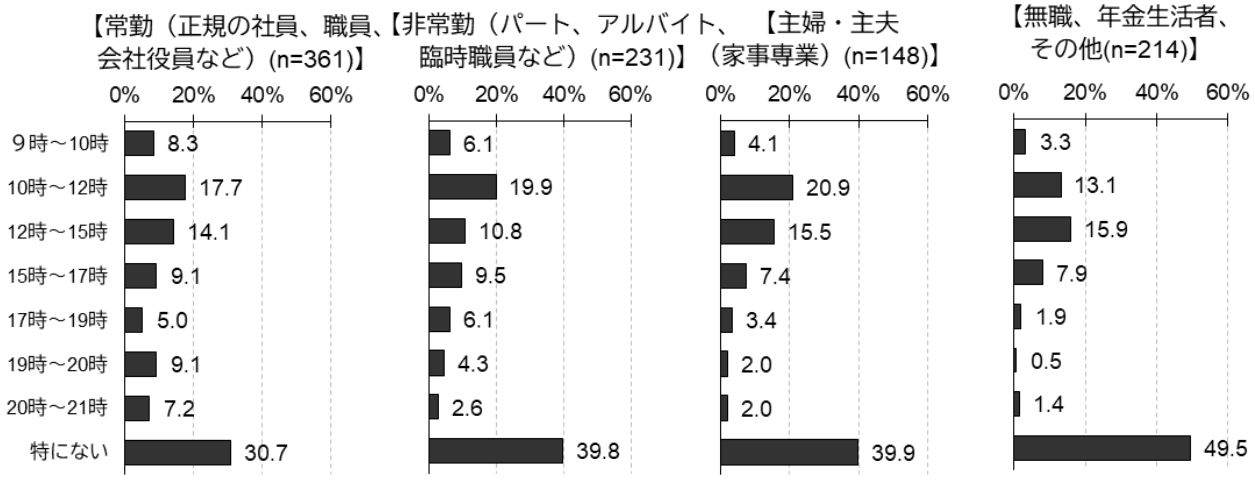
「10 時～12 時」が 16.6%、「12 時～15 時」が 13.3%、「15 時～17 時」が 9.5%、「９時～10 時」が 5.9%となっています。また「特にない」は 39.1%となっています。

就業状況別にみると、「19 時～20 時」、「20 時～21 時」は「常勤（正規の社員、職員、会社役員など)」で高くなっています。「10 時～12 時」は「非常勤（パート、アルバイト、臨時職員など)」、「主婦・主夫（家事専業)」で高くなっています。

図書館を利用したい時間帯



就業状況別 図書館を利用したい時間帯

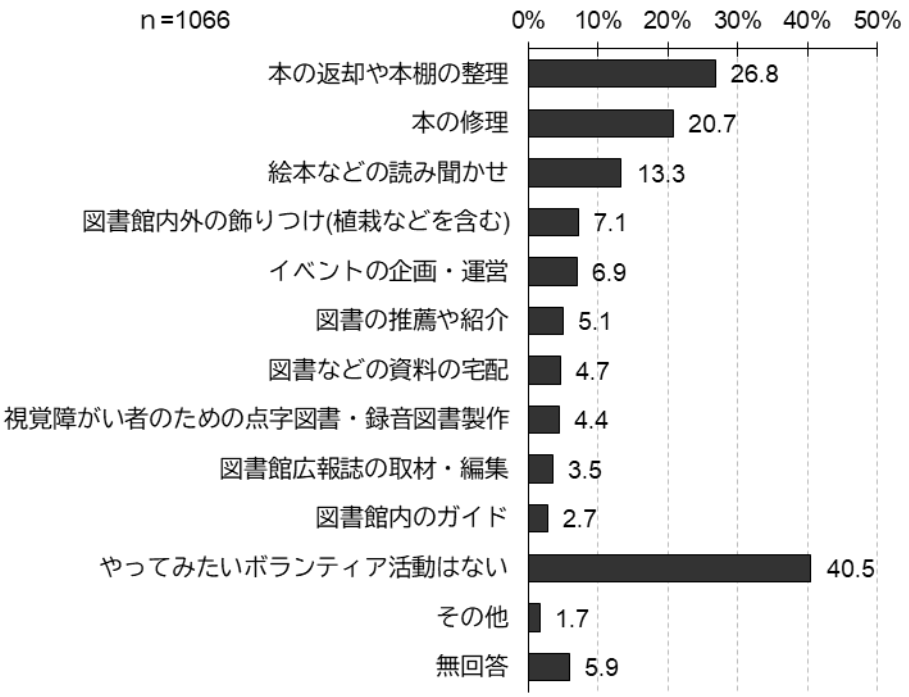


問 32　あなたがやってみたいと思うボランティア活動の内容を教えてください。(複数回答)

「本の返却や本棚の整理」が 26.8%、「本の修理」が 20.7%、「絵本などの読み聞かせ」が 13.3%、「図書館内外の飾りつけ（植栽などを含む)」が 7.1%となっています。

また「やってみたいボランティア活動はない」が 40.5%となっています。

やってみたいボランティア活動の内容



図書館のデジタル化についておうかがいします

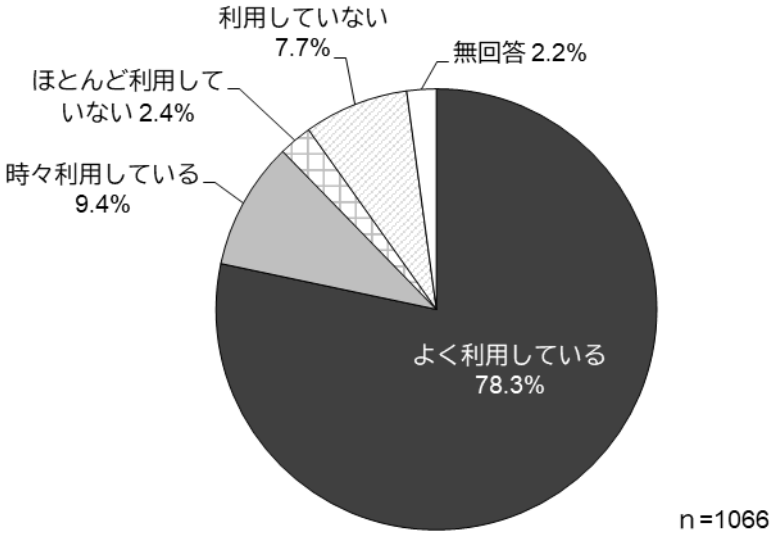
問 33　情報通信機器の利用についておうかがいします。

あなたは、スマートフォンやタブレットを利用していますか。

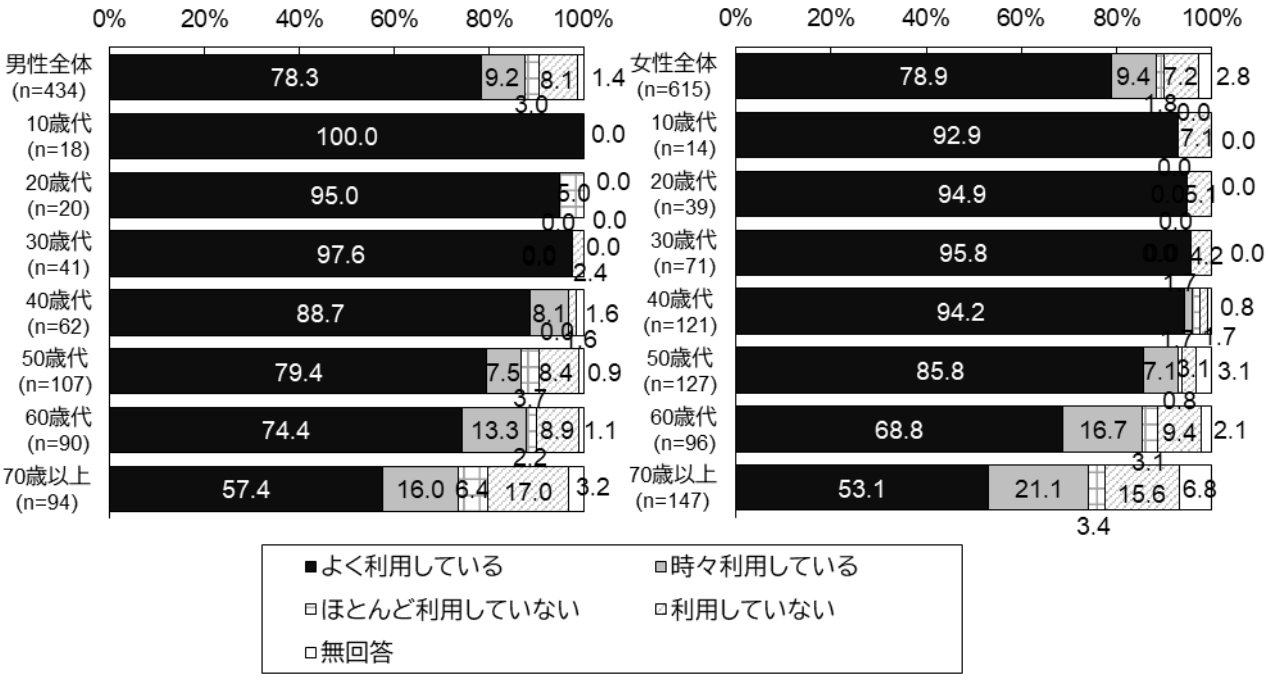
「よく利用している」が 78.3%と最も高く、次いで「時々利用している」が 9.4%、「利用していない」が 7.7%、「ほとんど利用していない」が 2.4%となっています。

性・年齢別にみると、男性では「よく利用している」は 10 歳代、20 歳代、30 歳代で 9 割以上、女性では「よく利用している」は 10 歳代、20 歳代、30 歳代、40 歳代で 9 割以上となっています。

スマートフォンやタブレットの利用状況



性・年齢別　スマートフォンやタブレットの利用状況

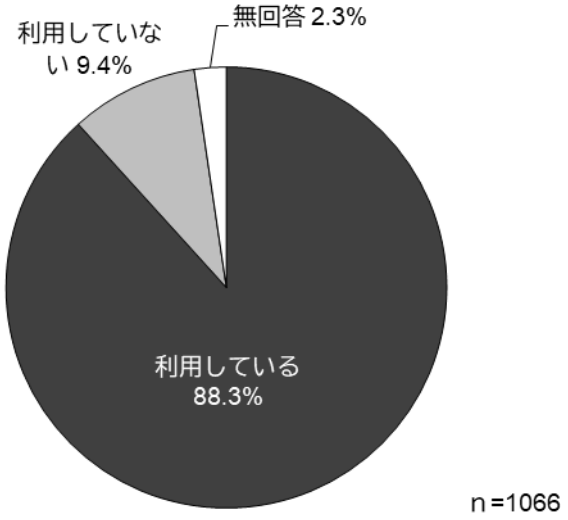


問 34　あなたは、インターネットを利用していますか。

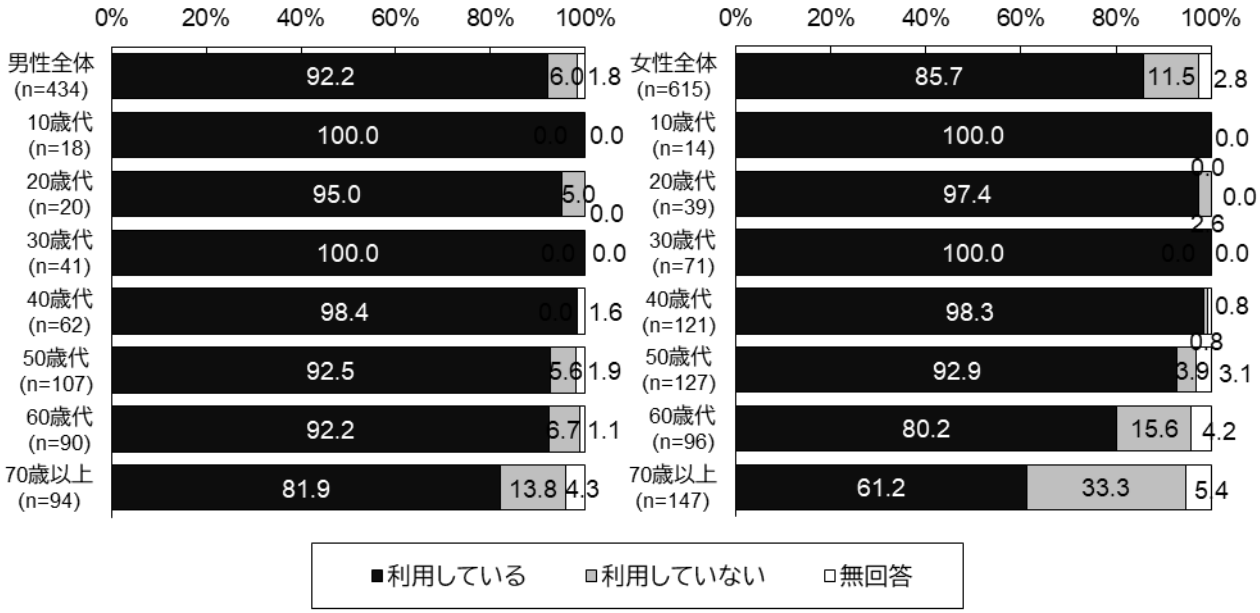
「利用している」が 88.3%、「利用していない」が 9.4%となっています。

性・年齢別にみると、男性では「利用している」は 70 歳以上を除いた年齢で９割以上、女性では 60 歳代、70 歳以上を除いた年齢で９割以上となっています。

インターネットの利用状況



性･年齢別　スマートフォンやタブレットの利用状況

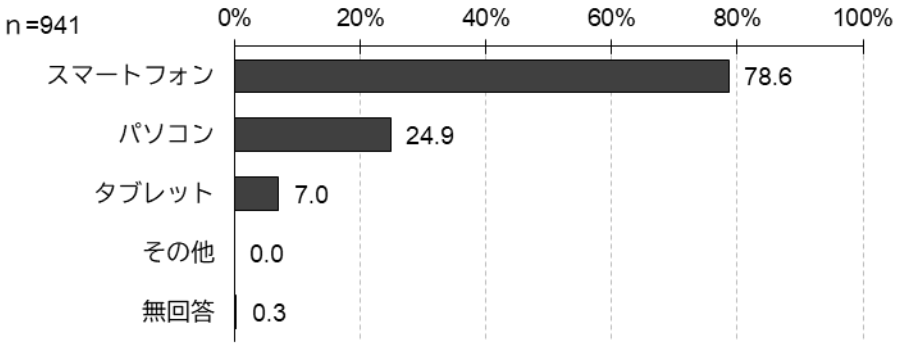


問 34 で「利用している」を選んだ方におうかがいします。

問 34－１　あなたは、主に何を利用して閲覧していますか。（複数回答）

「スマートフォン」が 78.6%と最も高く、次いで「パソコン」が 24.9%、「タブレット」が 7.0%となっています。

インターネットの閲覧手段

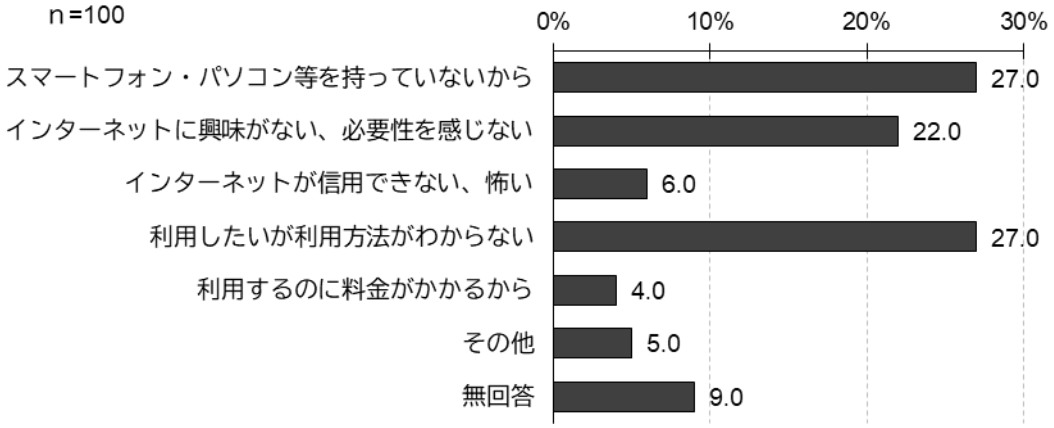


問 34 で「利用していない」を選んだ方におうかがいします。

問 34－２　なぜ、「利用していない」のですか。

「スマートフォン・パソコン等を持っていないから」及び「利用したいが利用方法がわからない」が 27.0%、「インターネットに興味がない、必要性を感じない」が 22.0%、「インターネットが信用できない、怖い」が 6.0%となっています。

インターネットを利用していない理由

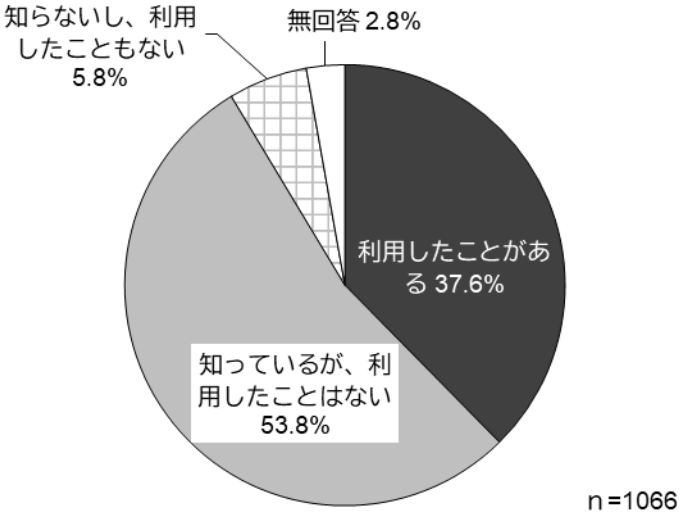


問 35　あなたは、電子書籍を知っていますか。また、利用したことはありますか。

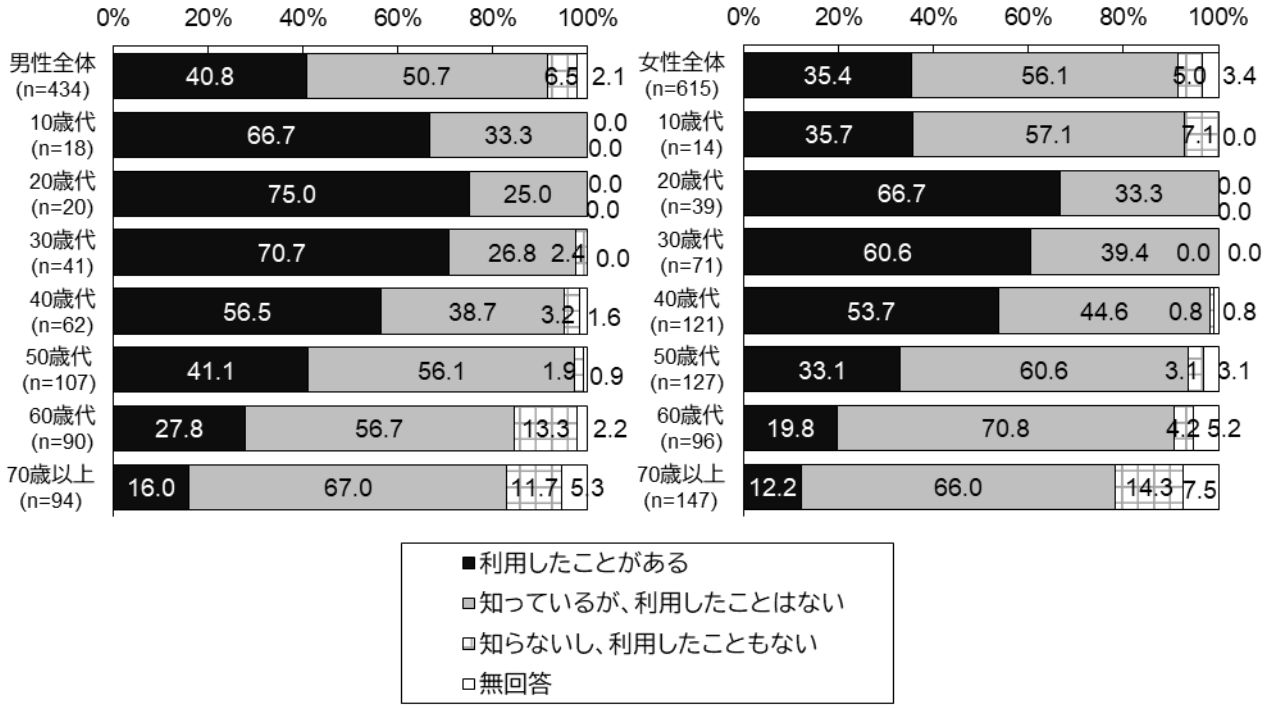
「知っているが、利用したことはない」が 53.8%と最も高く、次いで「利用したことがある」が 37.6%、「知らないし、利用したこともない」が 5.8%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに「利用したことがある」は 20 歳代、30 歳代で高くなっています。

電子書籍の認知度･利用状況



性･年齢別　電子書籍の認知度･利用状況

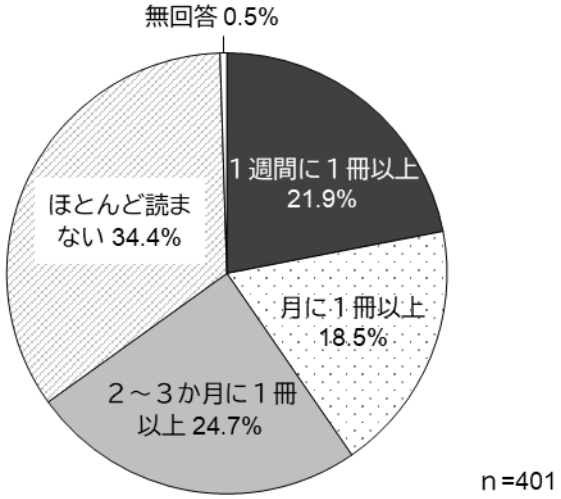


問 35 で「利用したことがある」を選んだ方におうかがいします。

問 35-１　電子書籍をどれぐらいの頻度で読みますか。

「ほとんど読まない」が 34.4%と最も高く、次いで「２～３か月に１冊以上」が 24.7%、「１週間に１冊以上」が 21.9%、「月に１冊以上」が 18.5%となっています。

電子書籍の利用頻度

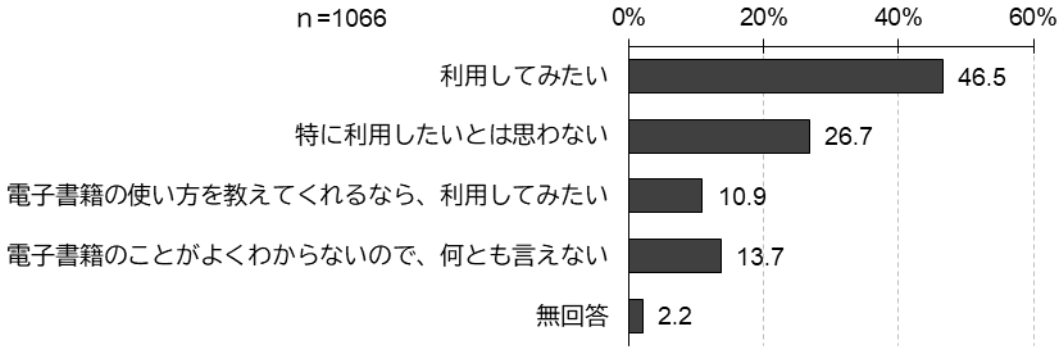


問 36　町田市立図書館では、電子書籍サービスを導入予定ですが利用してみたいですか。

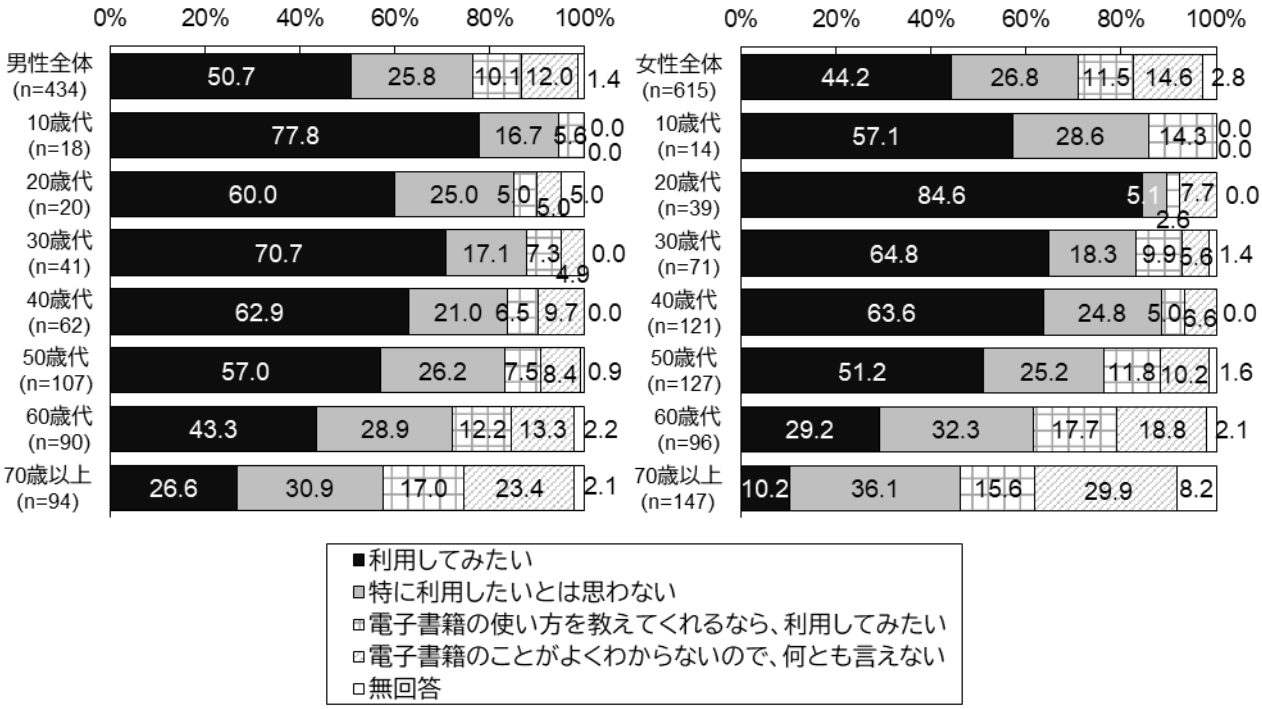
「利用してみたい」が 46.5%と最も高く、次いで「特に利用したいとは思わない」が 26.7%、「電子書籍のことがよくわからないので、何とも言えない」が 13.7%、「電子書籍の使い方を教えてくれるなら、利用してみたい」が 10.9%となっています。

性・年齢別にみると、「利用してみたい」は男性では 10 歳代、30 歳代で高く、女性では 20 歳代、30 歳代、40 歳代で高くなっています。

町田市立図書館での電子書籍サービスの利用意向



性・年齢別　町田市立図書館での電子書籍サービスの利用意向

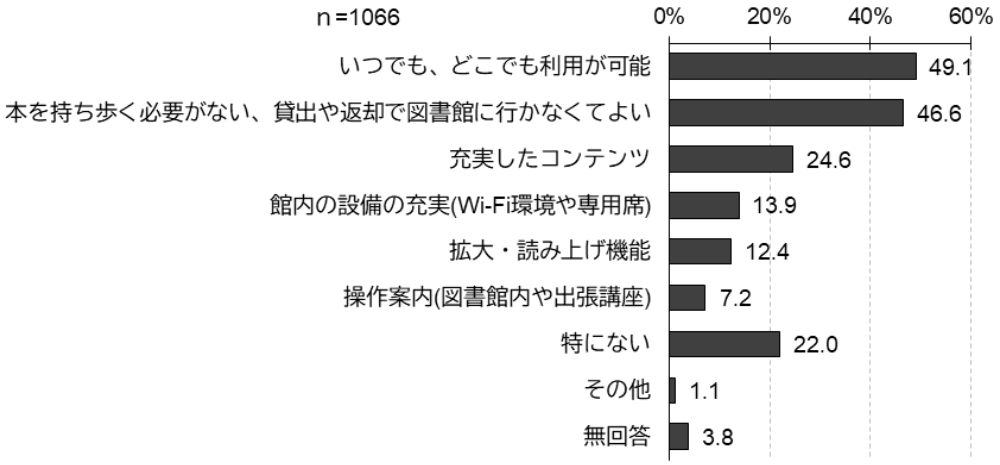


問 37　あなたが町田市立図書館の電子書籍サービスに求めることは何ですか。（複数回答）

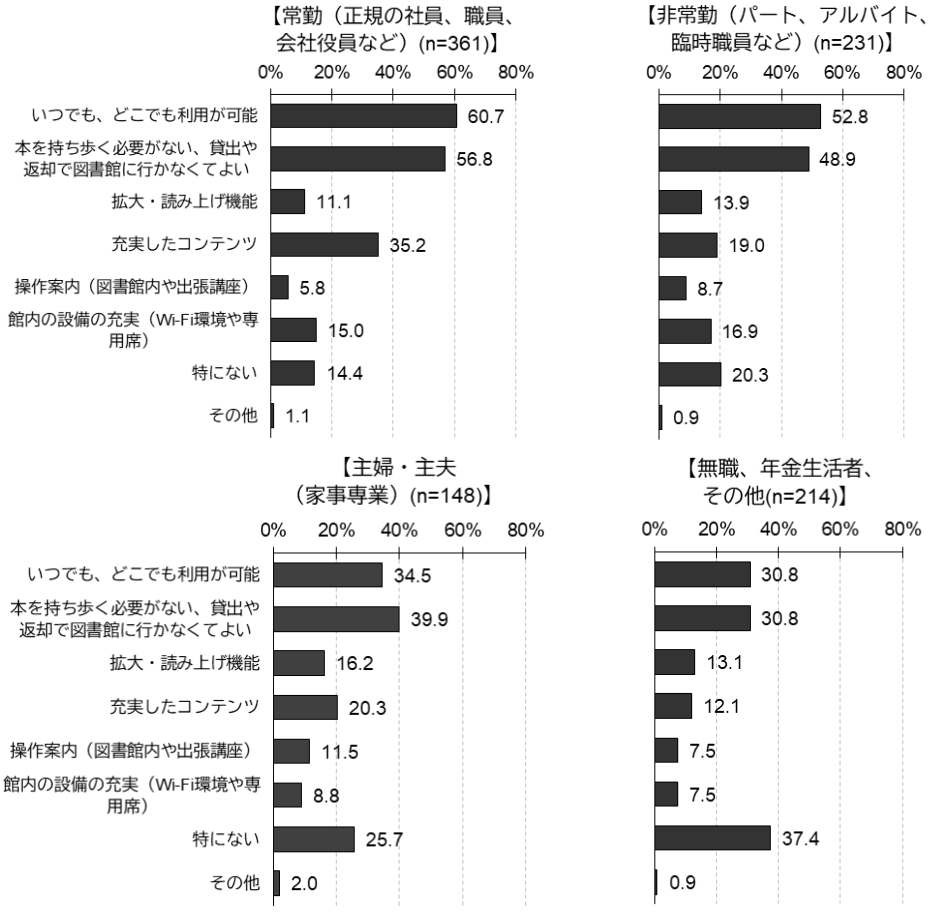
「いつでも、どこでも利用が可能」が 49.1%と最も高く、次いで「本を持ち歩く必要がない、貸出や返却で図書館に行かなくてよい」が 46.6%、「充実したコンテンツ」が 24.6%「館内の設備の充実（Wi-Fi 環境や専用席）」が 13.9%となっています。「特にない」は 22.0%となっています。

就業状況別にみると、「いつでも、どこでも利用が可能」、「本を持ち歩く必要がない、貸出や返却で図書館に行かなくてよい」は「常勤」、「非常勤」で高くなっています。

町田市立図書館の電子書籍サービスに求めること



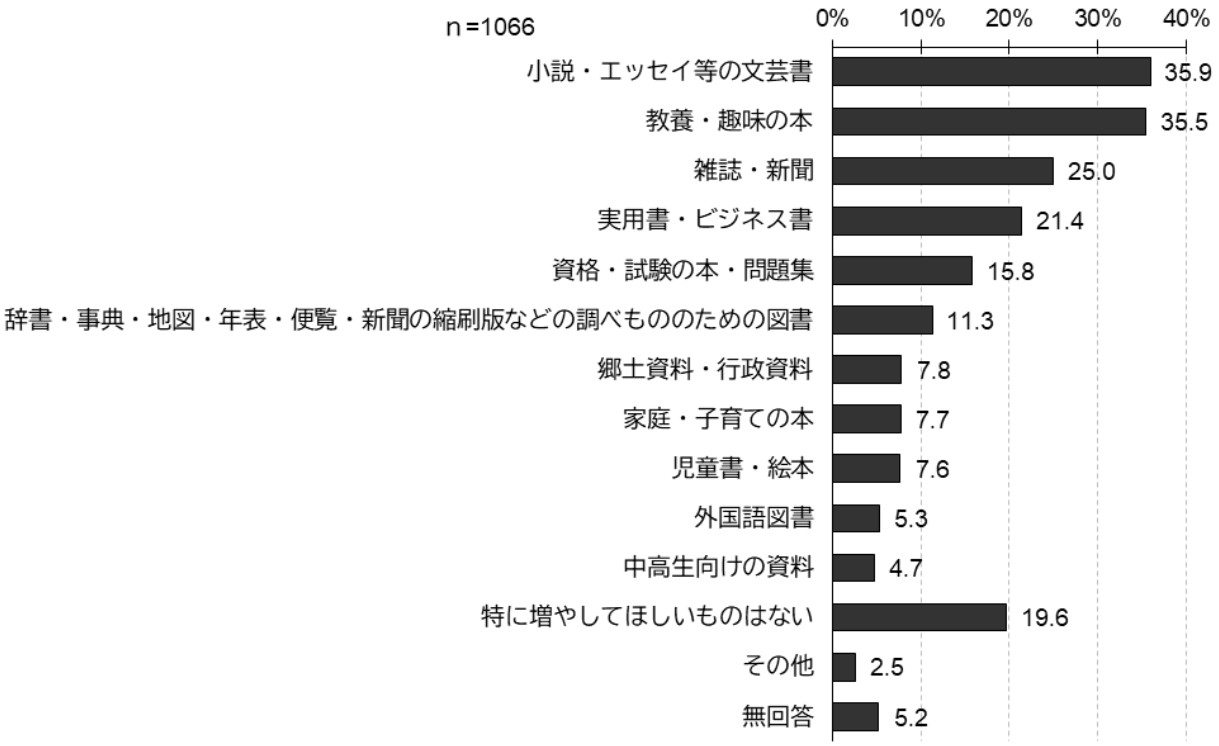
就業状況別　町田市立図書館の電子書籍サービスに求めること



問 38　あなたが町田市立図書館の電子書籍であったらいいと思う資料は何ですか。（複数回答）

「小説・エッセイ等の文芸書」が 35.9%と最も高く、次いで「教養・趣味の本」が 35.5%、「雑誌・新聞」が 25.0%、「実用書・ビジネス書」が 21.4%となっています。また、「特に増やしてほしいものはない」は 19.6%となっています。

町田市立図書館の電子書籍サービスに求める資料



「推し本を伝えよう！ひとこと POP コンテスト２０２２」（経過報告）

１　はじめに

２０２２年１１月１５日から２０２３年1月１０日まで「推し本を伝えよう！ひとこと POP コンテスト２０２２」を開催いたしました。

審査投票は、第１次審査・第２次審査に分けて行いました。現在第２次審査投票結果の集計を行っております。

以下、その経過並びに現時点での審査結果を報告いたします。

２　募集要項

応募期間	２０２２年１１月１５日（火）から２０２３年1月１０日（火）
応募資格	町田市在住・在学または相互利用市在住の小学校 4 年生から 18 歳の方
主催	町田市立図書館
協力（書店）	（株）久美堂本店、（株）有隣堂町田モディ店、TSUTAYA 町田木曽店
協力（地域文庫）	おひさま文庫、かえで文庫、柿の木文庫、すずかけ文庫、 玉ちゃん図書室、みつばち文庫

３　応募状況

応募総数　９０作品

内訳：小学生　６４作品、中学生　５作品、高校生　２１作品

４　第１次審査投票について

投票期間：２０２３年1月１３日（金）から１７日（火）

審査方法：図書館職員１９名

５　第２次審査投票について

投票期間：２０２３年1月２５日（水）から2月５日（日）

審査方法：図書館来館者、書店（久美堂本店、有隣堂町田モディ店、TSUTAYA 町田木曽店）の来店者、地域文庫運営（おひさま文庫、かえで文庫、柿の木文庫、すずかけ文庫、玉ちゃん図書室、みつばち文庫）の方によるシール投票

６　第２次審査選考作品

別紙１をご覧ください

７　今後のスケジュール

・３月下旬に表彰式を開催予定

・４月上旬にしおりを市内各所に配布予定

「推し本を伝えよう！ひとこと POP コンテスト２０２２」第２次審査選考９作品

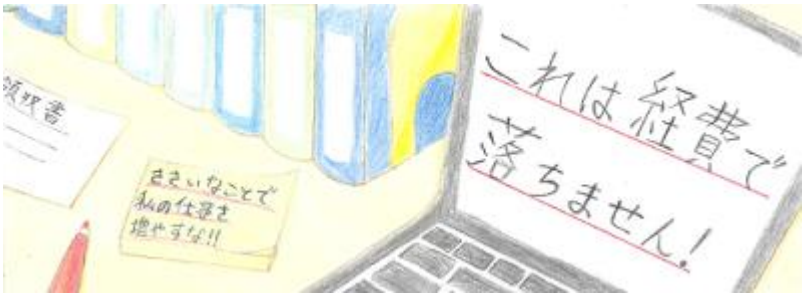
１　つるばら村のパン屋さん

２　ひらいて

３　しっぽをなくしたイルカ

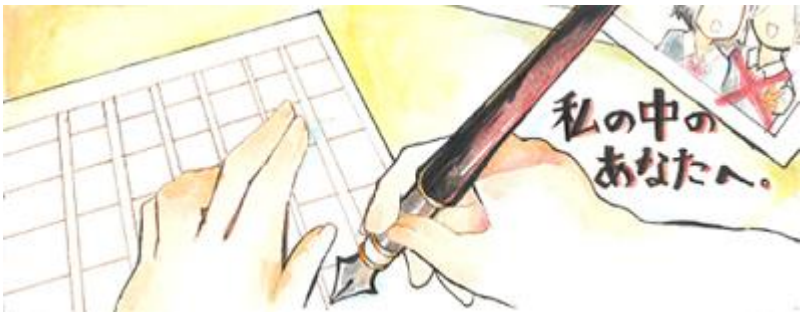
４　人間失格

５　これは経費で落ちません！



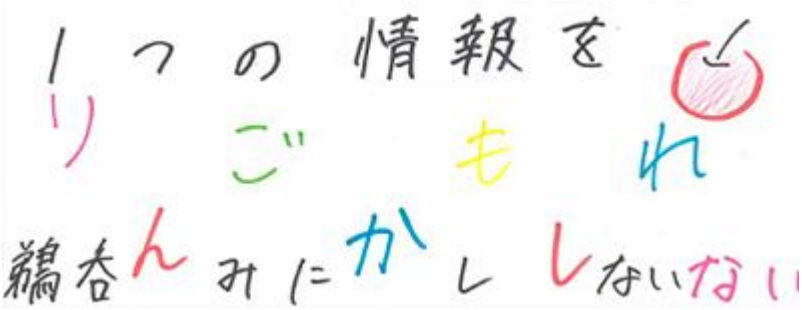
６　飼育員さんのすごいこたえ

７　ふたり



８　僕と君の 365 日

９　りんごかもしれない



「ことばらんどショートショートコンクール 2022」
の実施報告について

1997 年から町田市で実施してきた「ひなた村創作童話コンクール」を町田市民文学館ことばらんどで引き継ぎ、2021 年度から、自由な発想や創造力を存分に発揮できるショートショートの文学賞にリニューアルいたしました。

第 2 回目となる今回は、市内在住・在学の小・中・高生の皆さんから個性あふれる 887 作品のご応募をいただきました。

このたび、受賞者の決定、表彰式の実施をしましたので報告します。

記

１　応募状況

応募総数　887 作品

内訳：小学生　411 作品、中学生　386 作品、高校生　90 作品

２　審査員

審査員長　田丸雅智（ショートショート作家）

審査員　　KEN THE 390（町田市出身ラッパー）

藤岡みなみ（エッセイスト／ラジオパーソナリティ）

３　審査

（１）第 1 次審査（10 月 10 日～10 月 30 日）

事務局職員により実施。

小学校 30 編、中学校 30 編、高等学校 15 編が審査通過。

（２）第 2 次審査（11 月 7 日～12 月 9 日）

審査員により実施。

４　受賞者および受賞作品

■小学生の部

（１）市長賞

伊賀陽一「カメムシそう理大臣」（町田市立つくし野小学校　3 年）

（２）教育長賞

髙山想真「僕らとリスの五日間小戦争」（町田市立藤の台小学校　6 年）

（３）東京町田・中ロータリークラブ会長賞

原彩七「氷細工」（町田市立南第三小学校　6 年）

（４）審査員賞
小林花穂「そらのひみつ」（町田市立忠生第三小学校　1 年）
（５）ことばらんど賞
大塩陽菜「ただの散歩じゃないさんぽ」（桐蔭学園小学校　3 年）
■中高校生の部
（１）市長賞
前島恵「抜け殻」（東京都立成瀬高等学校　2 年）
（２）教育長賞
福岡楓夕「夏女」（町田市立真光寺中学校　3 年）
（３）東京町田・中ロータリークラブ会長賞
小田東依「ある町田の普通」（町田市立真光寺中学校　1 年）
（４）審査員賞
中村汎森「お天気選挙」（和光高等学校　2 年）
（５）ことばらんど賞
工藤美結「空を見あげて」（町田市立つくし野中学校　1 年）

５　表彰式
　表彰状の授与と審査員による作品朗読・講評を行いました。
（１）日時：2023 年 2 月 4 日（土）午後 2～3 時（開場：午後 1 時 30 分）
（２）場所：町田市生涯学習センター7 階ホール

６　出張授業
町田市立小山田小学校（1～3 年生）7 名、町田市立町田第六小学校（5・6 年生）86 名、町田市立小山小学校（4 年生）109 名、町田市立町田第二小学校（3 年生）61 名、町田市立南第三小学校（6 年生）58 名、町田総合高等学校（2 年生）45 名

７　その他
■出張展示
　町田デザイン＆建築専門学校の協力を得て、2021 年度の入賞作品 11 編のイメージイラストや展示会場の表示、展覧会リーフレットを学生に制作してもらい、駅前商業施設「町田モディ」にて出張展示を実施しました。
　日時：2022 年 7 月 16 日（土）～8 月 18 日（木）　10：30～20：00
　会場：町田モディ地下 1 階イベントスペース
　共催：町田デザイン＆建築専門学校
　協力：町田モディ

■文学館サロンにおけるミニ展示

受賞作全10作品を審査員のコメントとともに展示しました。

日時：2022年12月27日（火）～2023年2月5日（日）

午前9時～午後10時